

第9期
湖南省高齢者福祉計画・介護保険事業計画
策定のための
アンケート調査結果報告書

令和5年3月

目次

第1章 調査の目的と実施概要	1
1. 調査の目的	1
2. 実施概要	1
3. 調査結果の見方	1
第2章 調査結果	2
I-I 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2
1. 回答者の属性について	2
2. 家族や生活状況について	5
3. からだを動かすことについて	9
4. 食べることについて	17
5. 毎日の生活について	21
6. 地域での活動について	30
7. 助け合いについて	33
8. 健康について	38
9. 高齢者の暮らしについて	43
10. 高齢者福祉施策に期待することやご意見等について	46
I-II 生活機能評価	47
II 在宅介護実態調査	50
1. 回答者の属性について	50
2. 介護者の属性について	51
3. 在宅介護の実態について	53
4. 介護者の実態について	60
5. 要介護認定データとのクロス集計・分析について	65
III 事業所調査	83
1. 事業所票	83
2. 職員票	97

第1章 調査の目的と実施概要

1. 調査の目的

本調査は、令和6年度の「第9期湖南省高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に関する基礎資料とするため、高齢者の生活の状況や心身の状態などについて把握し、事業の推進に活用します。

2. 実施概要

(1) 調査の対象者と配布数

調査の配布対象者と配布数は次のとおりです。

調査名	対象者	配布数	回収数	回収率
介護予防・日常生活圏域二ーズ調査	65歳以上の要介護認定者以外	4,000	2,857	71.4%
在宅介護実態調査	在宅の要支援・要介護認定者	1,200	819	68.3%
事業所調査	市内の介護サービス事業所	100	56	56.0%

(2) 調査方法

郵送による配布・回収

(3) 調査時期

令和5年1月～2月

3. 調査結果の見方

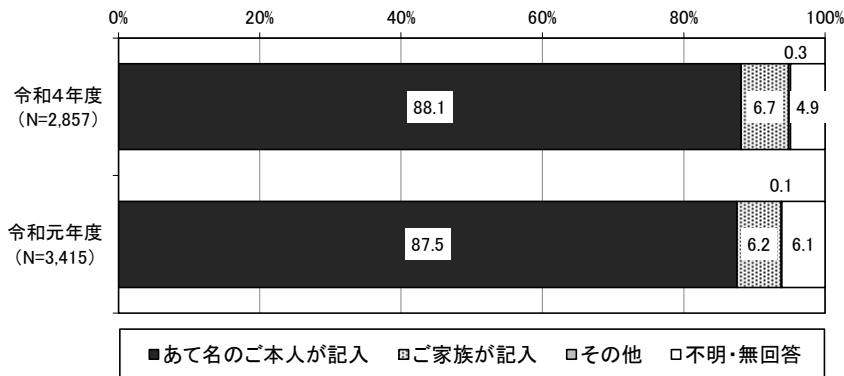
- ◇各設問の項目名の右には、SA（単数回答）、MA（複数回答）を示しています。
- ◇各設問のカテゴリ（選択肢）等について、表現を短縮・簡略化している場合があります。
- ◇集計結果のグラフのNの値は、当該設問の回答者数を示しています。
- ◇集計結果のグラフ・表における“不明・無回答”には、当該設問への無回答の他、判別不能の件数（票数）が含まれます。
- ◇集計結果のグラフ・表における比率（%）は、小数点第2を四捨五入して算出・表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ◇表における□表示はその種別の第1位の項目（無回答を除く）を示しています。

第2章 調査結果

1-1 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

●調査票の記入者

【SA】

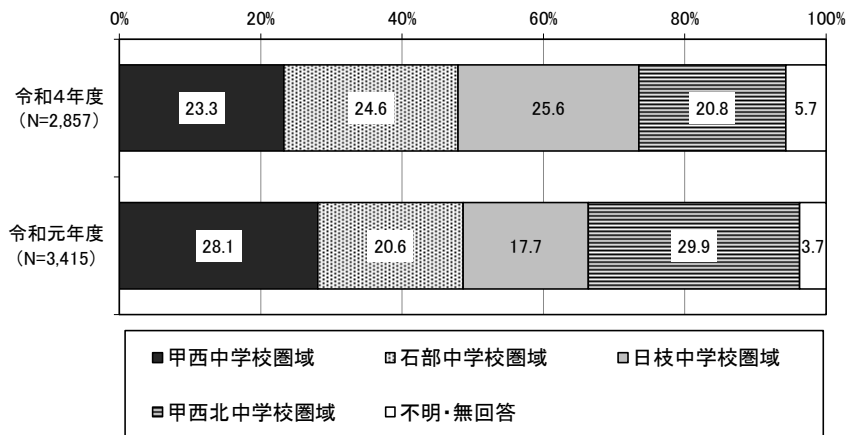


1. 回答者の属性について

(1) 日常生活圏域

【SA】

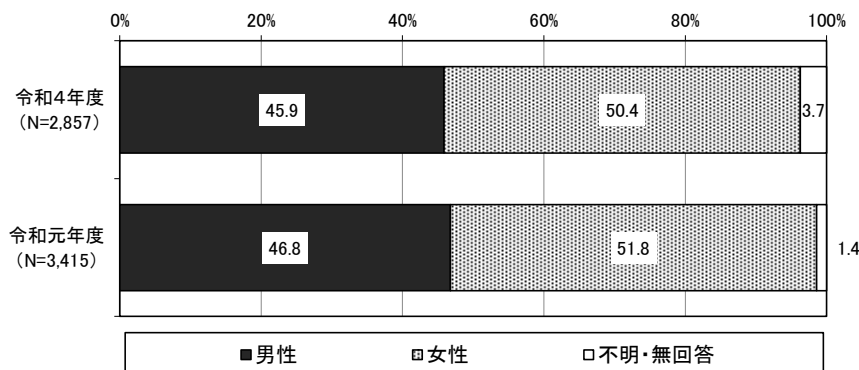
居住地については「日枝中学校圏域」が25.6%と最も高く、次いで「石部中学校圏域」が24.6%、「甲西中学校圏域」が23.3%となっています。



(2) 性別

【SA】

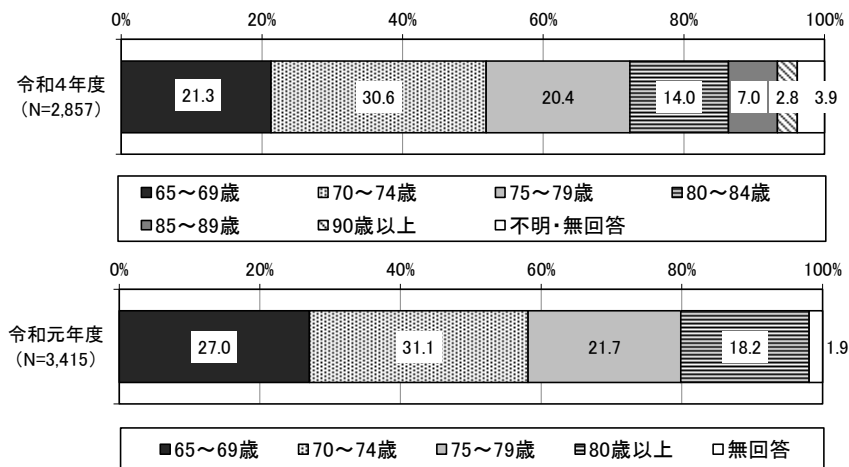
性別については「男性」が45.9%、「女性」が50.4%となっています。



(3) 年齢

【SA】

年齢については「70～74歳」が30.6%と最も高く、次いで「65～69歳」が21.3%、「75～79歳」が20.4%となっています。



※令和元年度調査では「80歳以上」で集計。

■年齢×日常生活圏域、性別、要介護区分クロス

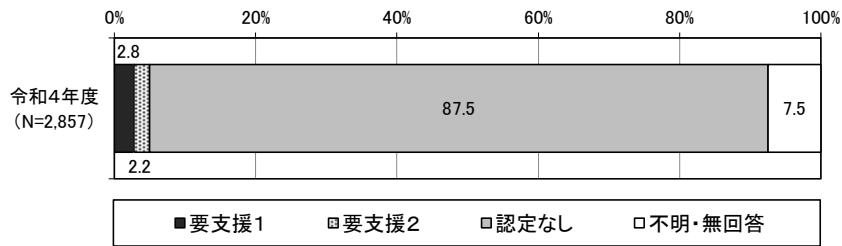
年齢について、日常生活圏域別、性別では大きな差はみられませんが、「認定なし」に比べ、「要支援1」「要支援2」は年齢が高いほど割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	(3) 年齢							
	合計	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	不明・無回答
全体	2,857 100.0	608 21.3	874 30.6	583 20.4	399 14.0	201 7.0	79 2.8	113 3.9
甲西中学校圏域	665 100.0	143 21.5	228 34.3	140 21.1	102 15.3	34 5.1	17 2.6	1 0.2
石部中学校圏域	703 100.0	158 22.5	204 29.0	155 22.0	97 13.8	61 8.7	25 3.6	3 0.4
日枝中学校圏域	732 100.0	150 20.5	251 34.3	147 20.1	108 14.8	56 7.7	15 2.0	5 0.6
甲西北中学校圏域	593 100.0	148 25.0	183 30.9	128 21.6	76 12.8	38 6.4	17 2.9	3 0.5
男性	1,311 100.0	300 22.9	396 30.2	288 22.0	205 15.6	87 6.6	31 2.4	4 0.4
女性	1,440 100.0	308 21.4	477 33.1	294 20.4	191 13.3	113 7.8	48 3.3	9 0.6
要支援1	80 100.0	4 5.0	8 10.0	16 20.0	21 26.3	25 31.3	5 6.3	1 1.3
要支援2	63 100.0	10 15.9	8 12.7	4 6.3	10 15.9	11 17.5	20 31.7	0 0.0
認定なし	2,501 100.0	587 23.5	835 33.4	544 21.8	345 13.8	142 5.7	41 1.6	7 0.3

(4) 要介護区分

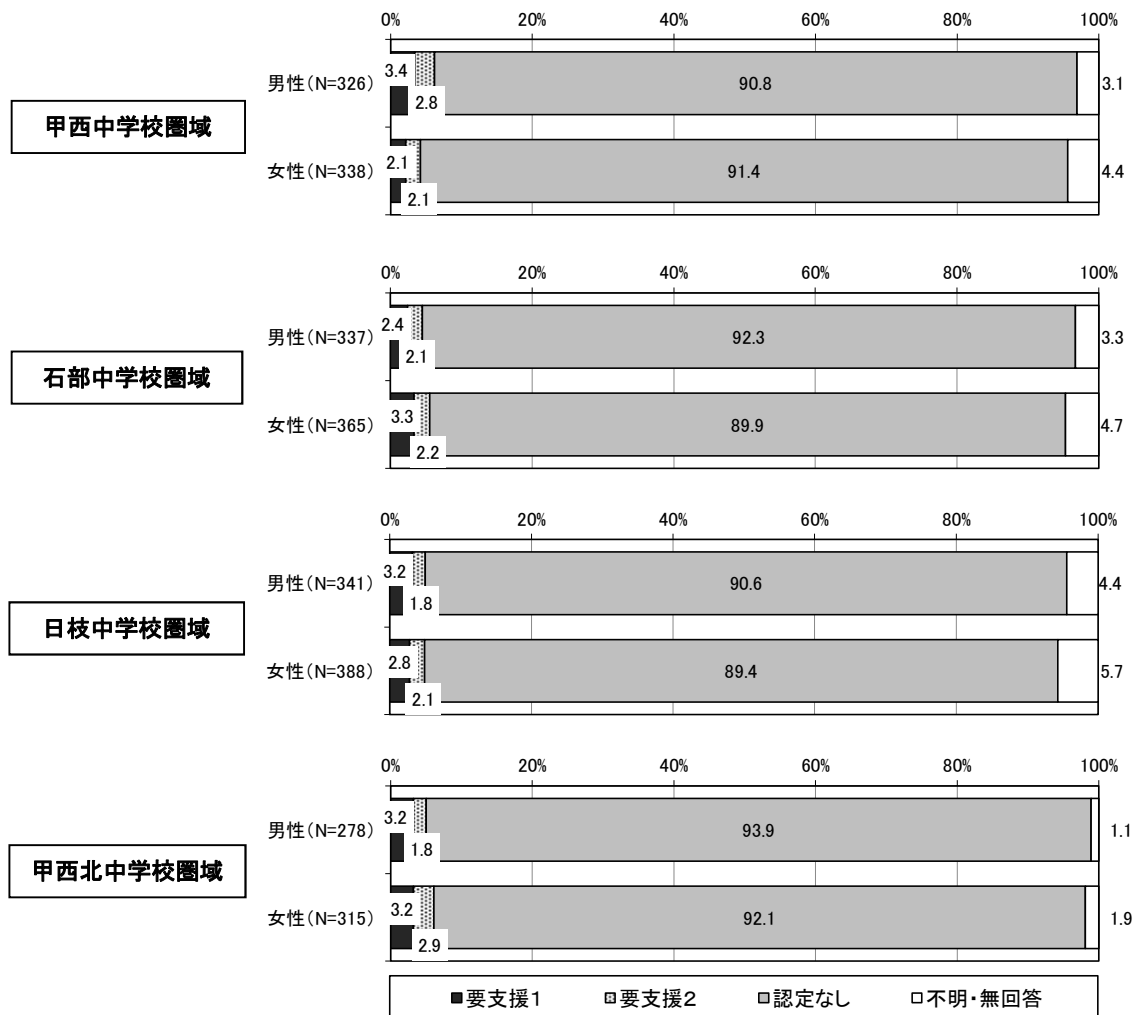
【SA】

要介護区分については「認定なし」が87.5%と最も高く、次いで「要支援1」が2.8%、「要支援2」が2.2%となっています。



■要介護区分×日常生活圏域×性別クロス

要介護区分について、日常生活圏域別・性別では、「甲西中学校圏域」では「女性」の方が「認定なし」の割合が高くなっています。

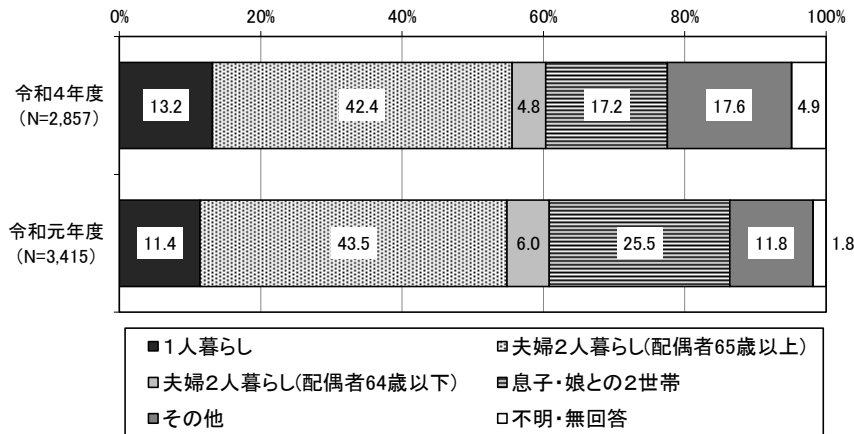


2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

【SA】

家族構成については「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が42.4%と最も高く、次いで「その他」が17.6%、「息子・娘との2世帯」が17.2%となっています。



■家族構成×日常生活圏域、性別、要介護区分、年齢クロス

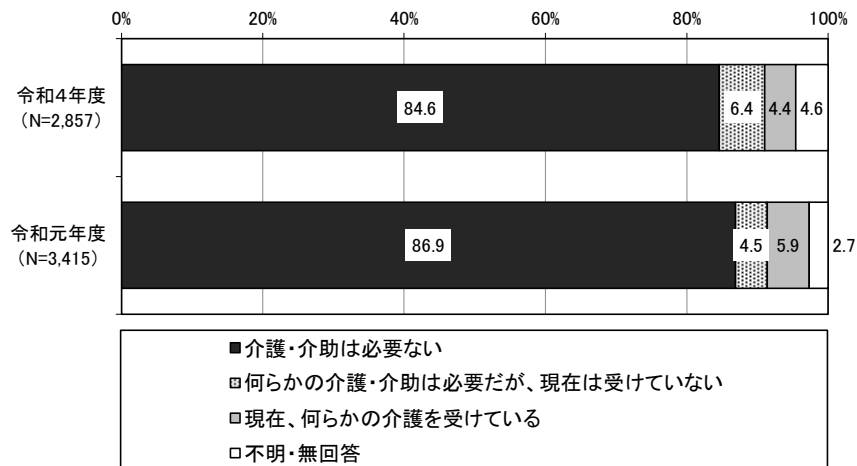
家族構成について、性別にみると「男性」では「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっています。要介護区分別にみると「要支援2」では「1人暮らし」の割合が高くなっています。年齢別にみると「85歳以上」で「息子・娘との2世帯」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	(1) 家族構成						
	合計	1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	不明・無回答
全体	2,857 100.0	376 13.2	1,211 42.4	136 4.8	490 17.2	504 17.6	140 4.9
甲西中学校圏域	665 100.0	77 11.6	307 46.2	28 4.2	123 18.5	121 18.2	9 1.4
石部中学校圏域	703 100.0	95 13.5	302 43.0	36 5.1	120 17.1	143 20.3	7 1.0
日枝中学校圏域	732 100.0	114 15.6	307 41.9	37 5.1	131 17.9	130 17.8	13 1.8
甲西北中学校圏域	593 100.0	72 12.1	275 46.4	33 5.6	104 17.5	103 17.4	6 1.0
男性	1,311 100.0	151 11.5	639 48.7	111 8.5	193 14.7	203 15.5	14 1.1
女性	1,440 100.0	224 15.6	570 39.6	23 1.6	296 20.6	301 20.9	26 1.8
要支援1	80 100.0	17 21.3	28 35.0	2 2.5	15 18.8	15 18.8	3 3.8
要支援2	63 100.0	19 30.2	16 25.4	2 3.2	17 27.0	9 14.3	0 0.0
認定なし	2,501 100.0	318 12.7	1,135 45.4	129 5.2	435 17.4	456 18.2	28 1.1
65～69歳	608 100.0	65 10.7	230 37.8	75 12.3	89 14.6	144 23.7	5 0.8
70～74歳	874 100.0	102 11.7	434 49.7	32 3.7	134 15.3	158 18.1	14 1.6
75～79歳	583 100.0	81 13.9	320 54.9	13 2.2	84 14.4	82 14.1	3 0.5
80～84歳	399 100.0	63 15.8	160 40.1	13 3.3	95 23.8	57 14.3	11 2.8
85～89歳	201 100.0	43 21.4	54 26.9	2 1.0	55 27.4	41 20.4	6 3.0
90歳以上	79 100.0	19 24.1	9 11.4	0 0.0	32 40.5	17 21.5	2 2.5

(2) 普段の生活での介護・介助の必要性

【SA】

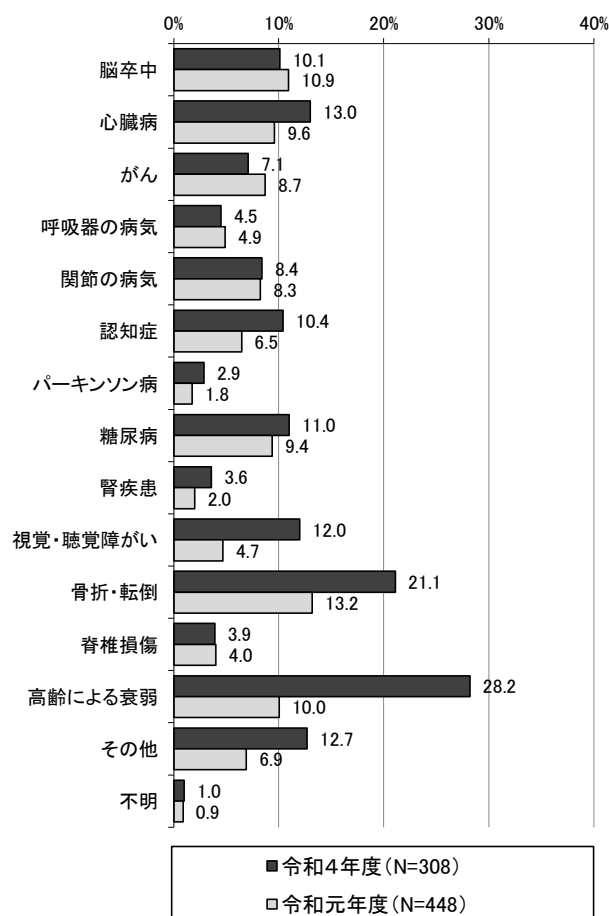
普段の生活での介護・介助の必要性については「介護・介助は必要ない」が84.6%と最も高く、前回調査より2.3ポイント減少しています。



(2)－① 介護・介助が必要になった理由

【MA】

前問(2)で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」と答えた方に、介護・介助が必要になった理由を尋ねたところ、「高齢による衰弱」が28.2%と最も高く、次いで「骨折・転倒」が21.1%、「心臓病」が13.0%と続いています。



■介護・介助が必要になった原因×コロナ禍による変化クロス

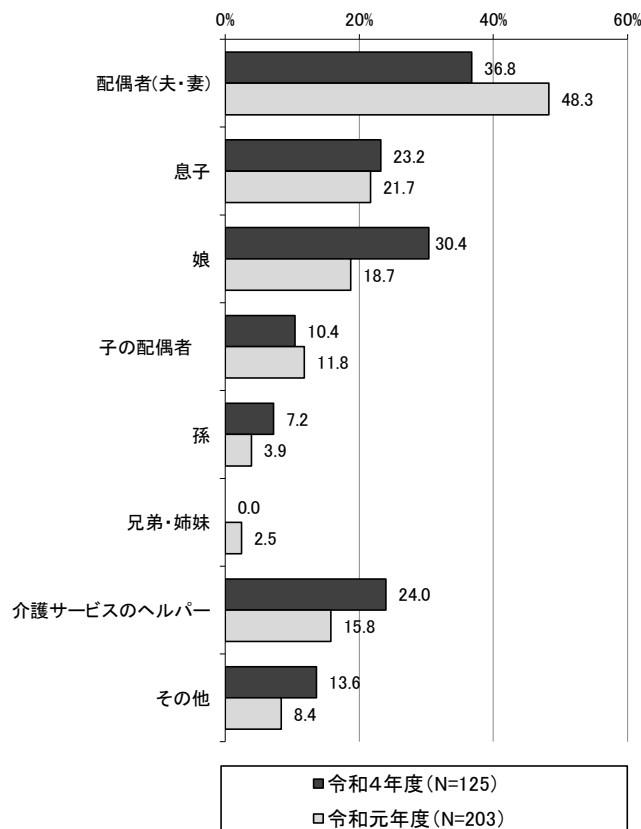
介護・介助が必要になった原因について、コロナ禍による変化別にみると「健康状態が悪化した」「病院に行くことを控えるようになった」では「高齢による衰弱」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	問1(2)-① 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか(主な項目)							
	合計	脳卒中	心臓病	認知症	糖尿病	視覚・聴覚障がい	骨折・転倒	高齢による衰弱
全体	308	31	40	32	34	37	65	87
	100.0	10.1	13.0	10.4	11.0	12.0	21.1	28.2
これまで以上に自分の健康に気を付けるようになった	176	19	22	15	18	26	38	50
	100.0	10.8	12.5	8.5	10.2	14.8	21.6	28.4
健康状態が悪化した	15	-	5	-	1	3	2	6
	100.0	-	33.3	-	6.7	20.0	13.3	40.0
友人・知人に会う機会が減った	147	16	20	18	13	14	36	42
	100.0	10.9	13.6	12.2	8.8	9.5	24.5	28.6
買い物など外出の機会が減った	137	16	20	16	15	20	31	42
	100.0	11.7	14.6	11.7	10.9	14.6	22.6	30.7
病院に行くことを控えるようになった	37	4	5	3	3	4	10	15
	100.0	10.8	13.5	8.1	8.1	10.8	27.0	40.5
離れて暮らしている家族と会う機会が減った	110	13	16	13	7	12	25	36
	100.0	11.8	14.5	11.8	6.4	10.9	22.7	32.7
これまで以上に家族や友人・知人と連絡をとるようになった	27	1	4	-	4	3	9	9
	100.0	3.7	14.8	-	14.8	11.1	33.3	33.3
収入が減ったり、支出が増えるなど生活が苦しくなった	56	5	5	5	8	7	8	14
	100.0	8.9	8.9	8.9	14.3	12.5	14.3	25.0
感染拡大の情報などを見て不安感が高まった	137	14	21	12	18	20	29	39
	100.0	10.2	15.3	8.8	13.1	14.6	21.2	28.5

(2)-② 主な介護・介助者

【MA】

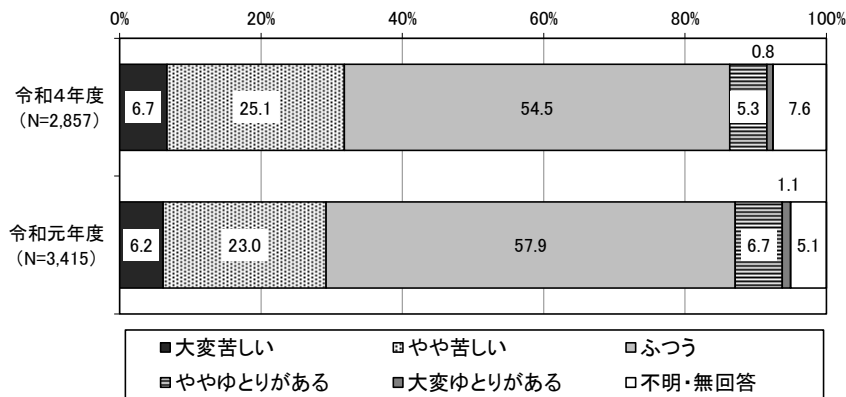
前問(2)で「現在、何らかの介護を受けている」と答えた方に、主に介護を担っている方について尋ねたところ、「配偶者(夫・妻)」が36.8%と最も高く、次いで「娘」が30.4%、「介護サービスのヘルパー」が24.0%となっています。



(3) 現在の暮らしの状況

【SA】

現在の暮らしの状況については「ふつう」が54.5%と最も高く、次いで「やや苦しい」が25.1%となっています。「苦しい」（「やや苦しい」「大変苦しい」の合計）は前回調査より2.6ポイント増加しています。



■現在の暮らしの状況 × 要介護区分、年齢クロス

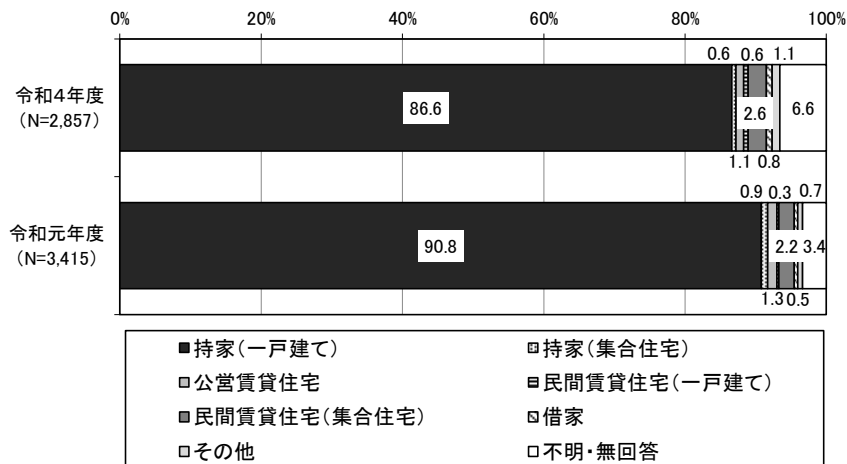
現在の暮らしの状況について、年齢別にみると「80歳以下」では「大変苦しい」「やや苦しい」の合計が3割を超えています。

上段:度数 下段:%	(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか						
	合計	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	不明・無回答
全体	2,857	191	717	1,558	150	23	218
	100.0	6.7	25.1	54.5	5.3	0.8	7.6
要支援1	80	5	25	45	3	0	2
	100.0	6.3	31.3	56.3	3.8	0.0	2.5
要支援2	63	8	23	28	1	1	2
	100.0	12.7	36.5	44.4	1.6	1.6	3.2
認定なし	2,501	168	638	1,426	143	22	104
	100.0	6.7	25.5	57.0	5.7	0.9	4.2
65～69歳	608	47	168	322	43	8	20
	100.0	7.7	27.6	53.0	7.1	1.3	3.3
70～74歳	874	64	224	496	46	8	36
	100.0	7.3	25.6	56.8	5.3	0.9	4.1
75～79歳	583	42	164	320	32	1	24
	100.0	7.2	28.1	54.9	5.5	0.2	4.1
80～84歳	399	23	97	241	15	3	20
	100.0	5.8	24.3	60.4	3.8	0.8	5.0
85～89歳	201	10	45	120	12	3	11
	100.0	5.0	22.4	59.7	6.0	1.5	5.5
90歳以上	79	5	14	52	1	0	7
	100.0	6.3	17.7	65.8	1.3	0.0	8.9

(4) 住居の種類

【SA】

住居の種類については「持家（一戸建て）」が86.6%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅（集合住宅）」が2.6%となっています。

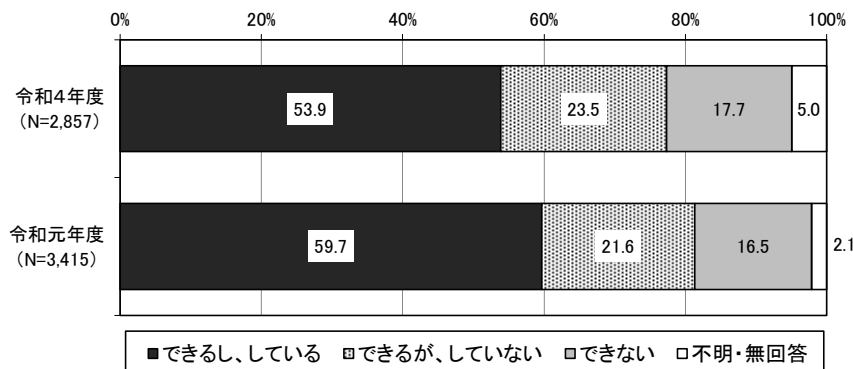


3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに上れるか

【SA】

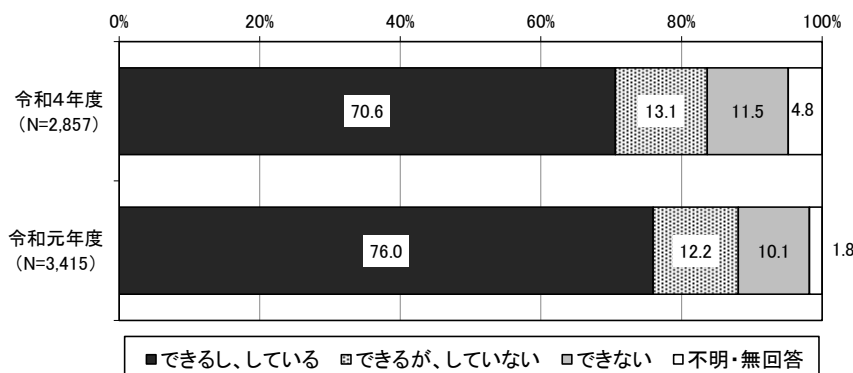
階段を手すりや壁をつたわずに上れるかについては「できるし、している」が53.9%と最も高く、次いで「できるが、していない」が23.5%となっています。



(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるか

【SA】

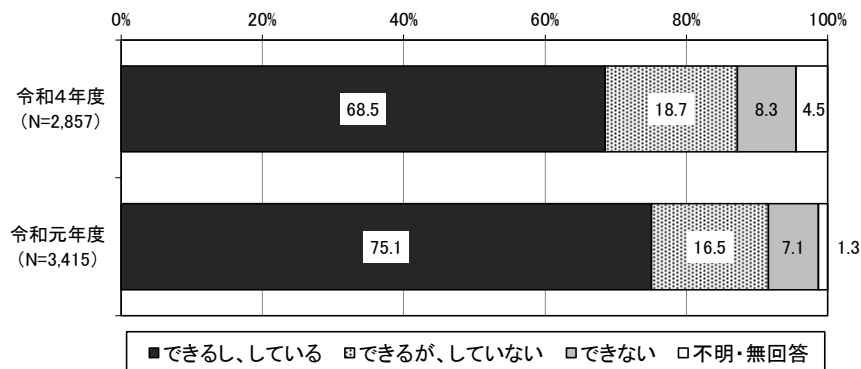
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がることができるかについては「できるし、している」が70.6%と最も高く、次いで「できるが、していない」が13.1%となっています。



(3) 15分位続けて歩いているか

【SA】

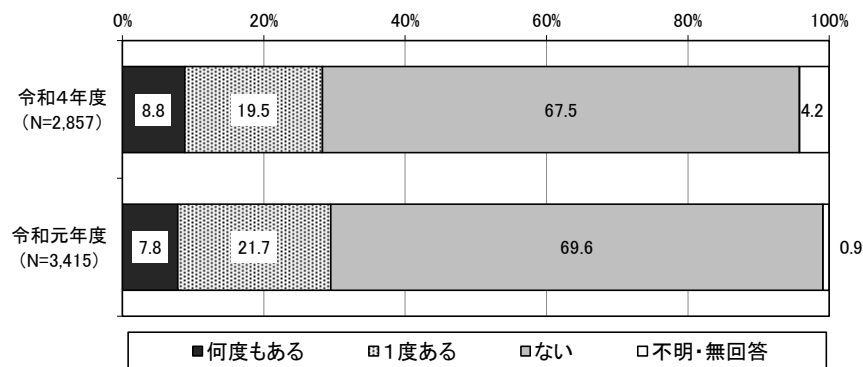
15分位続けて歩いているかについては「できるし、している」が68.5%と最も高く、次いで「できるが、していない」が18.7%となっています。



(4) 過去1年に転んだ経験があるか

【SA】

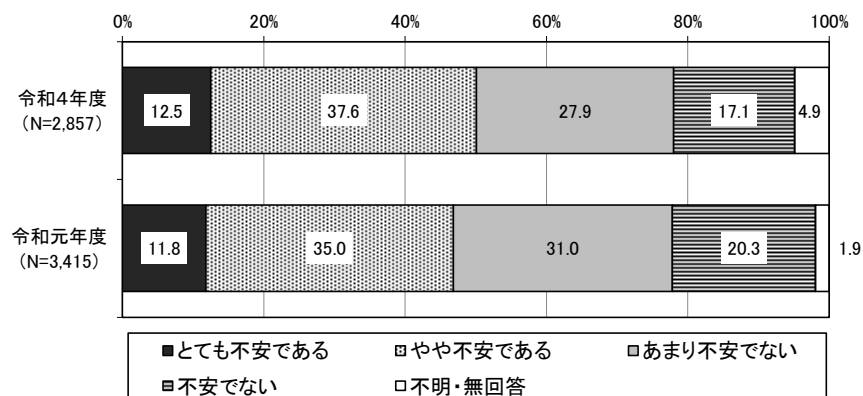
過去1年間に転んだ経験があるかについては「ない」が67.5%と最も高く、「1度以上転んだ経験がある」（「何度もある」「1度ある」の合計）は28.3%となっています。



(5) 転倒に対する不安は大きいのか

【SA】

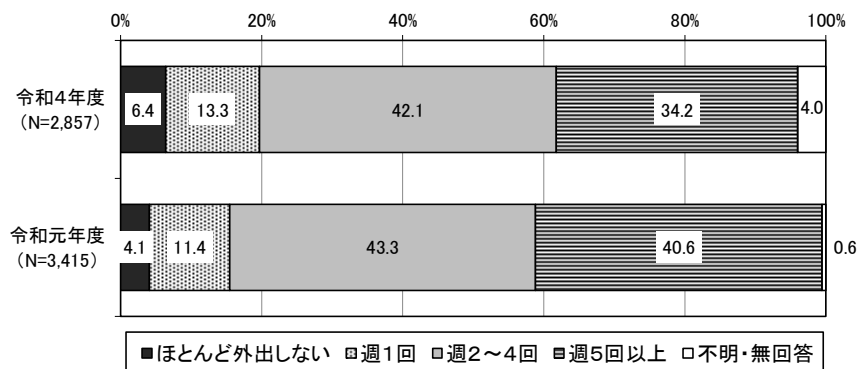
転倒に対する不安は大きいかについては「やや不安である」が37.6%と最も高く、次いで「あまり不安でない」が27.9%、「不安でない」が17.1%となっています。



(6) 週に1回以上外出しているか

【SA】

週に1回以上外出しているかについては「週2～4回」が42.1%と最も高く、「週1回以下」（「ほとんど外出しない」「週1回」の合計）は19.7%となっています。



■ 外出頻度×性別、要介護区分、年齢クロス

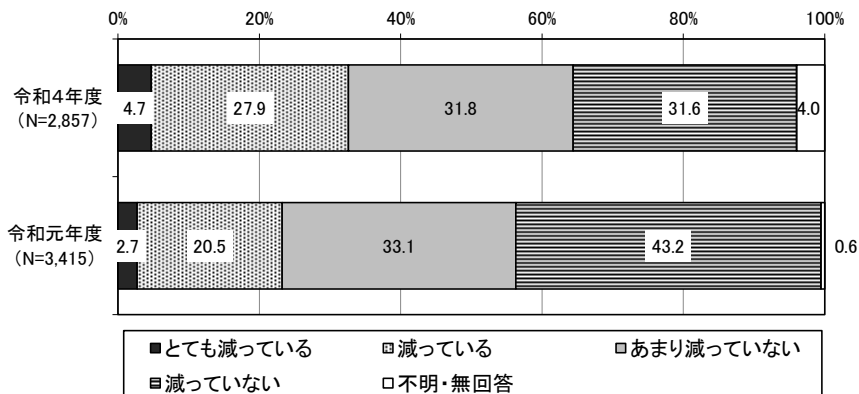
外出頻度について、性別にみると「女性」の方が『外出しない』（「ほとんど外出しない」と「週1回」の合計）割合が高くなっています。要介護区分別にみると「認定なし」と比べ、「要支援1・2」では「ほとんど外出しない」の割合が高くなっています。年齢別にみると「85歳以上」から「ほとんど外出しない」が、顕著に割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	(6) 週に1回以上は外出していますか					
	合計	ほとんど外出 しない	週1回	週2～4回	週5回以上	不明・無回答
全体	2,857	183	379	1,203	978	114
	100.0	6.4	13.3	42.1	34.2	4.0
男性	1,311	79	152	514	563	3
	100.0	6.0	11.6	39.2	42.9	0.2
女性	1,440	103	225	687	414	11
	100.0	7.2	15.6	47.7	28.7	0.8
要支援1	80	22	25	22	9	2
	100.0	27.5	31.3	27.5	11.3	2.5
要支援2	63	16	13	27	6	1
	100.0	25.4	20.6	42.9	9.5	1.6
認定なし	2,501	130	322	1,103	938	8
	100.0	5.2	12.9	44.1	37.5	0.3
65～69歳	608	16	64	234	292	2
	100.0	2.6	10.5	38.5	48.0	0.3
70～74歳	874	37	86	396	352	3
	100.0	4.2	9.8	45.3	40.3	0.3
75～79歳	583	34	73	286	188	2
	100.0	5.8	12.5	49.1	32.2	0.3
80～84歳	399	35	84	174	104	2
	100.0	8.8	21.1	43.6	26.1	0.5
85～89歳	201	34	53	82	28	4
	100.0	16.9	26.4	40.8	13.9	2.0
90歳以上	79	26	17	24	10	2
	100.0	32.9	21.5	30.4	12.7	2.5

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか

【SA】

昨年と比べて外出する回数が減っているかについては「あまり減っていない」が31.8%と最も高く、次いで「減っていない」が31.6%となっています。



■ 外出回数×要介護区分、年齢クロス

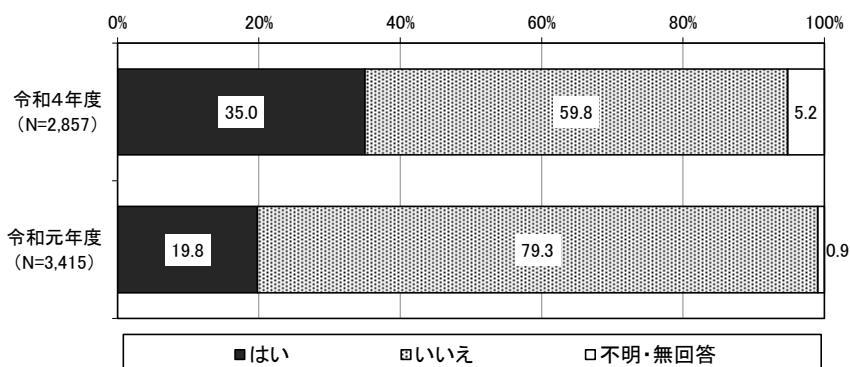
要介護区分別にみると要支援1・要支援2では『減っている』（「とても減っている」と「減っている」の合計）割合が6割前後、認定なしでは『減っていない』（「あまり減っていない」と「減っていない」の合計）が7割弱となっています。

上段:度数 下段:%	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか					
	合計	とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	不明・無回答
全体	2,857 100.0	133 4.7	798 27.9	908 31.8	904 31.6	114 4.0
要支援1	80 100.0	11 13.8	36 45.0	27 33.8	6 7.5	0 0.0
要支援2	63 100.0	12 19.0	29 46.0	13 20.6	7 11.1	2 3.2
認定なし	2,501 100.0	97 3.9	695 27.8	835 33.4	866 34.6	8 0.3
65～69歳	608 100.0	22 3.6	132 21.7	192 31.6	261 42.9	1 0.2
70～74歳	874 100.0	28 3.2	213 24.4	305 34.9	327 37.4	1 0.1
75～79歳	583 100.0	23 3.9	181 31.0	199 34.1	178 30.5	2 0.3
80～84歳	399 100.0	20 5.0	154 38.6	123 30.8	100 25.1	2 0.5
85～89歳	201 100.0	25 12.4	84 41.8	67 33.3	21 10.4	4 2.0
90歳以上	79 100.0	15 19.0	29 36.7	18 22.8	13 16.5	4 5.1

(8) 外出を控えているか

【SA】

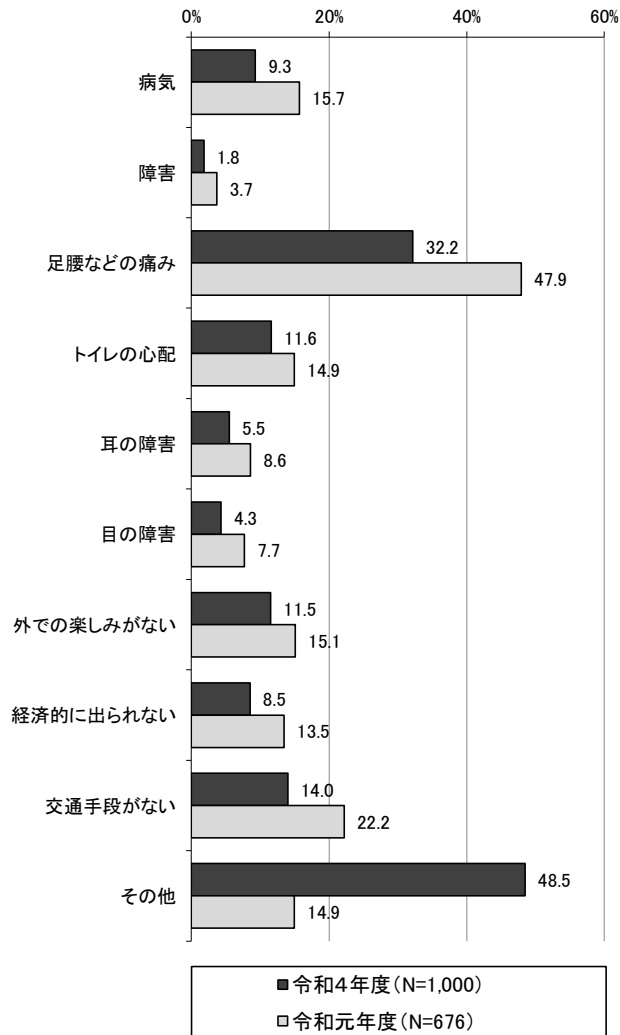
外出を控えているかについては「いいえ」が59.8%で、「はい」が35.0%となっています。



(8)－① 外出を控えている理由

【MA】

前問(8)で「はい」と答えた方に、外出を控えている理由について尋ねたところ、「その他」が48.5%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」が32.2%、「交通手段がない」が14.0%となっています。「その他」の内訳はコロナ禍の影響が最も多くなっています。

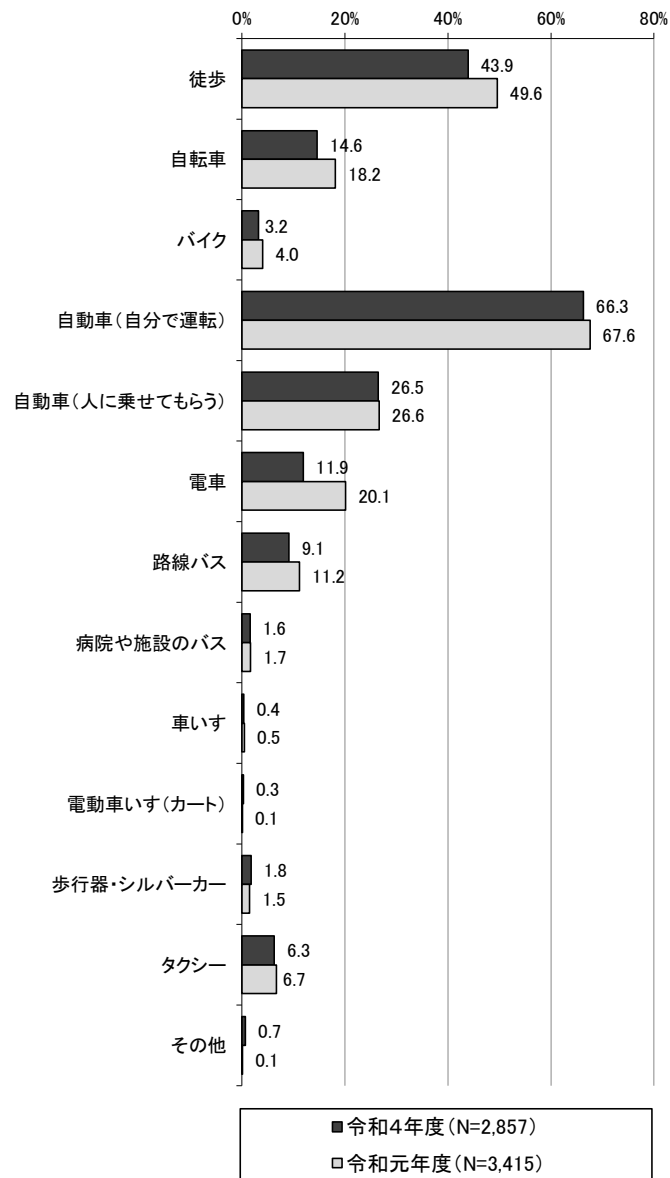


主なその他回答	件数
コロナ禍のため	409
用事がない	13
出不精	11
介護	10
歩行困難	6
病気	5

(9) 外出の際の移動手段

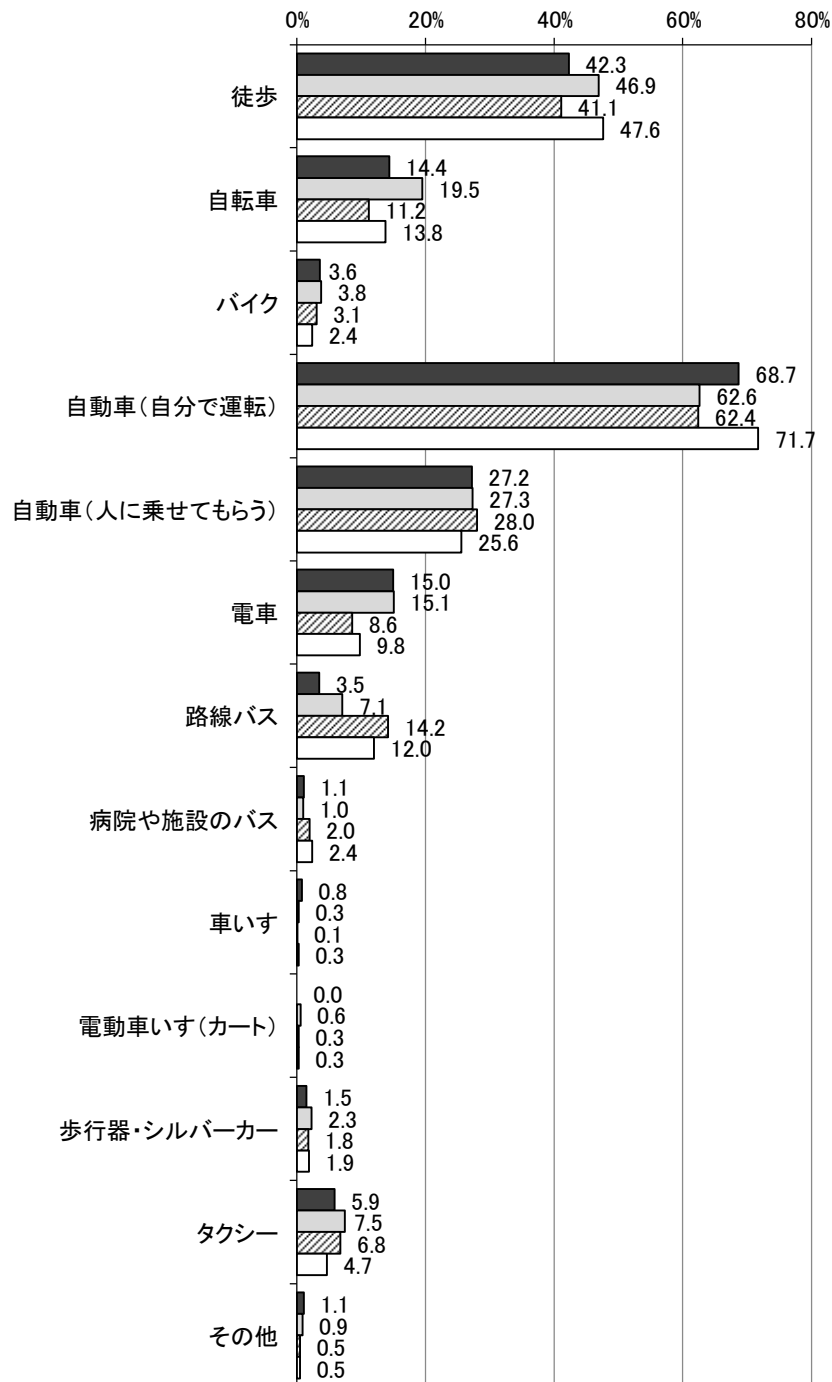
【MA】

外出の際の移動手段については「自動車（自分で運転）」が66.3%と最も高く、次いで「徒歩」が43.9%、「自動車（人に乗せてもらう）」が26.5%となっています。



■外出の際の移動手段×日常生活圏域クロス

日常生活圏域別にみると「甲西中学校圏域」と「甲西北中学校圏域」では「自動車(自分で運転)」の割合が高くなっています。また、「日枝中学校圏域」と「甲西北中学校圏域」では「路線バス」の割合が比較的高くなっています。

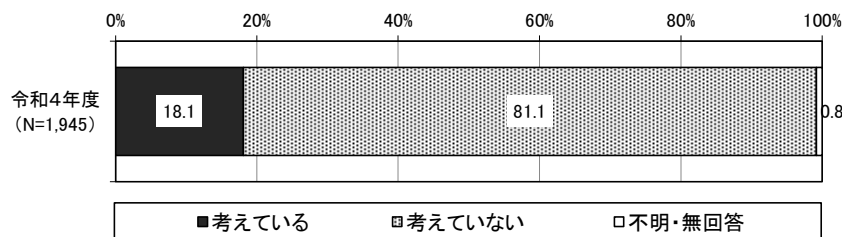


■ 甲西中学校圏域 (N=665) □ 石部中学校圏域 (N=703)
 ▨ 日枝中学校圏域 (N=732) □ 甲西北中学校圏域 (N=593)

(9)－① 運転免許証の返納について考えているか ※今回調査からの設問

【SA】

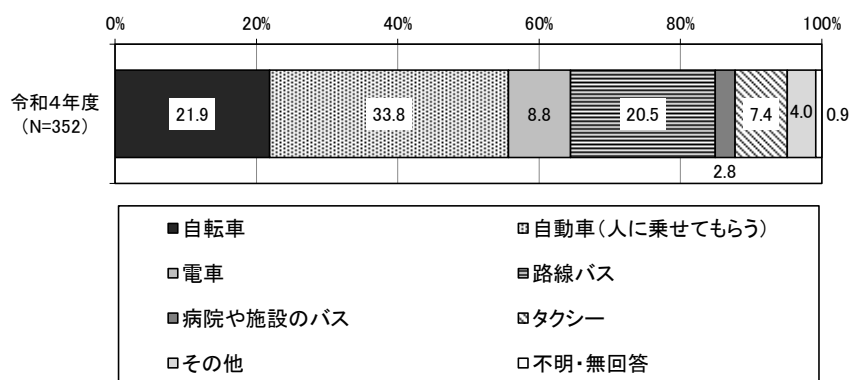
前問(9)で「バイク」「自動車(自分で運転)」と答えた方に運転免許証の返納について考えているか尋ねたところ、「考えていない」が81.1%、「考えている」が18.1%となっています。



(9)－② 運転免許証返納後の移動手段は何か ※今回調査からの設問

【SA】

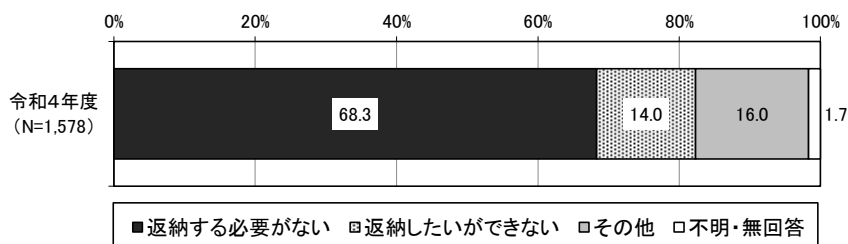
前問(9-①)で「考えている」と答えた方に運転免許証の返納後、徒歩等では難しい場所への移動手段は何かを尋ねたところ、「自動車(人に乗せてもらう)」が33.8%と最も高く、次いで「自転車」が21.9%、「路線バス」が20.5%となっています。



(9)－③ 運転免許証の返納を考えていない理由は何か ※今回調査からの設問

【SA】

前問(9-①)で「考えていない」と答えた方に運転免許証の返納を考えていない理由は何かを尋ねたところ、「返納する必要がない」が68.3%と最も高く、次いで「返納したいができない」が14.0%、「その他」が16.0%となっています。「その他」の内訳は「車が必要だから」、「年齢的にまだ運転できるから」という回答が多くなっています。

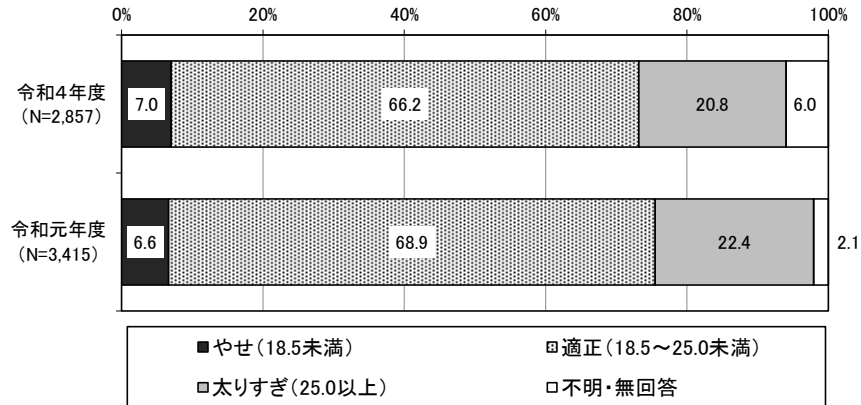


4. 食べることについて

(1) 身長・体重[BMI]

【SA】

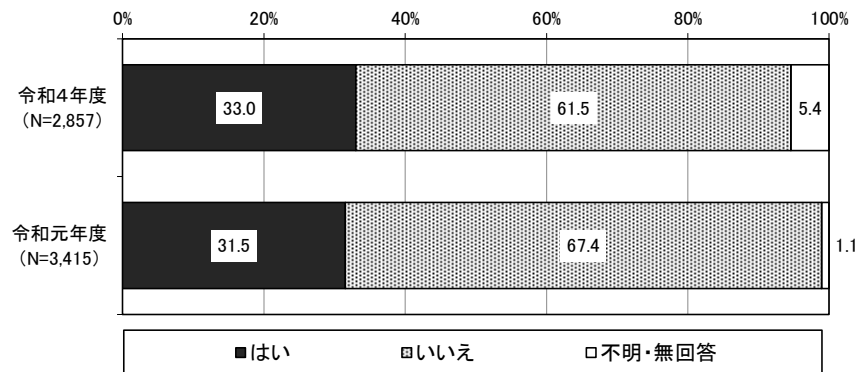
身長・体重からBMIを算出すると、「適正」が66.2%と最も高く、次いで「太りすぎ」が20.8%、「やせ」が7.0%となっています。



(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

【SA】

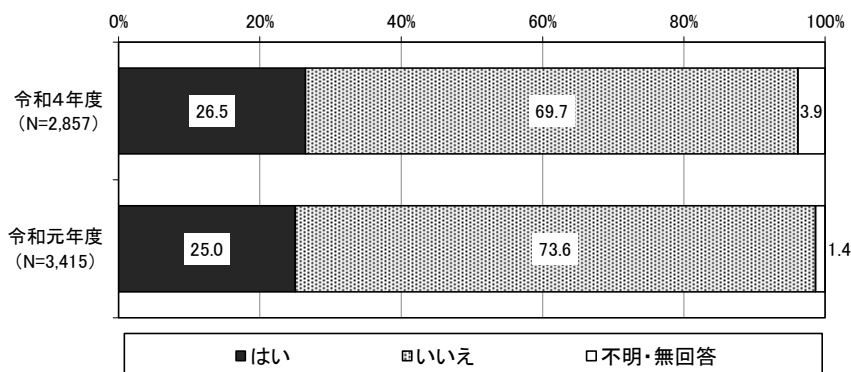
半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては「いいえ」が61.5%で、「はい」が33.0%となっています。



(3) お茶や汁物等でむせることがあるか

【SA】

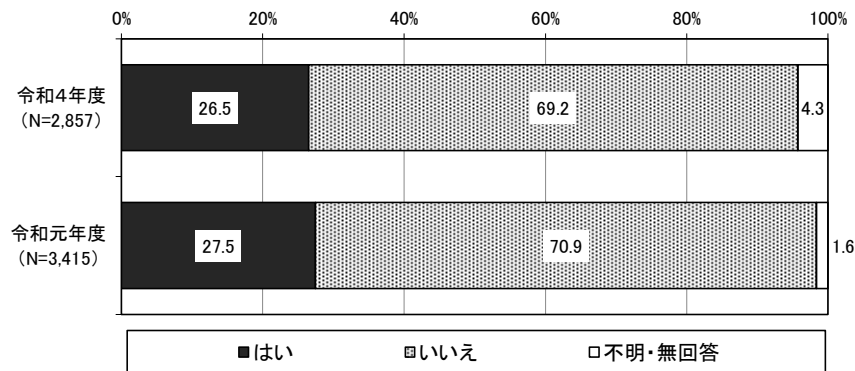
お茶や汁物等でむせることがあるかについては「いいえ」が69.7%で、「はい」が26.5%となっています。



(4) 口の渇きが気になるか

【SA】

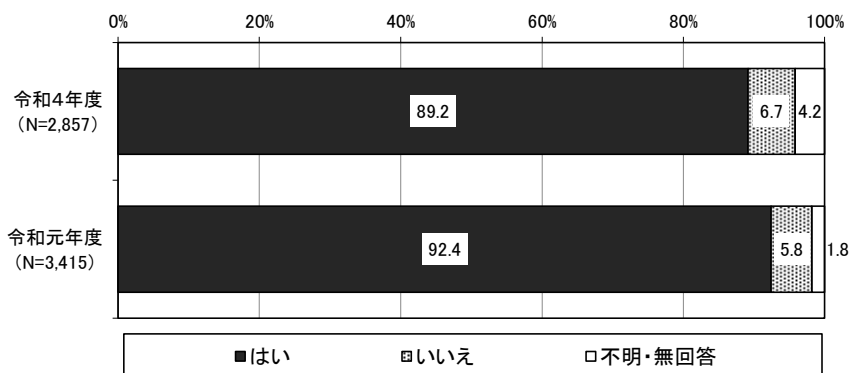
口の渇きが気になるかについては「いいえ」が69.2%で、「はい」が26.5%となっています。



(5) 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているか

【SA】

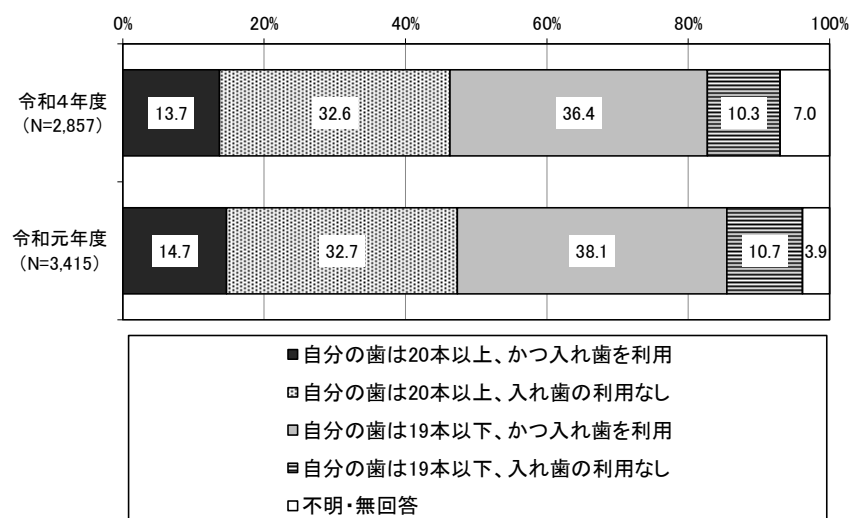
歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日しているかについては「はい」が89.2%で、「いいえ」が6.7%となっています。



(6) 歯の数と入れ歯の利用状況

【SA】

歯の数と入れ歯の利用状況については「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.4%と最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.6%となっています。



■ 歯の数と入れ歯の利用状況 × 要介護区分、年齢クロス

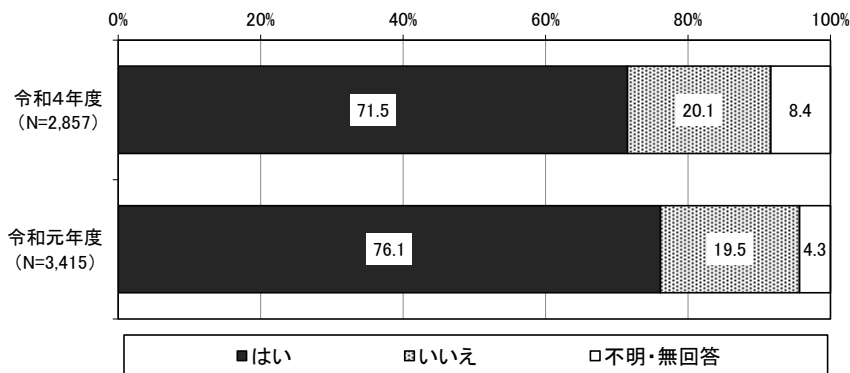
要介護区分別にみると、「認定なし」では『自分の歯が20本以上』が半数近くであるのに対し、「要支援1」と「要支援2」では『自分の歯が19本以下』が6割前後となっています。年齢別にみると、75歳以上では『自分の歯が19本以下』が4割を超えています。

上段:度数 下段:%	(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください					
	合計	自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	不明・無回答
全体	2,857 100.0	392 13.7	930 32.6	1,041 36.4	295 10.3	199 7.0
要支援1	80 100.0	8 10.0	14 17.5	37 46.3	10 12.5	11 13.8
要支援2	63 100.0	5 7.9	9 14.3	34 54.0	8 12.7	7 11.1
認定なし	2,501 100.0	357 14.3	856 34.2	891 35.6	251 10.0	146 5.8
65～69歳	608 100.0	74 12.2	302 49.7	136 22.4	78 12.8	18 3.0
70～74歳	874 100.0	130 14.9	290 33.2	311 35.6	96 11.0	47 5.4
75～79歳	583 100.0	88 15.1	175 30.0	235 40.3	44 7.5	41 7.0
80～84歳	399 100.0	56 14.0	92 23.1	180 45.1	30 7.5	41 10.3
85～89歳	201 100.0	26 12.9	30 14.9	99 49.3	22 10.9	24 11.9
90歳以上	79 100.0	5 6.3	6 7.6	48 60.8	10 12.7	10 12.7

(6)－① 噛み合わせは良いか

【SA】

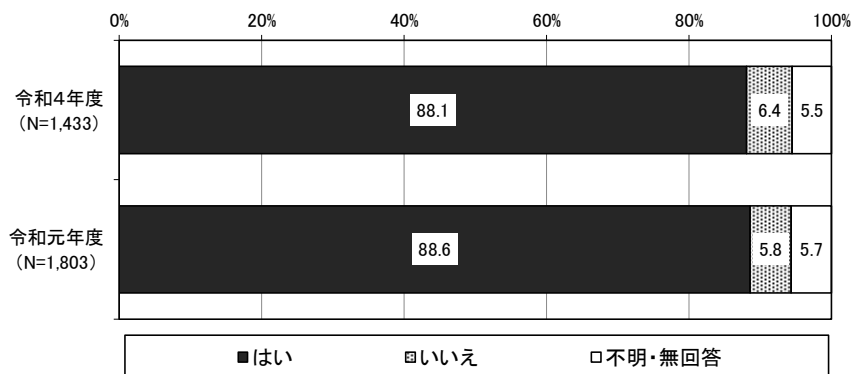
噛み合わせは良いかについては「はい」が71.5%で、「いいえ」が20.1%となっています。



(6)–② 毎日入れ歯の手入れをしているか

【SA】

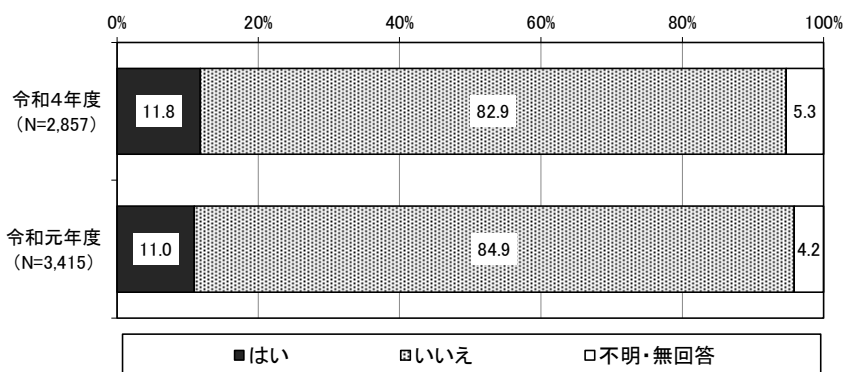
前問(6)で『入れ歯を利用している』と答えた方に、毎日入れ歯の手入れをしているかについて尋ねたところ、「はい」が88.1%となっています。



(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

【SA】

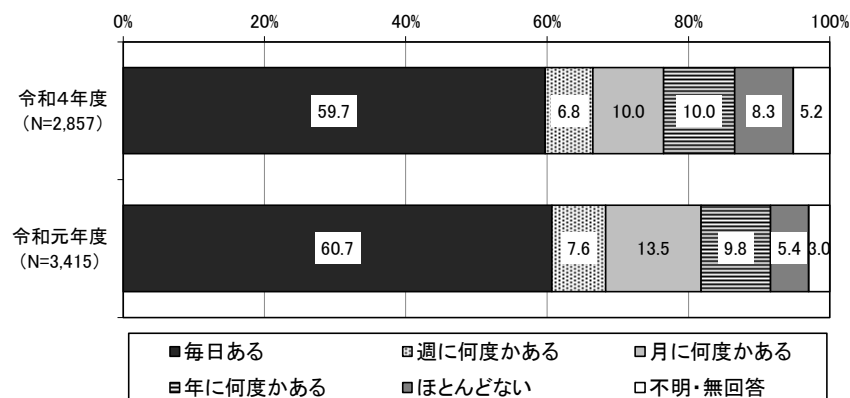
6か月間で2～3kg以上の体重減少があったかについては「いいえ」が82.9%で、「はい」が11.8%となっています。



(8) 誰かと食事をとにもする機会があるか

【SA】

どなたかと食事をとにもする機会はあるかについては「毎日ある」が59.7%と最も高く、次いで「月に何度かある」「年に何度かある」が10.0%となっています。

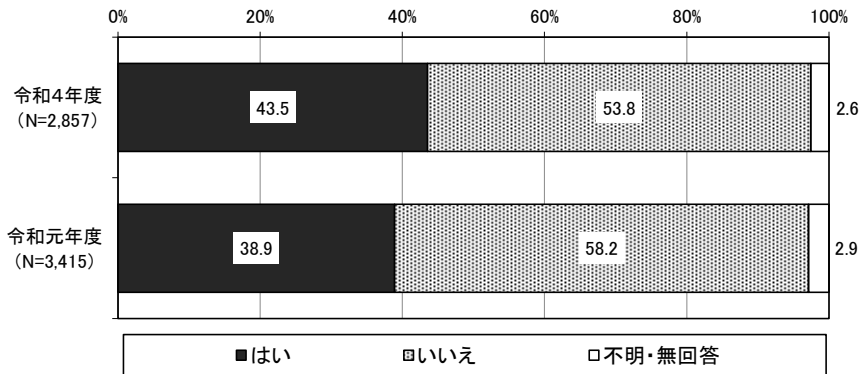


5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

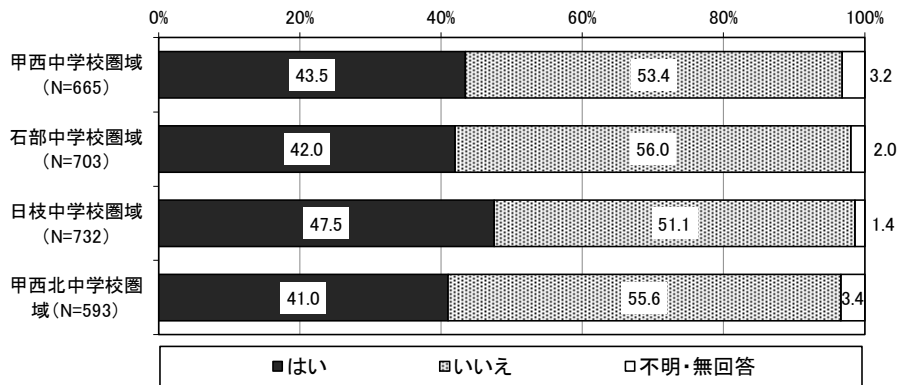
【SA】

物忘れが多いと感じるかについては「いいえ」が53.8%で、「はい」が43.5%となっています。



■物忘れ×日常生活圏域クロス

日常生活圏域別にみると「日枝中学校圏域」で「はい」の割合が高くなっています。



■物忘れ×要介護状態、年齢クロス

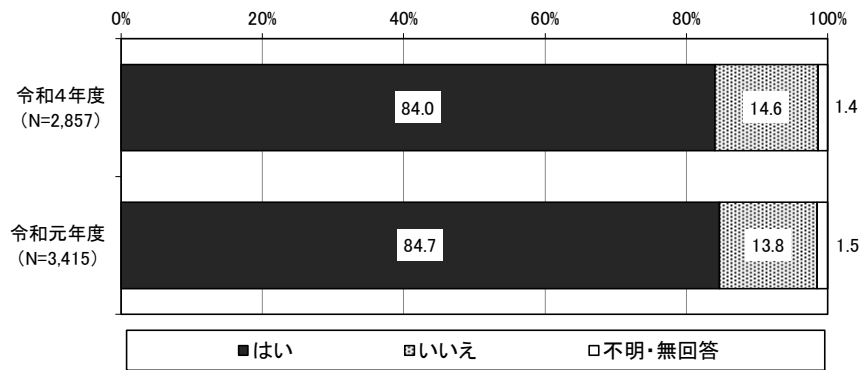
要介護状態別にみると、要支援1・要支援2では「はい」の割合が高く、年齢別にみると「はい」は年齢が上がるにつれて高く、85歳以上からは「いいえ」よりも割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	(1) 物忘れが多いと感じますか			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	2,857 100.0	1,244 43.5	1,538 53.8	75 2.6
要支援1	80 100.0	39 48.8	34 42.5	7 8.8
要支援2	63 100.0	35 55.6	26 41.3	2 3.2
認定なし	2,501 100.0	1,070 42.8	1,377 55.1	54 2.2
65～69歳	608 100.0	225 37.0	375 61.7	8 1.3
70～74歳	874 100.0	352 40.3	500 57.2	22 2.5
75～79歳	583 100.0	268 46.0	300 51.5	15 2.6
80～84歳	399 100.0	189 47.4	193 48.4	17 4.3
85～89歳	201 100.0	119 59.2	78 38.8	4 2.0
90歳以上	79 100.0	43 54.4	33 41.8	3 3.8

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているか

【SA】

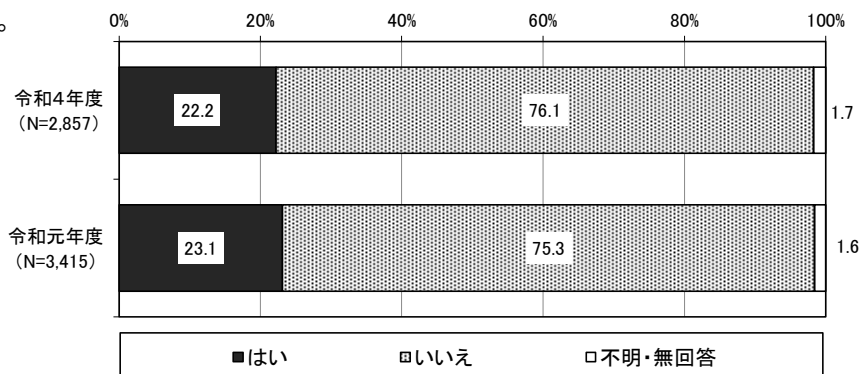
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては「はい」が84.0%で、「いいえ」が14.6%となっています。



(3) 今日が何月何日かわからない時があるか

【SA】

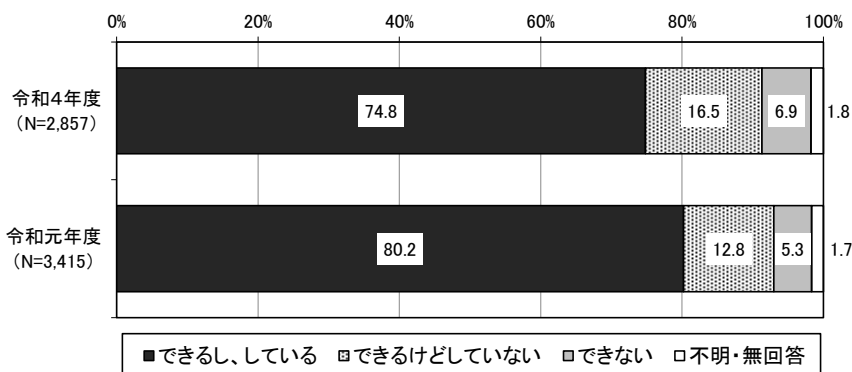
今日が何月何日かわからない時があるかについては「いいえ」が76.1%で、「はい」が22.2%となっています。



(4) バスや電車を使って1人で外出しているか

【SA】

バスや電車を使って1人で外出しているかについては「できるし、している」が74.8%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.5%となっています。



■バスや電車での外出×要介護区分、年齢クロス

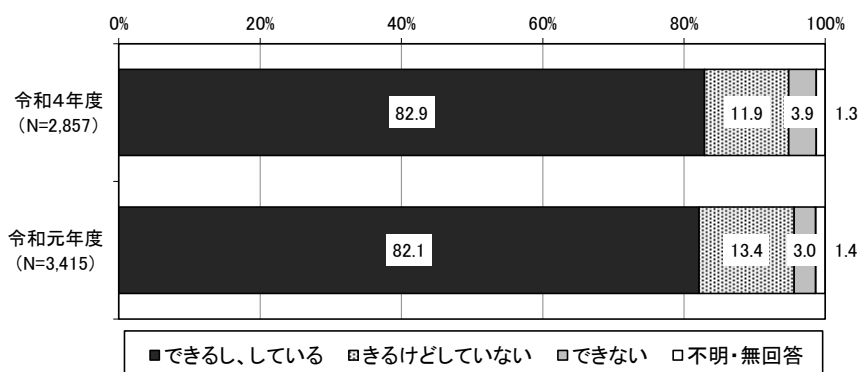
年齢別にみると年齢が高くなるにつれて「できるし、している」の割合は低下し、80歳を超えてからは急下降していることがわかります。

上段:度数 下段:%	(4) バスや電車を使って1人で外出していますか				
	合計	できるし、している	できるけどしていない	できない	不明・無回答
全体	2,857 100.0	2,137 74.8	472 16.5	197 6.9	51 1.8
要支援1	80 100.0	33 41.3	14 17.5	31 38.8	2 2.5
要支援2	63 100.0	17 27.0	4 6.3	38 60.3	4 6.3
認定なし	2,501 100.0	1,948 77.9	419 16.8	100 4.0	34 1.4
65～69歳	608 100.0	514 84.5	73 12.0	14 2.3	7 1.2
70～74歳	874 100.0	702 80.3	144 16.5	21 2.4	7 0.8
75～79歳	583 100.0	458 78.6	94 16.1	22 3.8	9 1.5
80～84歳	399 100.0	277 69.4	70 17.5	41 10.3	11 2.8
85～89歳	201 100.0	83 41.3	61 30.3	49 24.4	8 4.0
90歳以上	79 100.0	17 21.5	11 13.9	48 60.8	3 3.8

(5) 自分で食品・日用品の買物をしているか

【SA】

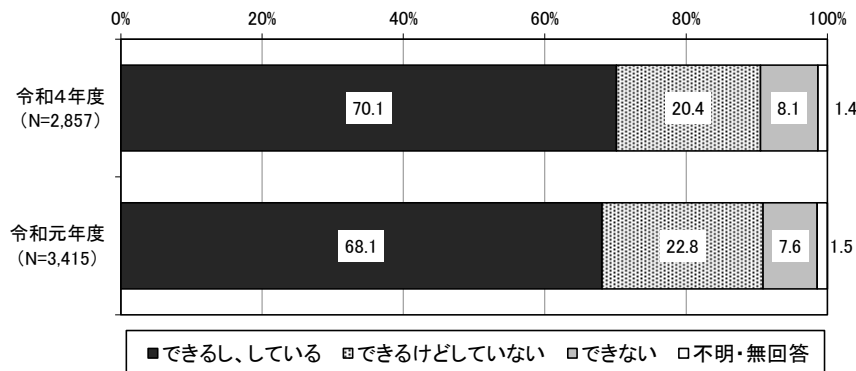
自分で食品・日用品の買物をしているかについては「できるし、している」が82.9%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が11.9%となっています。



(6) 自分で食事の用意をしているか

【SA】

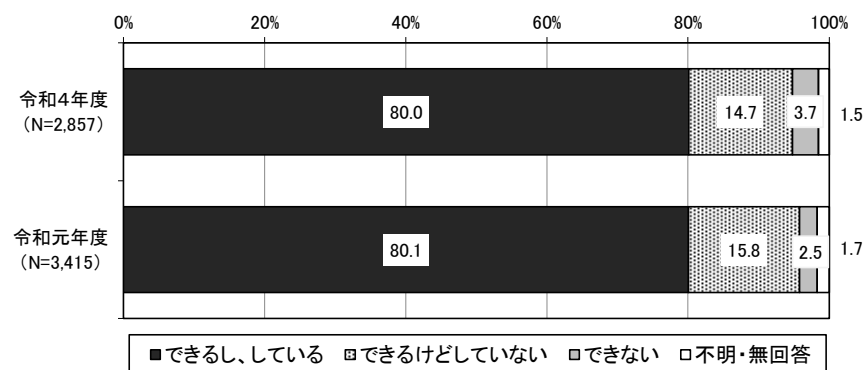
自分で食事の用意をしているかについては「できるし、している」が70.1%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が20.4%となっています。



(7) 自分で請求書の支払いをしているか

【SA】

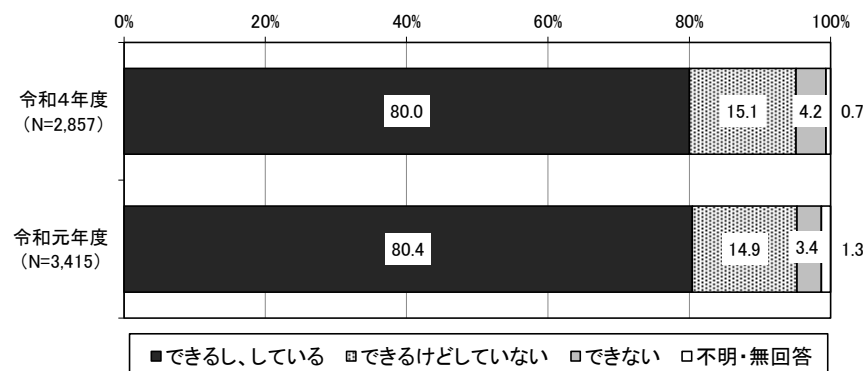
自分で請求書の支払いをしているかについては「できるし、している」が80.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が14.7%となっています。



(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか

【SA】

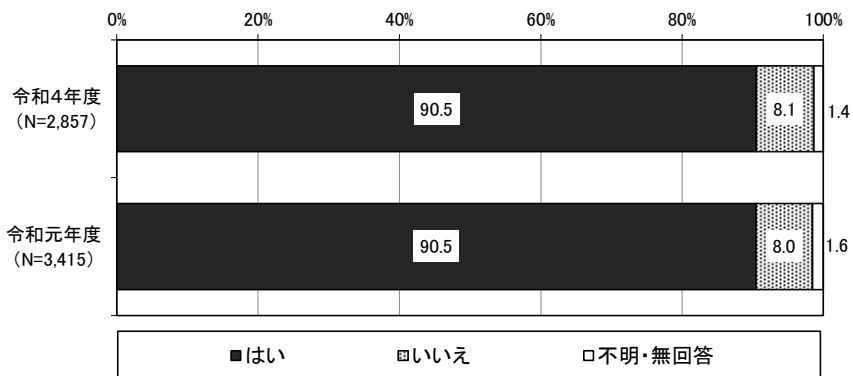
自分で預貯金の出し入れをしているかについては「できるし、している」が80.0%と最も高く、次いで「できるけどしていない」が15.1%となっています。



(9) 年金などの書類が書けるか

【SA】

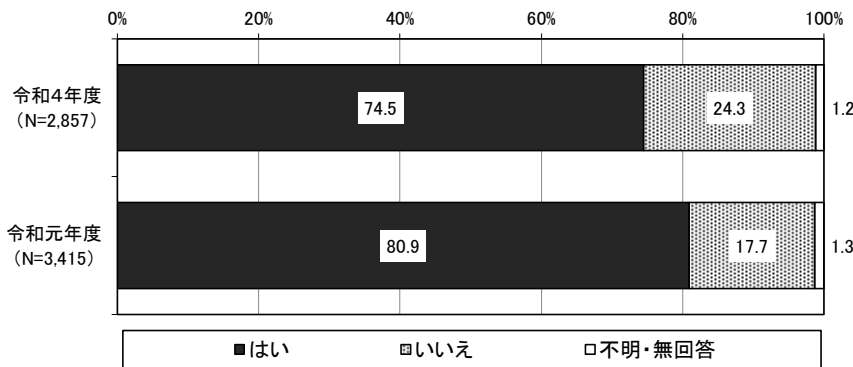
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けるかについては「はい」が90.5%、「いいえ」が8.1%となっています。



(10) 新聞を読んでいるか

【SA】

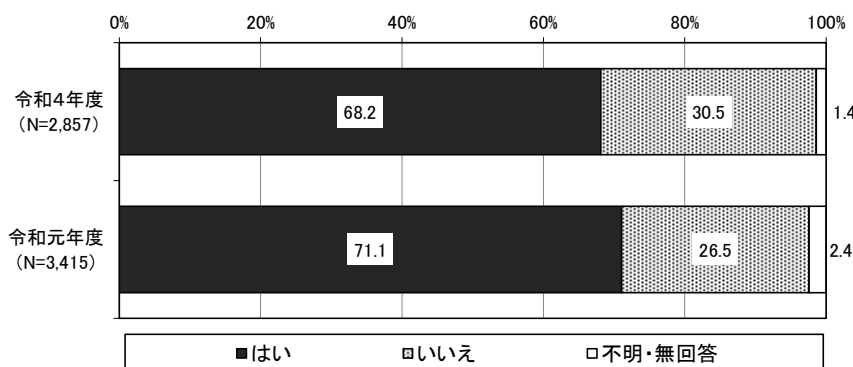
新聞を読んでいるかについては「はい」が74.5%、「いいえ」が24.3%となっています。



(11) 本や雑誌を読んでいるか

【SA】

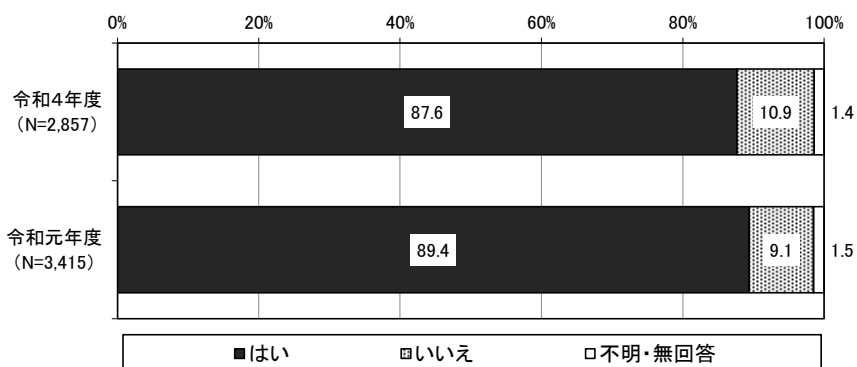
本や雑誌を読んでいるかについては「はい」が68.2%、「いいえ」が30.5%となっています。



(12) 健康についての記事や番組に関心があるか

【SA】

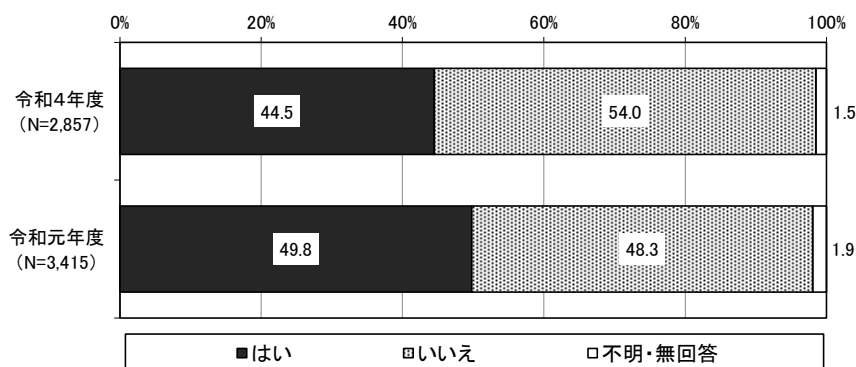
健康についての記事や番組に関心があるかについては「はい」が87.6%、「いいえ」が10.9%となっています。



(13) 友人の家を訪ねているか

【SA】

友人の家を訪ねているかについては「はい」が44.5%、「いいえ」が54.0%となっています。



■友人の家を訪ねているか×性別、年齢クロス

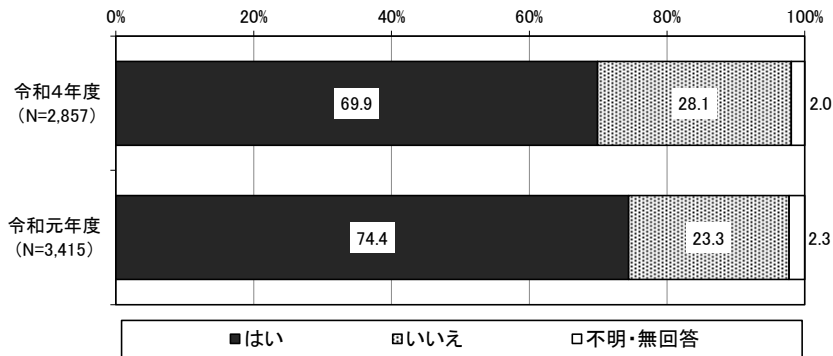
性別でみると「女性」の方が「男性」よりも「はい」の割合が高くなっています。年齢でみると『85歳以上』で「はい」の割合が低くなっています。

上段:度数 下段:%	問4(13) 友人の家を訪ねていますか			
	合計	はい	いいえ	不明・無回答
全体	2,857 100.0	1,271 44.5	1,542 54.0	44 1.5
男性	1,311 100.0	472 36.0	821 62.6	18 1.4
女性	1,440 100.0	745 51.7	674 46.8	21 1.5
65～69歳	608 100.0	249 41.0	353 58.1	6 1.0
70～74歳	874 100.0	419 47.9	448 51.3	7 0.8
75～79歳	583 100.0	281 48.2	293 50.3	9 1.5
80～84歳	399 100.0	170 42.6	219 54.9	10 2.5
85～89歳	201 100.0	77 38.3	120 59.7	4 2.0
90歳以上	79 100.0	18 22.8	58 73.4	3 3.8

(14) 家族や友人の相談にのっているか

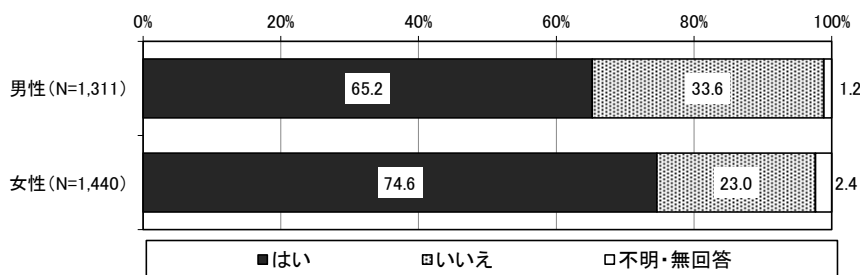
【SA】

家族や友人の相談にのっているかについては「はい」が69.9%、「いいえ」が28.1%となっています。



■家族や友人の相談にのっているか×性別クロス

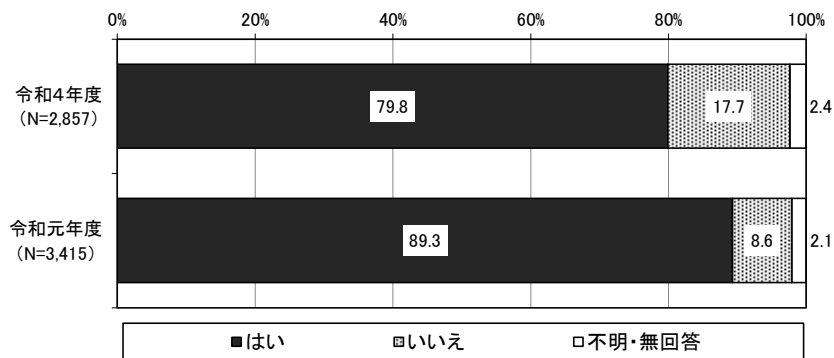
性別でみると「男性」の方が「はい」の割合が低くなっています。



(15) 病人を見舞うことができるか

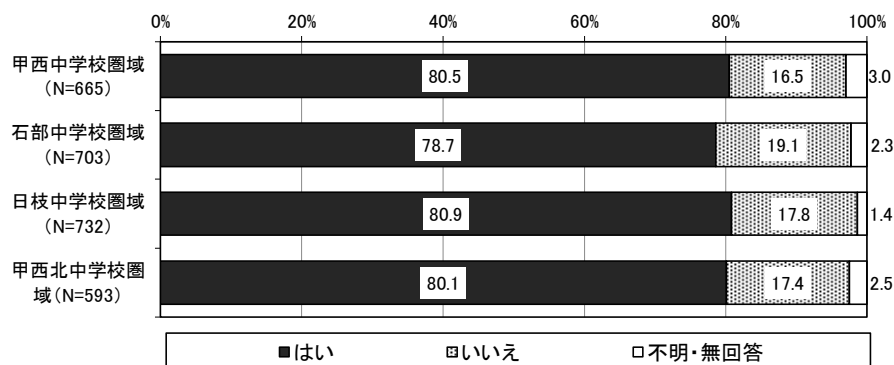
【SA】

病人を見舞うことができるかについては「はい」が79.8%、「いいえ」が17.7%となっています。



■病人を見舞うことができるか×日常生活圏域クロス

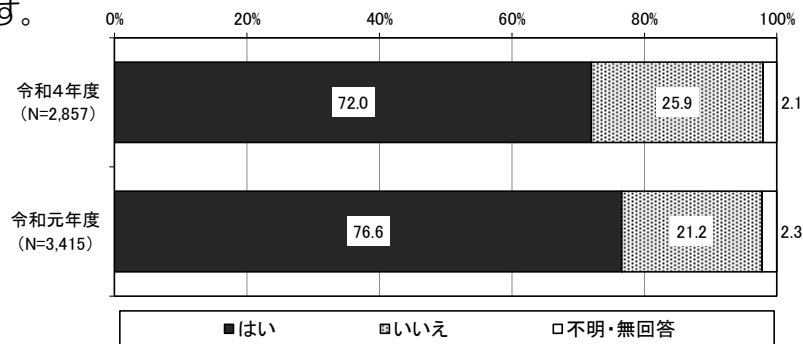
日常生活圏域別でみると「石部中学校圏域」で「いいえ」が2割弱となっています。



(16) 若い人に自分から話しかけることがあるか

【SA】

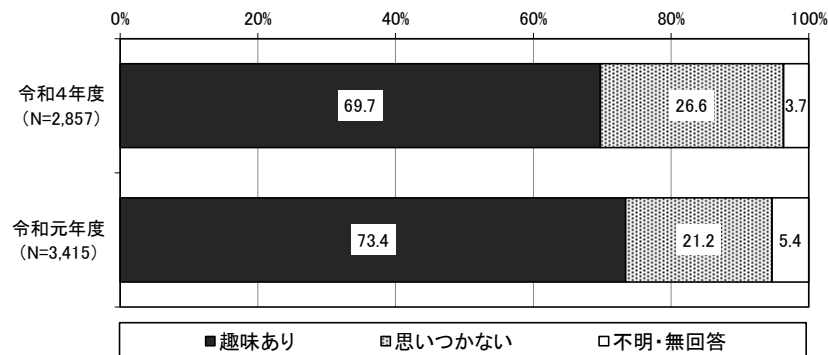
若い人に自分から話しかけることがあるかについては「はい」が72.0%、「いいえ」が25.9%となっています。



(17) 趣味はあるか

【SA】

趣味はあるかについては「趣味あり」が69.7%で、「思いつかない」が26.6%となっています。

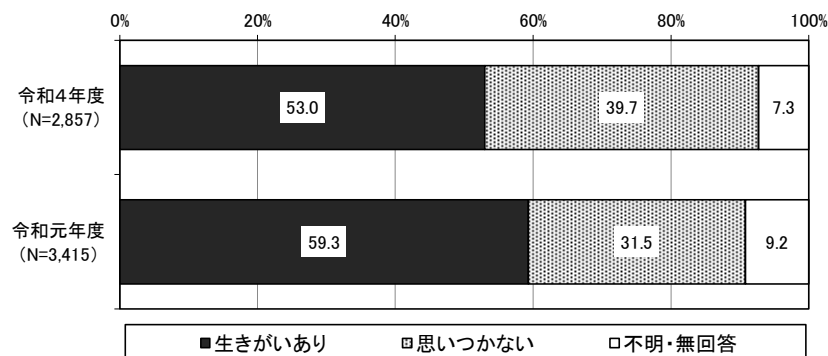


趣味の内訳(回答の多いもの)	
読書	家庭菜園、庭の手入れ、園芸
ゴルフ	音楽、映画鑑賞
手芸	カラオケ

(18) 生きがいはあるか

【SA】

生きがいはあるかについては「生きがいあり」が53.0%で、「思いつかない」が39.7%となっています。

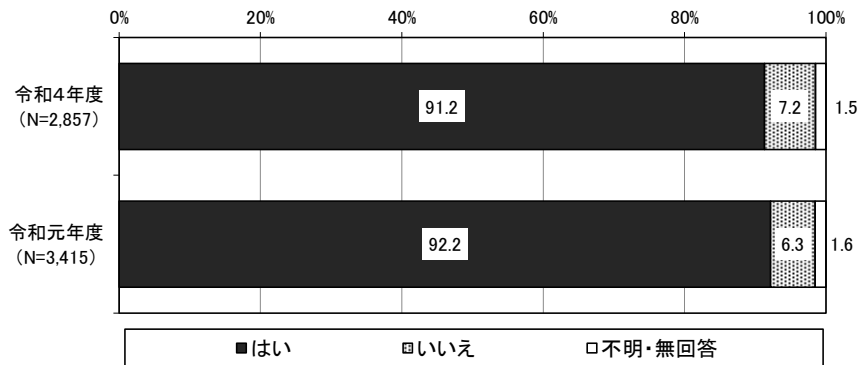


生きがいの内訳(回答の多いもの)	
子ども、孫の成長	家族の生活、世話、幸せ
旅行	仕事
自分と家族の健康	趣味

(19) ごみ出しはできるか

【SA】

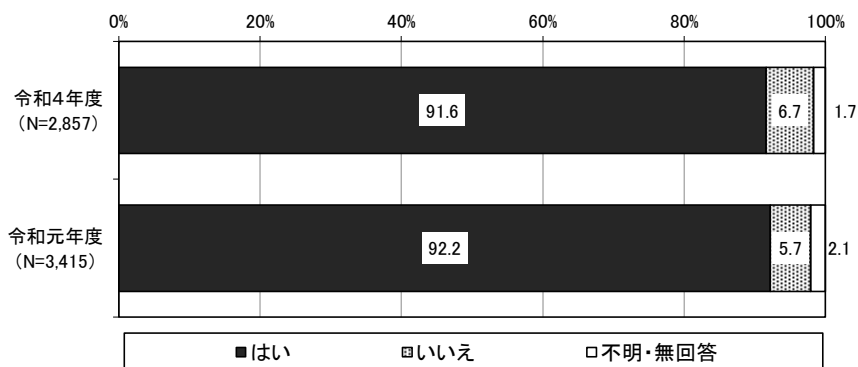
ごみ出しはできるかについては「はい」が91.2%と最も高く、次いで「いいえ」が7.2%となっています。



(20) カレンダーどおりにごみ出しができるか

【SA】

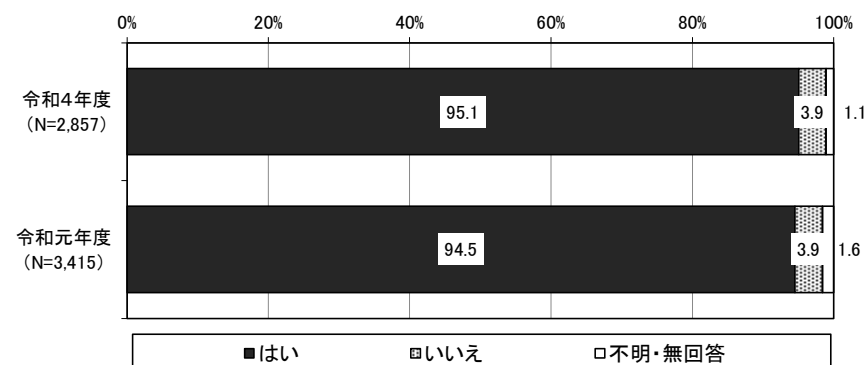
カレンダーどおりにごみ出しができるかについては「はい」が91.6%と最も高く、次いで「いいえ」が6.7%となっています。



(21) ごみの分別ができるか

【SA】

ごみの分別ができるかについては「はい」が95.1%と最も高く、次いで「いいえ」が3.9%となっています。

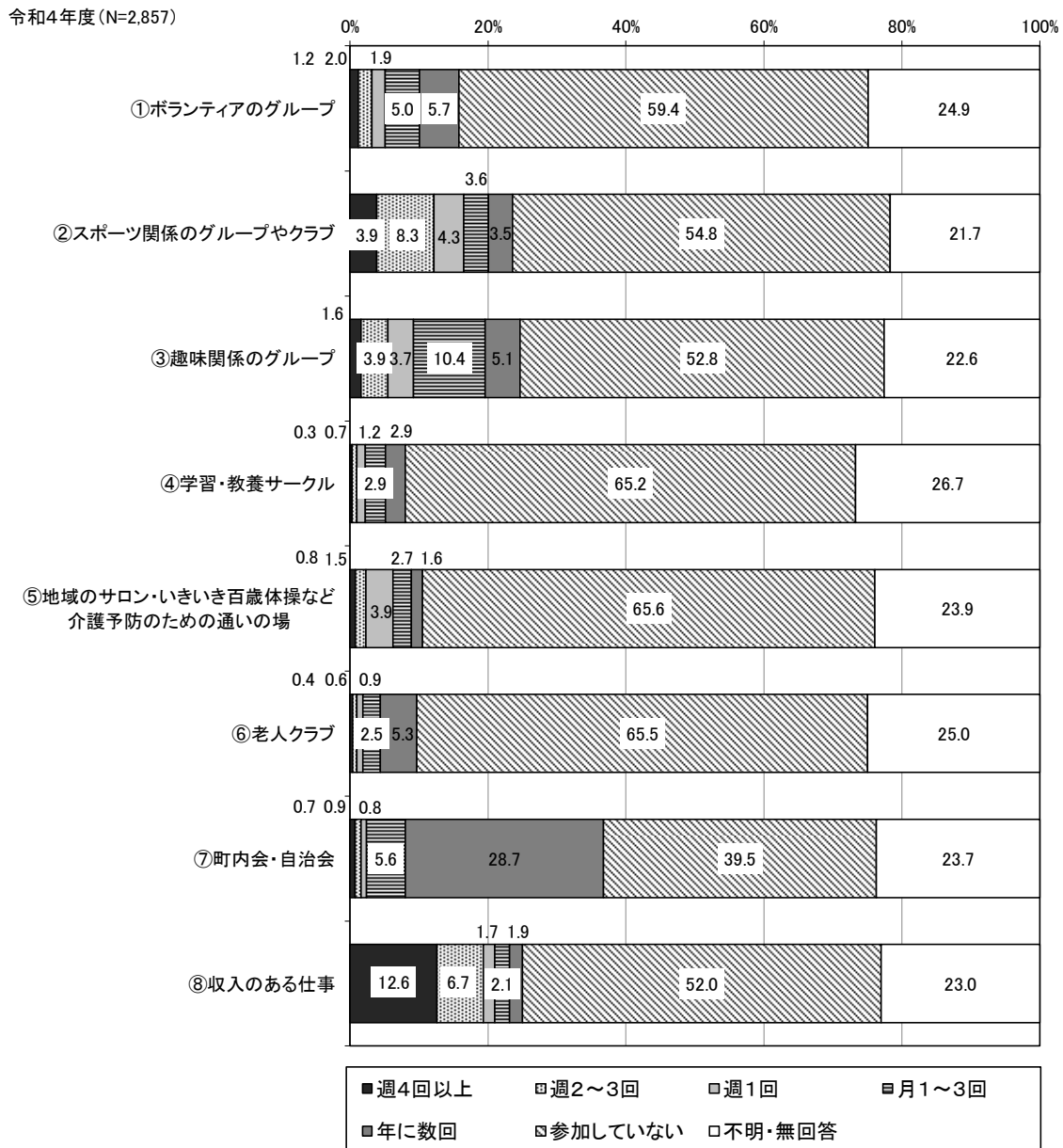


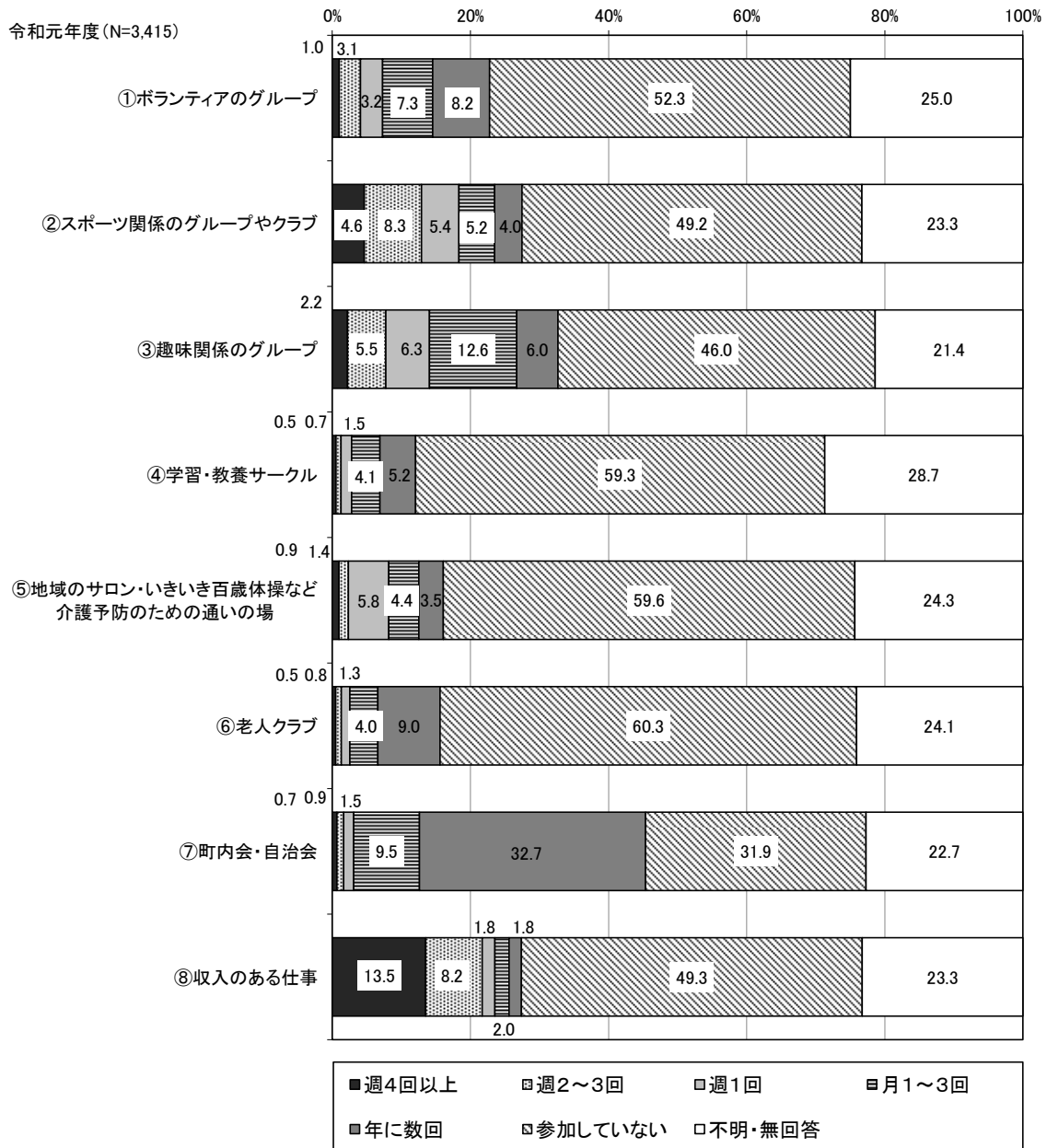
6. 地域での活動について

(1) 次の会・グループにどれくらいの頻度で参加していますか

【SA】

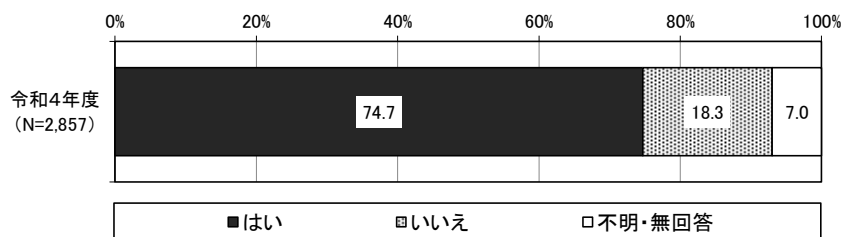
会・グループへの参加についてはいずれの会・グループにおいても「参加していない」の割合が最も高くなっています。「週1回以上」（「週4回以上」「週2～3回」「週1回」の合計）は、[⑦収入のある仕事]で21.0%と最も高く、次いで[②スポーツ関係のグループやクラブ]で16.5%、[③趣味関係のグループ]で9.2%となっています。





(2) 上記①～⑥のような活動の場が身近な地域にあることを知っているか **【SA】**

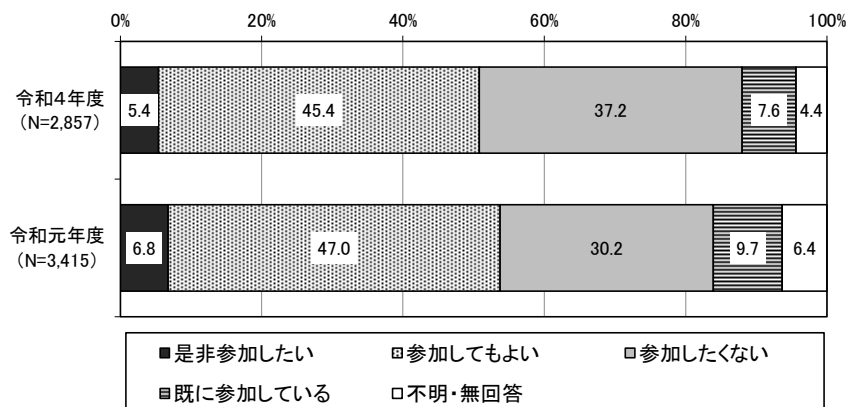
①～⑥のような活動の場が身近な地域にあることを知っているかについては「はい」が74.7%、「いいえ」が18.3%となっています。



(3) 地域活動に参加したいと思うか

【SA】

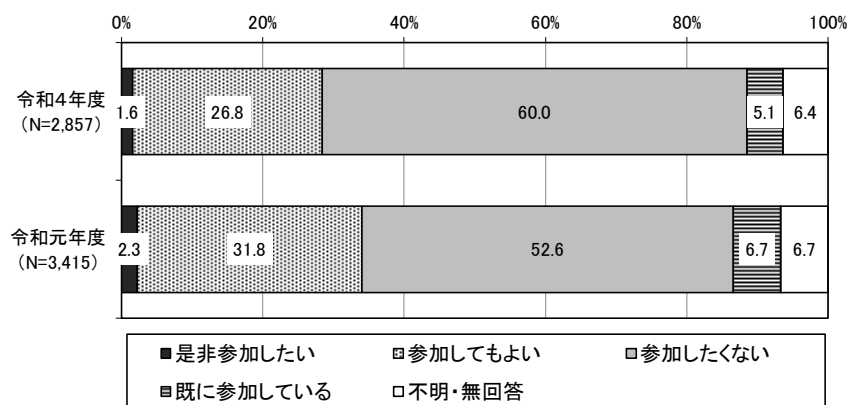
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思うかについては「参加してもよい」が45.4%と最も高く、次いで「参加したくない」が37.2%となっています。「是非参加したい」「参加してもよい」の合計は5割を超えています。



(4) 地域活動の企画運営に参加したいと思うか

【SA】

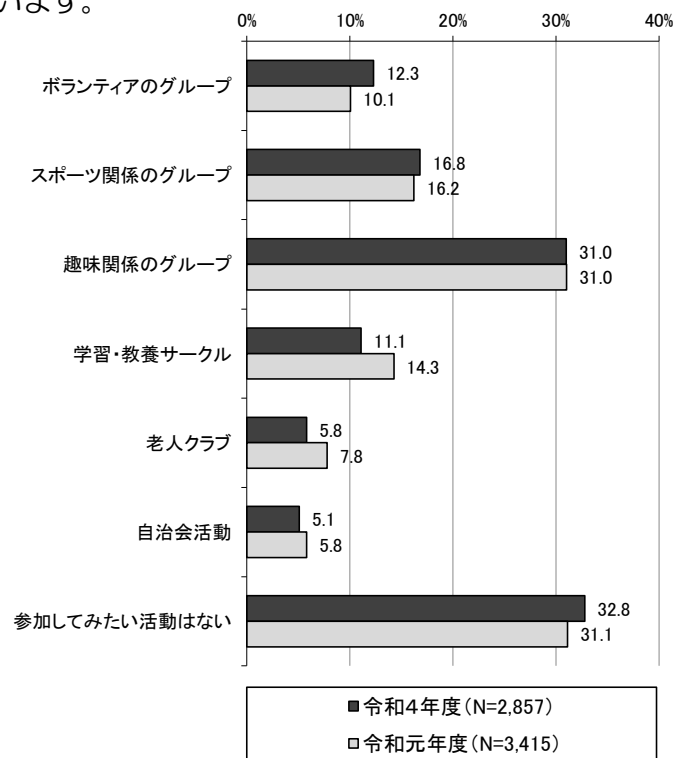
地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思うかについては「参加したくない」が60.0%と最も高く、次いで「参加してもよい」が26.8%となっています。



(5) 身近でどのような活動があれば、参加してみたいか

【SA】

身近でどのような活動があれば、参加してみたいかについては「参加してみたい活動はない」が32.8%と最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が31.0%、「スポーツ関係のグループ」が16.8%となっています。

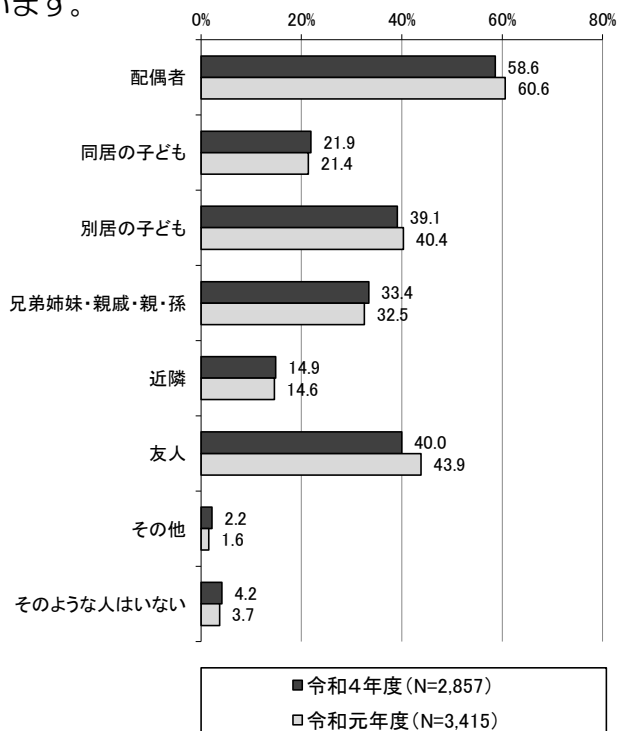


7. 助け合いについて

(1) あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人

【MA】

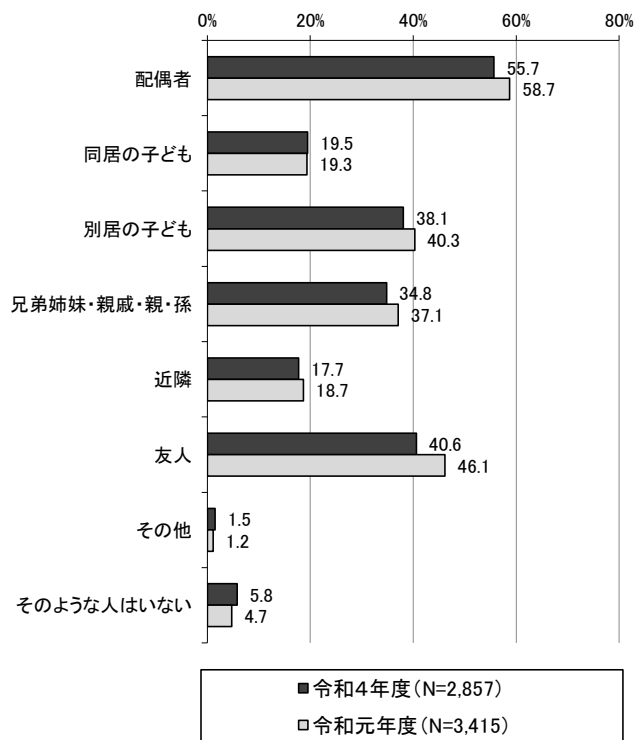
あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については「配偶者」が58.6%と最も高く、次いで「友人」が40.0%となっています。



(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人

【MA】

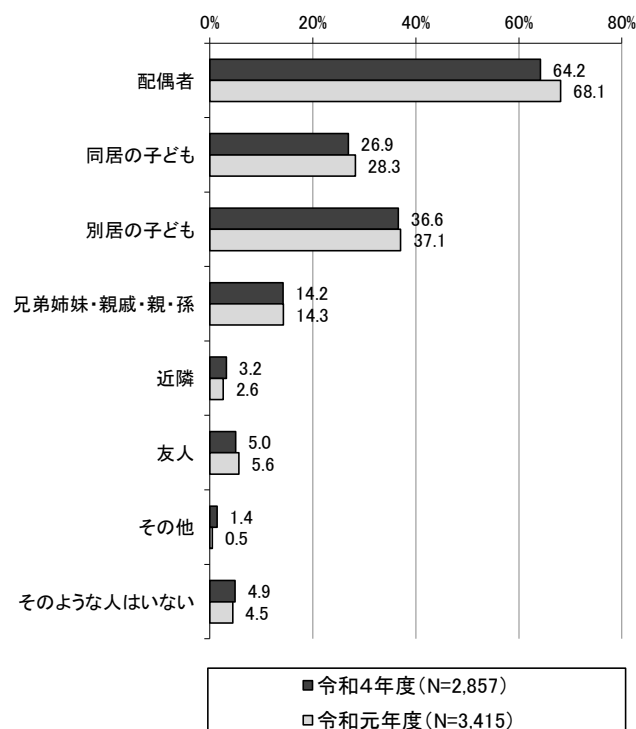
反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については「配偶者」が55.7%と最も高く、次いで「友人」が40.6%となっています。



(3) 看病や世話をしてくれる人

【MA】

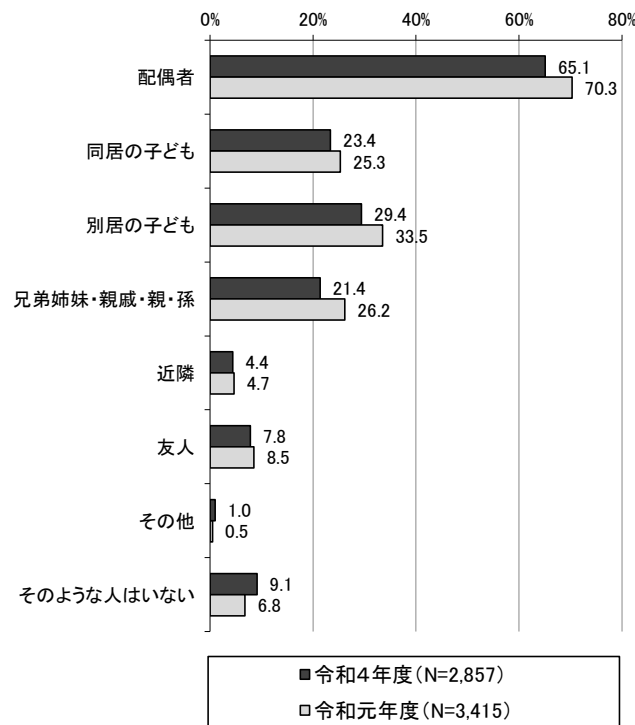
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については「配偶者」が64.2%と最も高く、次いで「別居の子ども」が36.6%、「同居の子ども」が26.9%となっており、「同居の子ども」より「別居の子ども」の方が高くなっています。



(4) 反対に、看病や世話をしてくれる人

【MA】

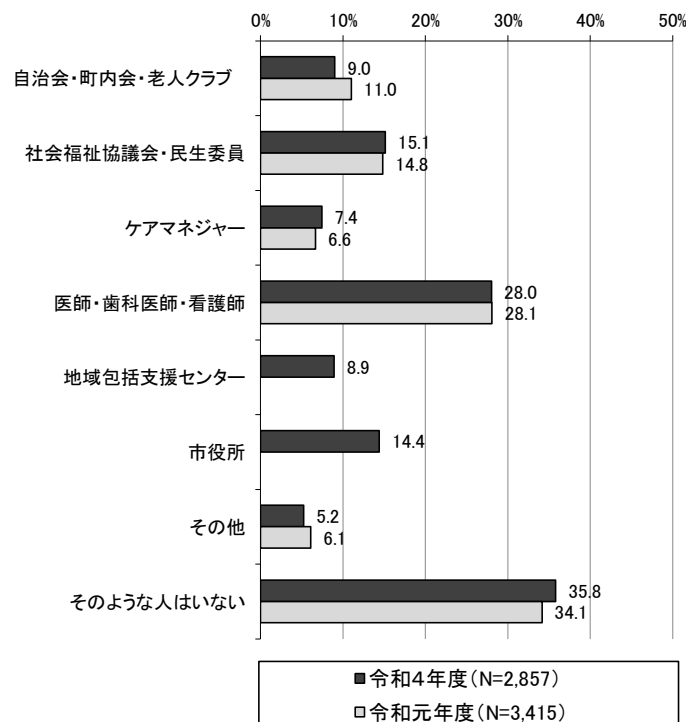
反対に看病や世話をしてくれる人については「配偶者」が65.1%と最も高く、次いで「別居の子ども」が29.4%、「同居の子ども」が23.4%となっています。



(5) 家族や友人・知人以外で、相談する相手

【MA】

家族や友人・知人以外で、相談する相手については「そのような人はいない」が35.8%と最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が28.0%となっています。



※「地域包括支援センター」「市役所」は、前回(令和元年度)調査における「地域包括支援センター・市役所」を分割。

■家族や友人以外の相談相手×要介護区分、年齢クロス

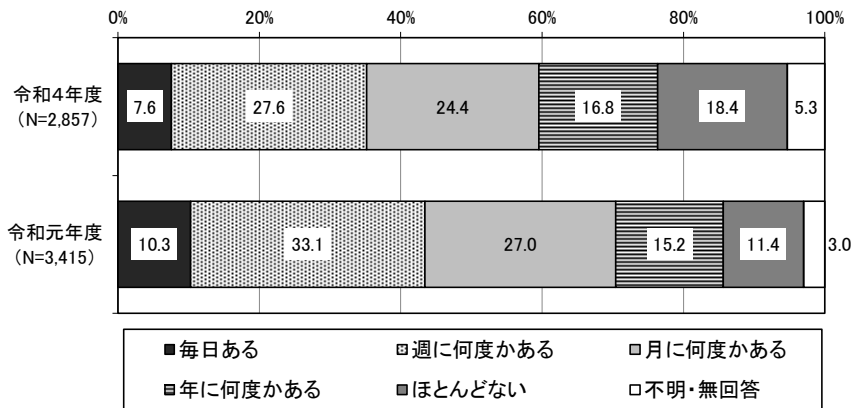
要介護区分別でみると「認定がある方（要支援1、要支援2）」は、ケアマネジャーの割合が高く、「そのような人はいない」が低くなっています。

上段:度数 下段:%	問6(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください									
	合計	自治会・ 町内会・ 老人クラブ	社会福祉 協議会・ 民生委員	ケアマネ ジャー	医師・歯 科医師・ 看護師	地域包括 支援セン ター	市役所	その他	そのような 人はいな い	不明・無 回答
要支援1	80 100.0	8 10.0	15 18.8	29 36.3	25 31.3	7 8.8	5 6.3	6 7.5	18 22.5	9 11.3
要支援2	63 100.0	0 0.0	10 15.9	38 60.3	26 41.3	9 14.3	6 9.5	1 1.6	13 20.6	5 7.9
認定なし	2,501 100.0	227 9.1	373 14.9	122 4.9	701 28.0	228 9.1	373 14.9	130 5.2	935 37.4	219 8.8
65～69歳	608 100.0	41 6.7	56 9.2	40 6.6	158 26.0	37 6.1	76 12.5	33 5.4	275 45.2	28 4.6
70～74歳	874 100.0	71 8.1	121 13.8	32 3.7	241 27.6	77 8.8	144 16.5	45 5.1	341 39.0	71 8.1
75～79歳	583 100.0	62 10.6	99 17.0	44 7.5	162 27.8	58 9.9	103 17.7	32 5.5	195 33.4	61 10.5
80～84歳	399 100.0	39 9.8	77 19.3	32 8.0	139 34.8	45 11.3	49 12.3	20 5.0	101 25.3	58 14.5
85～89歳	201 100.0	24 11.9	50 24.9	31 15.4	53 26.4	18 9.0	15 7.5	8 4.0	55 27.4	29 14.4
90歳以上	79 100.0	7 8.9	14 17.7	27 34.2	23 29.1	13 16.5	5 6.3	4 5.1	20 25.3	10 12.7

(6) 友人・知人と会う頻度

【SA】

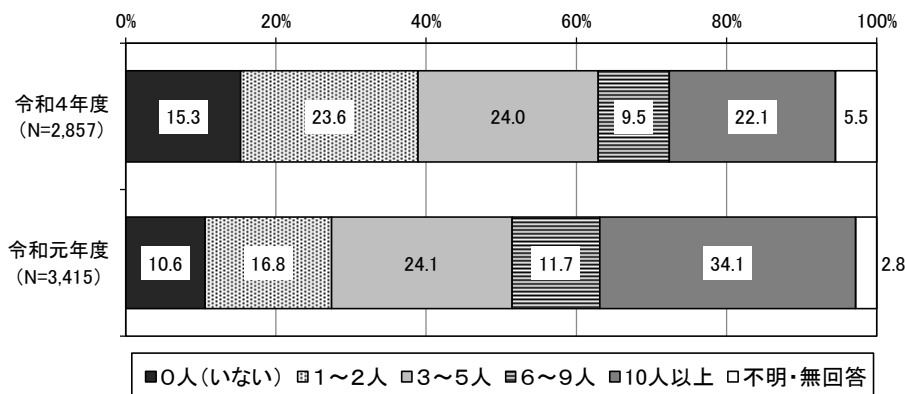
友人・知人と会う頻度については「週に何度かある」が27.6%と最も高く、次いで「月に何度かある」が24.4%となっています。



(7) この1か月間、何人の友人・知人と会ったか

【SA】

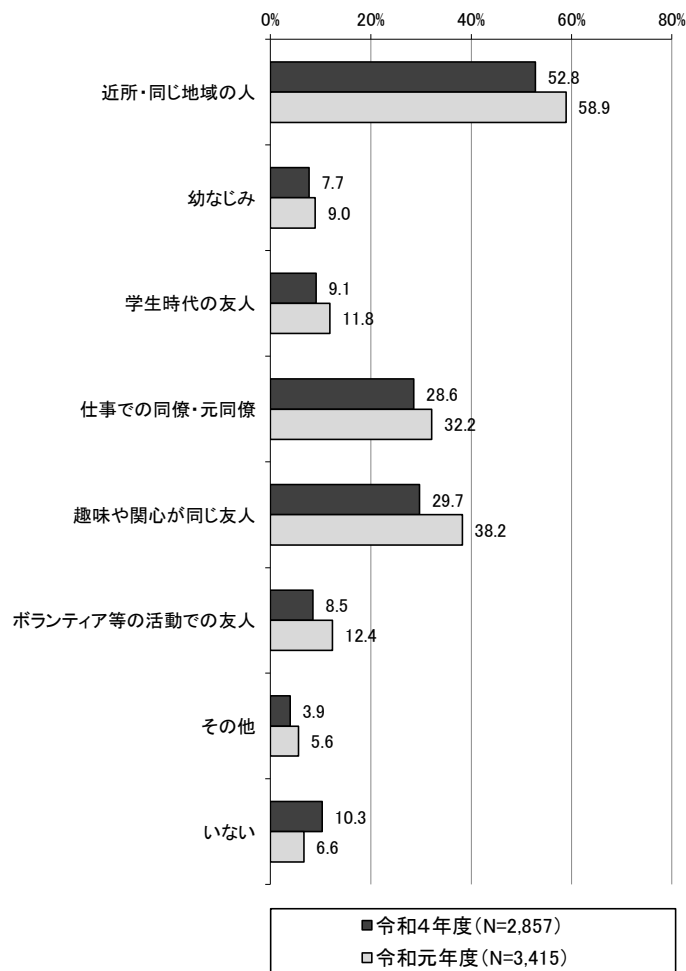
この1か月間、何人の友人・知人と会ったかについては「3～5人」が24.0%と最も高く、次いで「1～2人」が23.6%となっています。



(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人か

【MA】

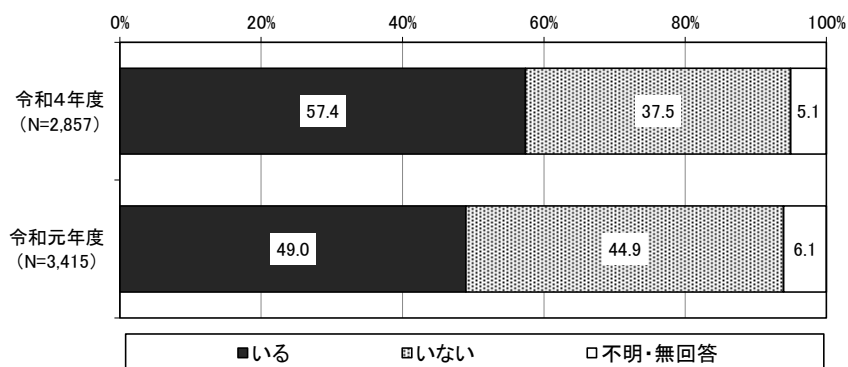
よく会う友人・知人はどんな関係の人かについては「近所・同じ地域の人」が52.8%と最も高く、次いで「趣味や関心が同じ友人」が29.7%となっています。



(9) ごみ出しや、家事を手伝ってくれる人

【MA】

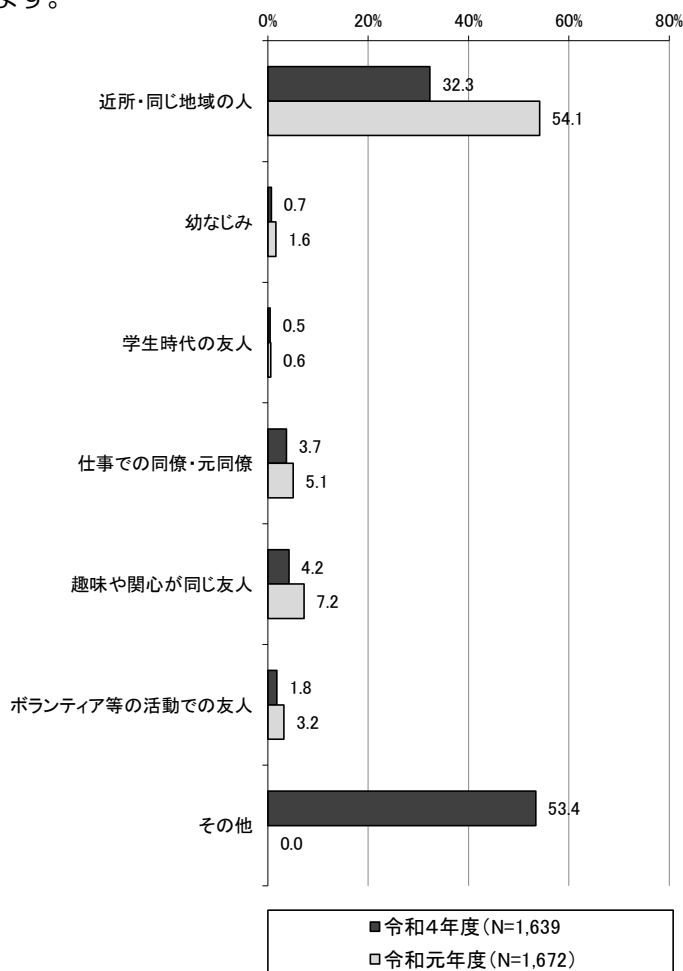
ごみ出しや、家事を手伝ってくれる人については「いる」が57.4%、「いない」が37.5%となっています。



(10) どのような関係の人が手伝ってくれるか

【MA】

どのような関係の人が手伝ってくれるかについては「その他」が53.4%と最も高く、次いで「近所・同じ地域の人」が32.3%となっています。「その他」の内訳は、配偶者や子どもなど家族が最も多くなっています。



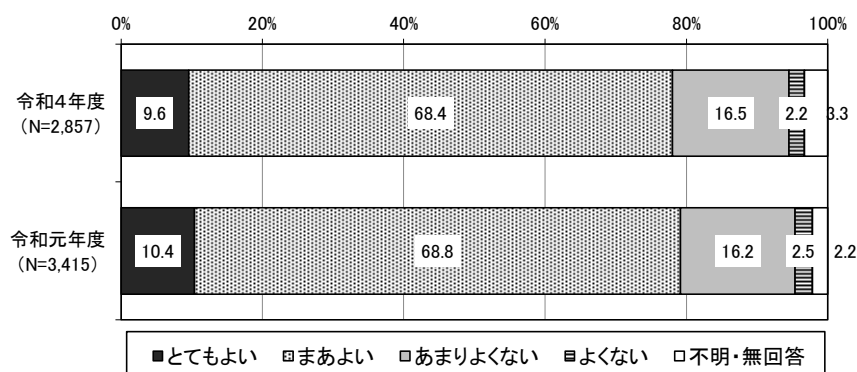
※選択肢「その他」は、今回(令和4年度)調査から新しく追加。

8. 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態

【SA】

現在のあなたの健康状態については「まあよい」が68.4%と最も高く、「とてもよい」と合わせて78.0%となっています。



■健康状態×日常生活圏域クロス

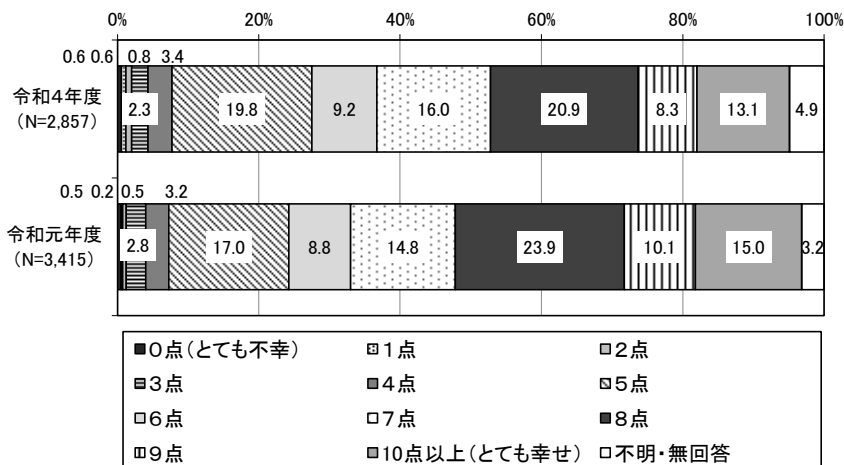
日常生活圏域別でみると「日枝中学校圏域」では、「あまりよくない」と「よくない」の合計が2割となっています。

上段:度数 下段:%	問7(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか					
	合計	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	不明・無回答
全体	2,857 100.0	273 9.6	1,954 68.4	472 16.5	64 2.2	94 3.3
甲西中学校圏域	665 100.0	61 9.2	464 69.8	107 16.1	15 2.3	18 2.7
石部中学校圏域	703 100.0	59 8.4	505 71.8	110 15.6	11 1.6	18 2.6
日枝中学校圏域	732 100.0	75 10.2	487 66.5	128 17.5	18 2.5	24 3.3
甲西北中学校圏域	593 100.0	59 9.9	406 68.5	96 16.2	19 3.2	13 2.2

(2) あなたは、現在どの程度幸せか

【SA】

あなたは、現在どの程度幸せかについては10点満点中「8点」が20.9%で最も高く、次いで「5点」が19.8%、「7点」が16.0%となっており、平均点は6.96点となっています。



■日常生活圏域別の平均点

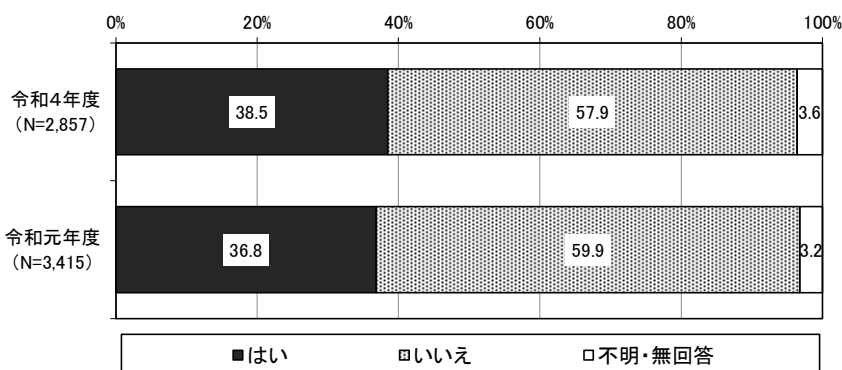
幸せかどうかの平均点を日常生活圏域別でみると「甲西中学校圏域」が最も高く7.12点となっています。

甲西中学校圏域	7.12
石部中学校圏域	6.87
日枝中学校圏域	6.81
甲西北中学校圏域	7.04

(3) ゆうつな気持ちになったりすることがあるか

【SA】

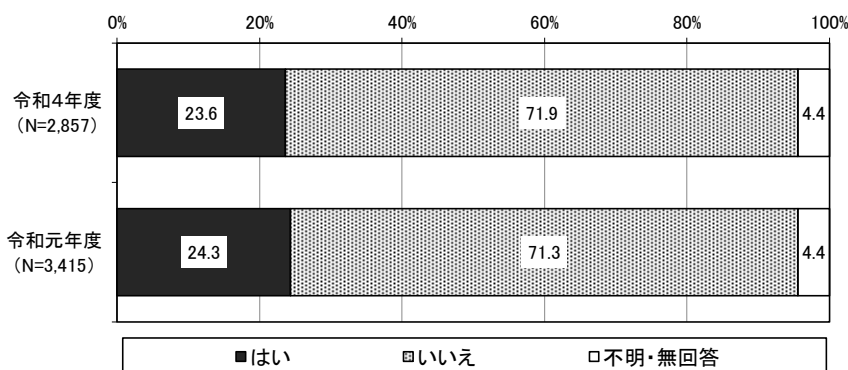
この1か月間、気分が沈んだり、ゆうつな気持ちになったりすることがあるかについては「いいえ」が57.9%で、「はい」が38.5%となっています。



(4) 物事に対して興味がわかない、心から楽しめない感じがよくあったか

【SA】

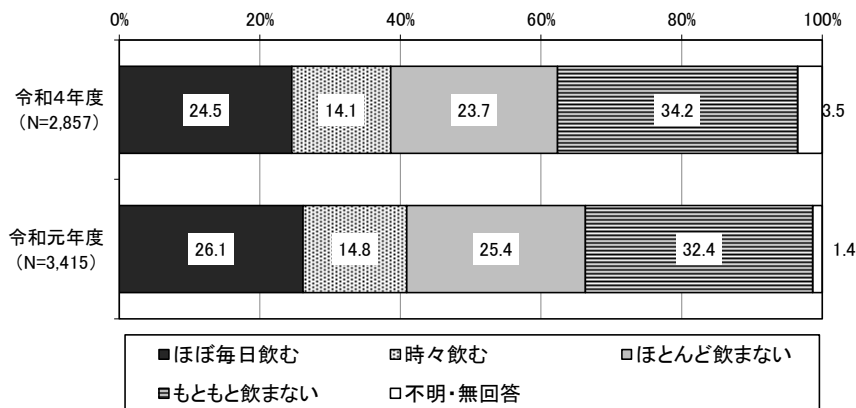
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくあったかについては「いいえ」が71.9%で、「はい」が23.6%となっています。



(5) お酒は飲むか

【SA】

お酒は飲むかについては「もともと飲まない」が34.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日飲む」が24.5%、「ほとんど飲まない」が23.7%となっています。



■お酒は飲むか×性別、要介護区分クロス

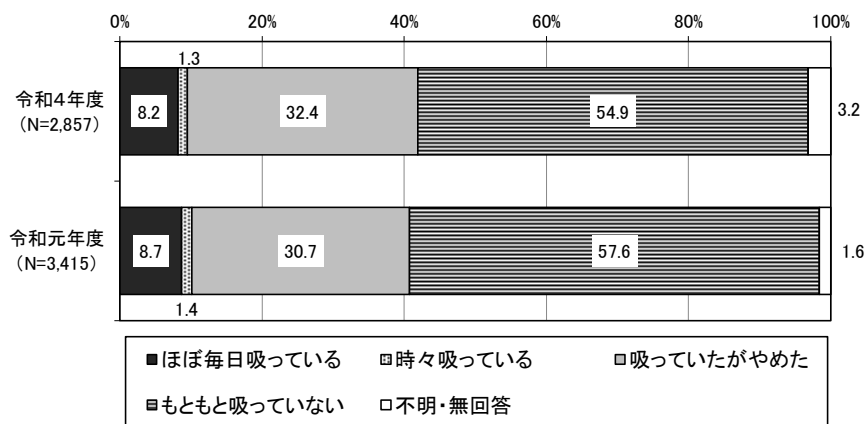
性別で見ると「男性」の方が飲酒傾向は高く、また要介護区分別で見ると「認定なし」の飲酒傾向が高くなっています。

上段:度数 下段:%	問7(5) お酒は飲みますか					
	合計	ほぼ毎日飲む	時々飲む	ほとんど飲まない	もともと飲まない	不明・無回答
全体	2,857 100.0	700 24.5	404 14.1	676 23.7	976 34.2	101 3.5
男性	1,311 100.0	563 42.9	190 14.5	279 21.3	236 18.0	43 3.3
女性	1,440 100.0	115 8.0	200 13.9	375 26.0	708 49.2	42 2.9
要支援1	80 100.0	14 17.5	7 8.8	23 28.7	31 38.8	5 6.3
要支援2	63 100.0	10 15.9	9 14.3	16 25.4	22 34.9	6 9.5
認定なし	2,501 100.0	641 25.6	361 14.4	585 23.4	846 33.8	68 2.7

(6) タバコは吸っているか

【SA】

タバコは吸っているかについては「もともと吸っていない」が54.9%と最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が32.4%となっています。



■タバコは吸うか×性別、要介護区分クロス

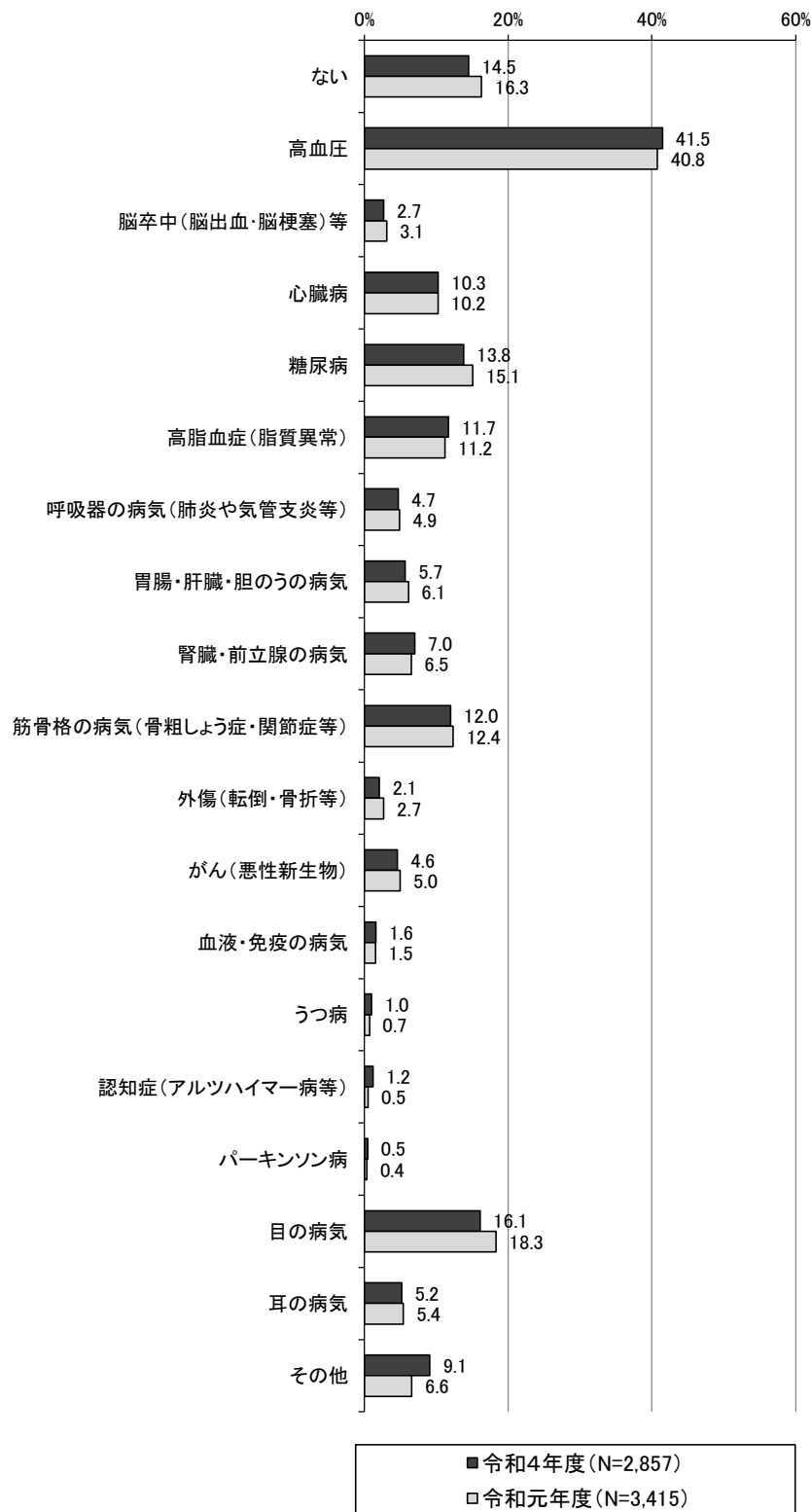
要介護区分別にみるとあまり差はなく、性別では男性の方は「吸っていたがやめた」の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	問7(6) タバコは吸っていますか					
	合計	ほぼ毎日吸っている	時々吸っている	吸っていたがやめた	もともと吸っていない	不明・無回答
全体	2,857 100.0	234 8.2	36 1.3	926 32.4	1,569 54.9	92 3.2
男性	1,311 100.0	190 14.5	25 1.9	764 58.3	288 22.0	44 3.4
女性	1,440 100.0	36 2.5	10 0.7	128 8.9	1,232 85.6	34 2.4
要支援1	80 100.0	7 8.8	3 3.8	29 36.3	36 45.0	5 6.3
要支援2	63 100.0	5 7.9	2 3.2	17 27.0	33 52.4	6 9.5
認定なし	2,501 100.0	207 8.3	30 1.2	824 32.9	1,379 55.1	61 2.4

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はあるか

【MA】

現在治療中、または後遺症のある病気はあるかについては「高血圧」が41.5%と最も高く、次いで「目の病気」が16.1%、「糖尿病」が13.8%となっています。

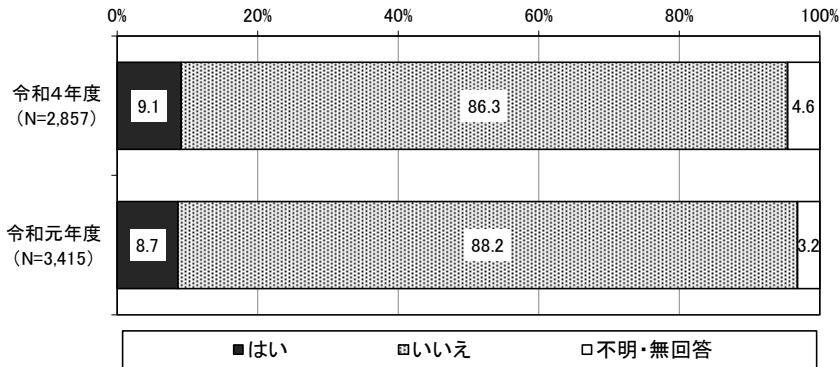


9. 高齢者の暮らしについて

(1) 認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるか

【SA】

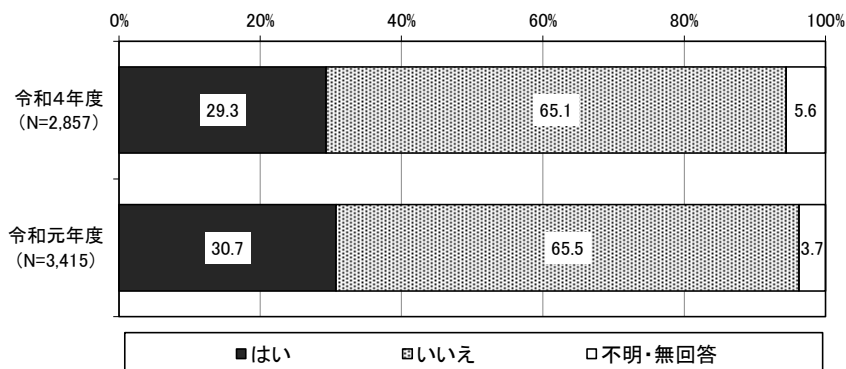
認知症の症状がある、または家族に認知症の症状がある人がいるかについては「いいえ」が86.3%で、「はい」が9.1%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

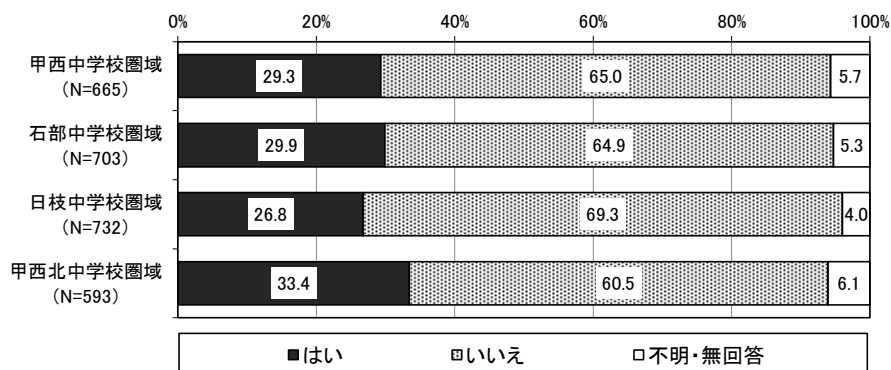
【SA】

認知症に関する相談窓口を知っているかについては「いいえ」が65.1%で、「はい」が29.3%となっています。



■ 認知症に関する相談窓口の認知度 × 日常生活圏域クロス

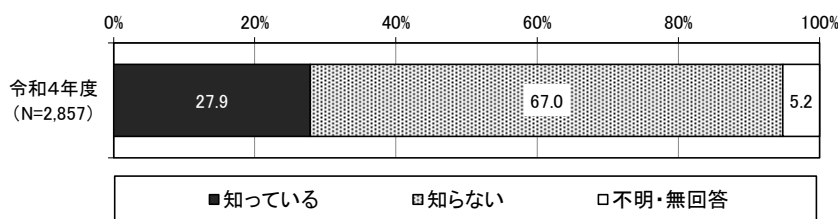
日常生活圏域別にみると「甲西北中学校圏域」で「はい」が3割を超えています。



(3) 「フレイル」という言葉を知っているか※今回(令和4年度)調査からの設問

【SA】

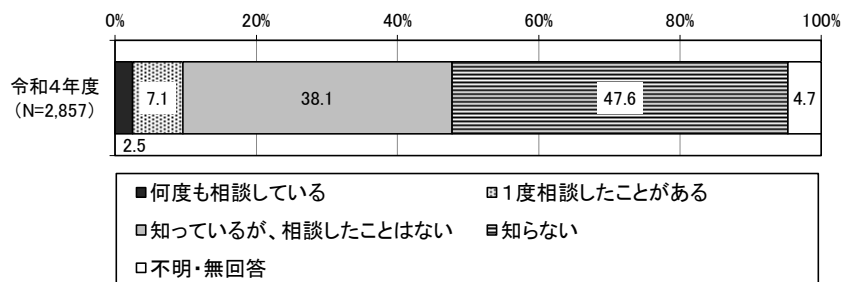
「フレイル」という言葉を知っているかについては「知らない」が67.0%、「知っている」が27.9%となっています。



(4) 地域包括支援センターの認知度と利用経験※今回(令和4年度)調査からの設問

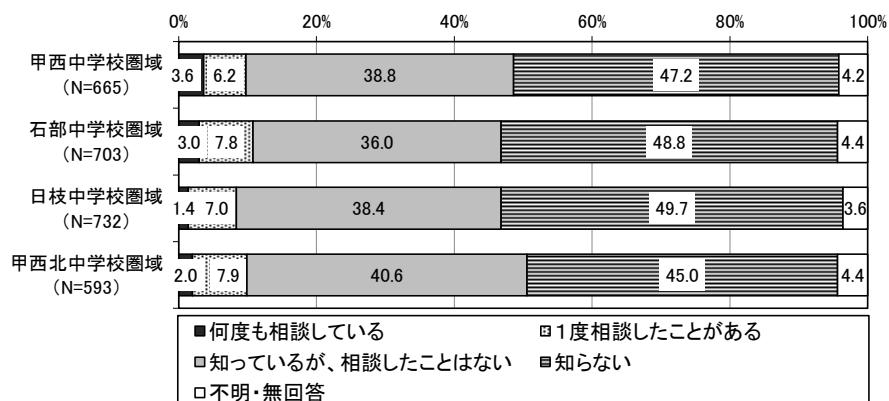
【SA】

地域包括支援センター(支所を含む)に相談したことがあるかについては「知らない」が47.6%と最も高く、次いで「知っているが、相談したことはない」が38.1%、「1度相談したことがある」が7.1%となっています。



■地域包括支援センターの認知度・利用経験×日常生活圏域クロス

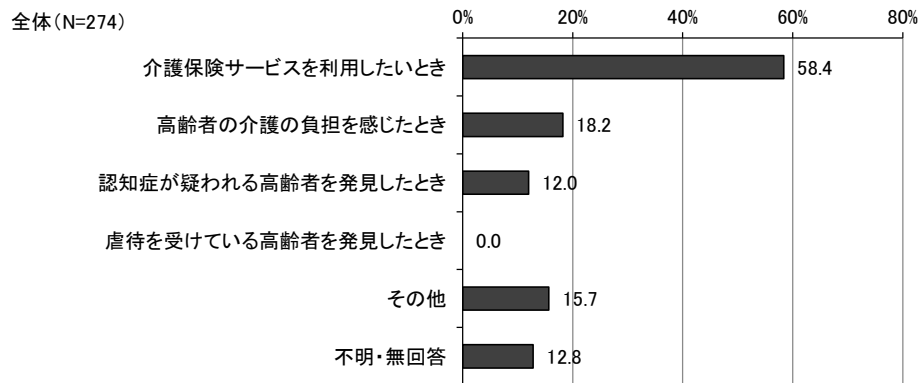
日常生活圏域別にみると「甲西北中学校圏域」で「知らない」の割合が低くなっています。



(4)―①. 地域包括支援センターを利用した理由

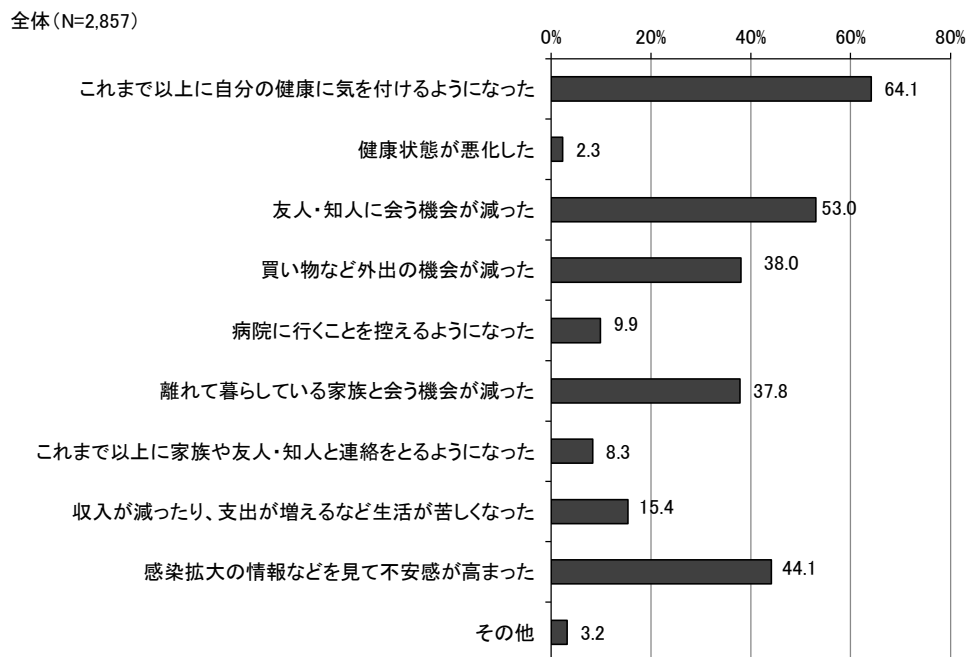
【MA】

前問(4)で、「何度も相談している」「1度相談したことがある」と答えた方に、利用した理由を尋ねたところ、「介護保険のサービスを利用したいとき」が58.4%と最も高く、次いで「高齢者の介護の負担を感じたとき」が18.2%となっています。



(5) 新型コロナウイルス流行が与えた生活や心身への影響※今回(令和4年度)調査からの設問【MA】

新型コロナウイルス流行が与えた生活や心身への影響については「これまで以上に自分の健康に気を付けるようになった」が64.1%と最も高く、次いで「友人・知人に会う機会が減った」が53.0%、「感染拡大の情報などを見て不安感が高まった」が44.1%となっています。



10. 高齢者福祉施策に期待することやご意見等について

主な意見項目	件数
免許返納後の交通手段に関する意見・要望	56
バス・タクシーなどの充実に関する意見・要望	42
お礼、お世話になった・なりたい、期待しているなどの意見	41
情報提供に関する意見・要望	41
自分や家族の生活や健康状態などの現状に関する記述	41
湖南市の高齢者福祉施策全般に関する意見・要望	35
経済的負担の軽減に関する意見・要望	34
認知症になった時や介護が必要になった時の不安について	30
高齢者が気軽に集える場・行事に関する意見・要望	26
介護施設、高齢者向け施設の充実に関する意見・要望	26
アンケートに関する意見・要望	26
交通機関の充実に関する意見・要望	23
自分や家族の心配、不安などに関する記述	21
通院、買い物のための手段の充実に関する意見・要望	18
介護保険料に関する意見・要望	17
市役所での手続き・相談体制・人材育成に関する意見・要望	16
買い物、配食サービス、ごみ出し等に関する意見・要望	14
認知症予防、介護予防、健康増進に関する意見・要望	14
ひとり暮らしの高齢者に対する支援に関する意見・要望	13
高齢者が活躍できる社会づくりに関する意見・要望(地域活動、ボランティア)	11
自治会・民生委員などに関する意見・要望	10
新型コロナウイルス感染症に関する意見・要望	10
バリアフリーに関する意見・要望	9
介護人材の確保・育成に関する意見・要望	6
高齢者の仕事に関する意見・要望	6
福祉サービスに関する意見・要望	6
介護サービスに関する意見・要望	5
地域・近隣の助け合いや見守り等に関する意見・要望	5
介護者を支援するための意見・要望	5
医療体制の充実、医療費負担に関する意見・要望	4
将来の過ごし方の希望について(健康維持、自立した生活がしたい)	4
「高齢者」の括り方に関する意見	4
高齢者の安否確認や状況把握に関する意見・要望	3
公共施設の充実に関する意見・要望	3
行政と関係機関との連携に関する意見・要望	3
介護施設、高齢者向け施設の利用料の軽減に関する意見・要望	2

I-II 生活機能評価

1. 生活機能

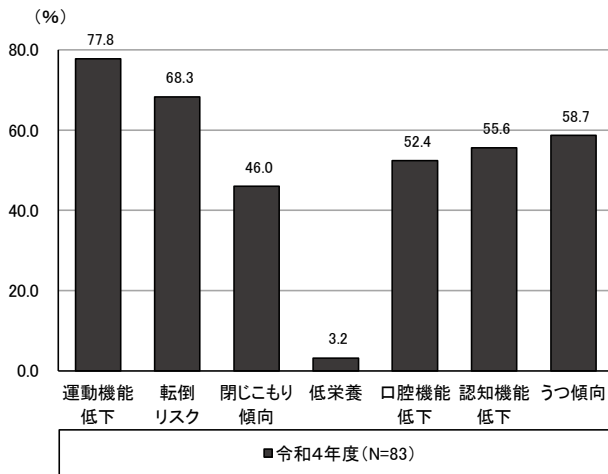
①要介護区分別

生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）の割合を要介護区分別にみると、「要支援2」では、「運動機能低下」の該当者が77.8%と最も高く、次いで「転倒リスク」が68.3%、「うつ傾向」が58.7%となっています。

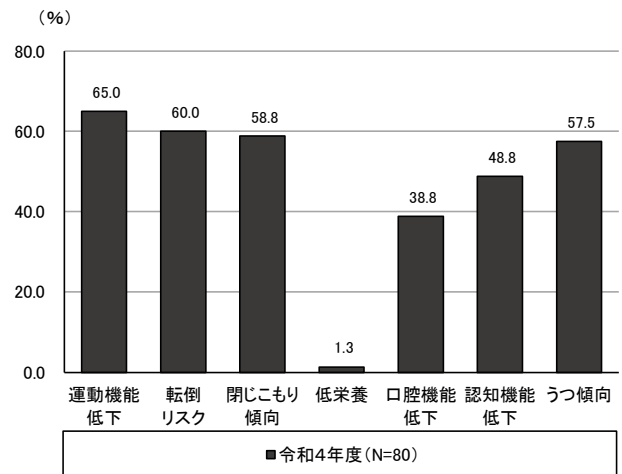
「要支援1」では、「運動機能低下」の該当者が65.0%と最も高く、次いで「転倒リスク」が60.0%、「閉じこもり傾向」が58.8%となっています。

「認定なし」では、「認知機能低下」の該当者が42.8%と最も高く、次いで「うつ傾向」が41.0%、「転倒リスク」が26.6%となっています。

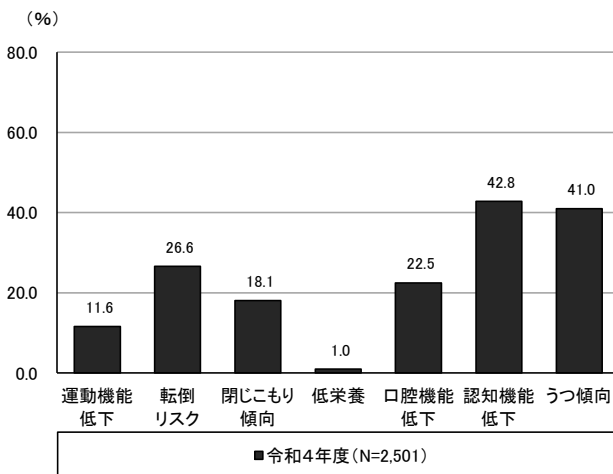
■要支援2の該当者割合



■要支援1の該当者割合



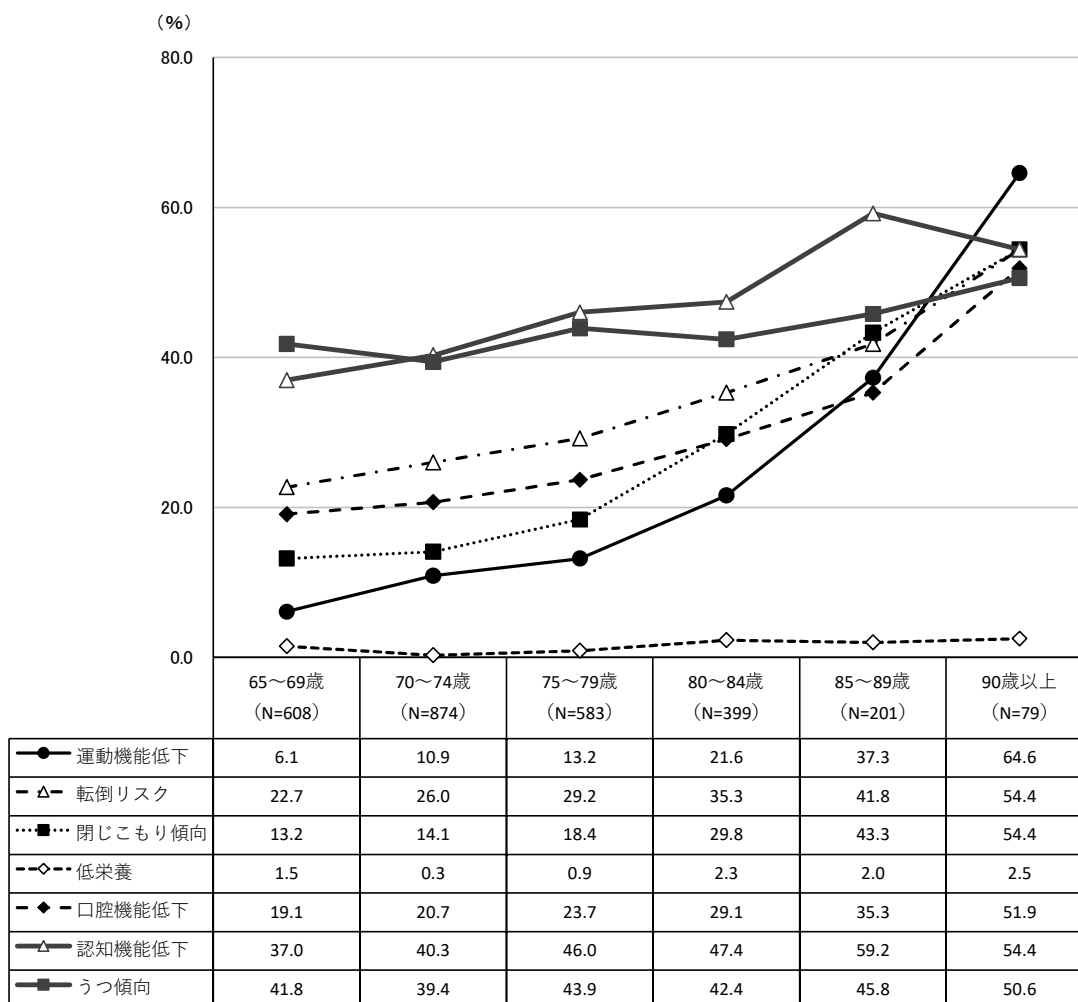
■認定なしの該当者割合



②年齢別

生活機能の評価項目ごとの該当者（リスク者）の割合を年齢別にみると、「運動機能低下」「閉じこもり傾向」「認知機能低下」は85歳以上を境に急増しています。また、「認知機能低下」「うつ傾向」については前期高齢者（「65～69歳」「70～74歳」）の時点で4割前後が該当しています。

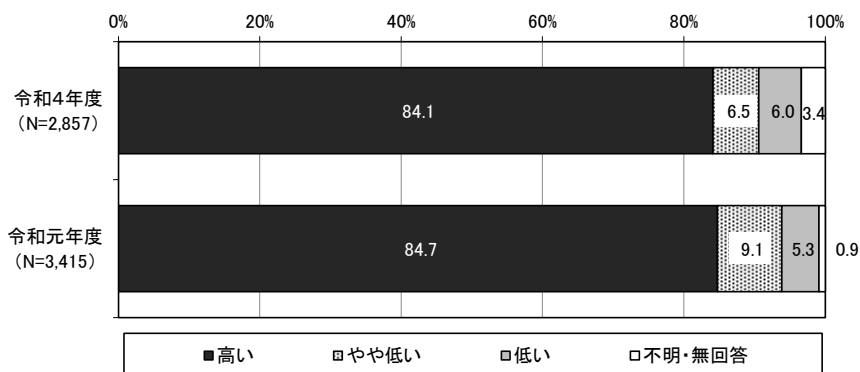
■年齢別の該当者割合



2. 老研式活動能力指標

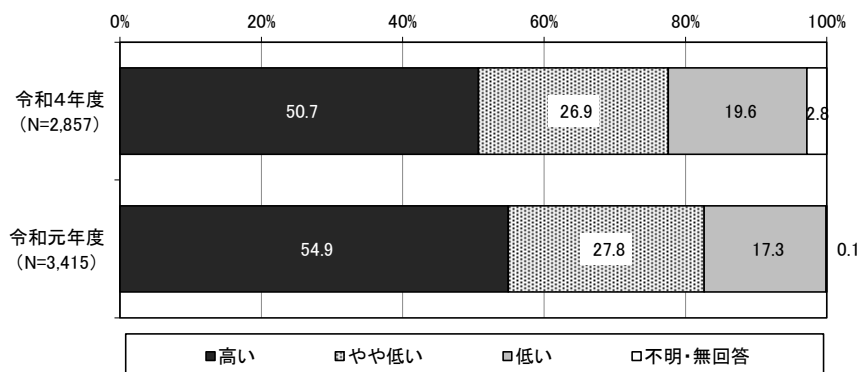
(1) 手段的自立度(IADL)

手段的自立度（IADL）については自立度が「高い」が84.1%となっており、前回調査と同様の傾向となっています。



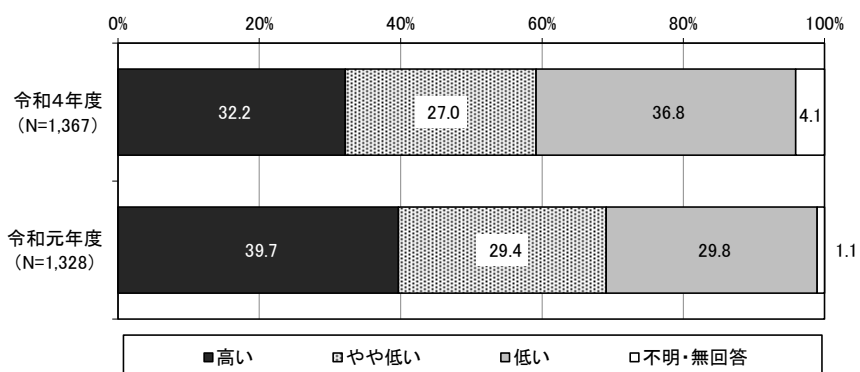
(2) 知的能動性

知的能動性については自立度が「高い」が50.7%となっており、前回調査よりも4.2ポイント低下しています。



(3) 社会的役割

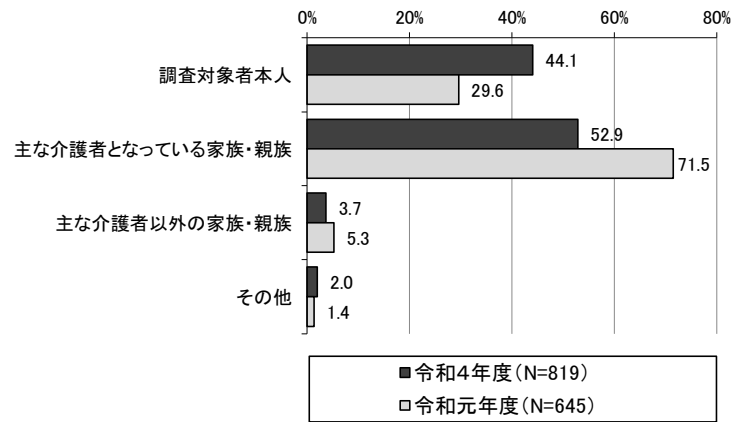
社会的役割については自立度が「高い」が32.2%となっており、前回調査よりも7.5ポイント低下しています。



II 在宅介護実態調査

● 調査票の記入者

【SA】

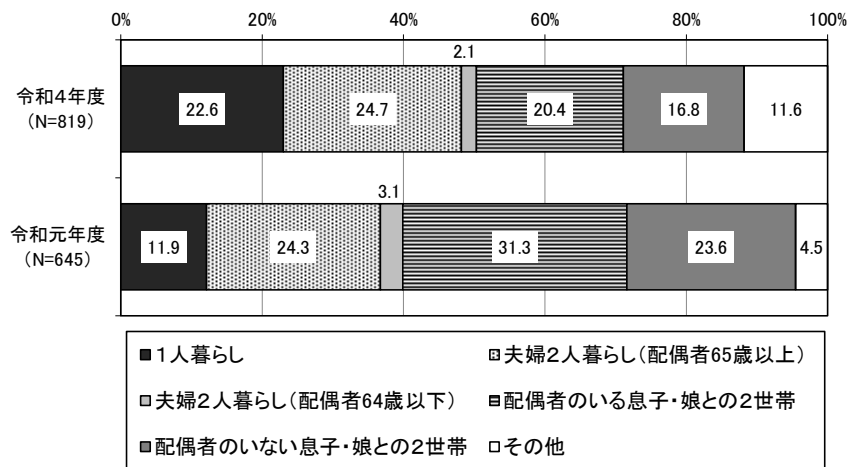


1. 回答者の属性について

(1) 家族構成

【SA】

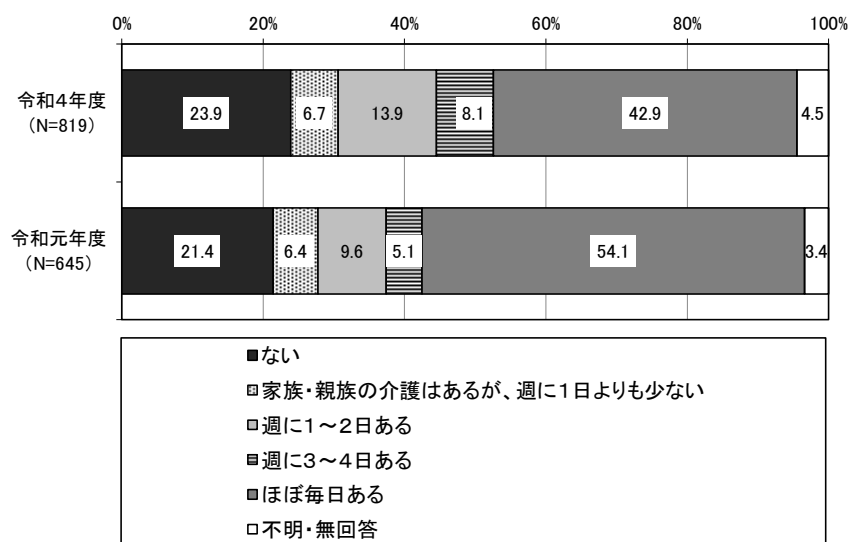
家族構成については「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が24.7%と最も高く、次いで「1人暮らし」が22.6%となっています。



(2) ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるか

【SA】

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいあるかについては「ほぼ毎日ある」が42.9%と最も高く、次いで「ない」が23.9%、「週に1～2日ある」が13.9%となっています。

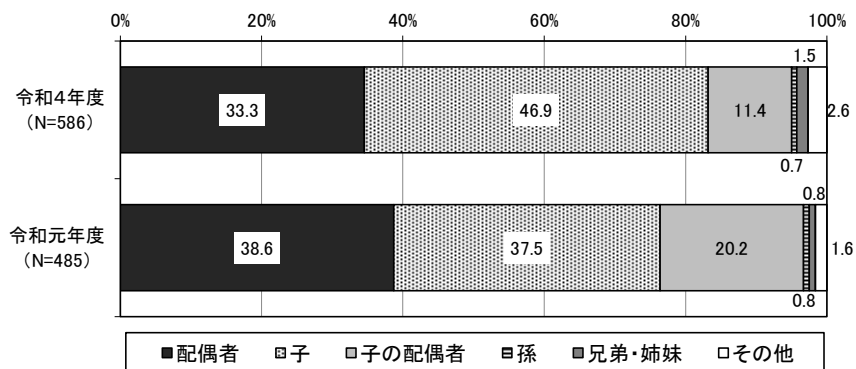


2. 介護者の属性について

(3) 主な介護者はどなたか

【SA】

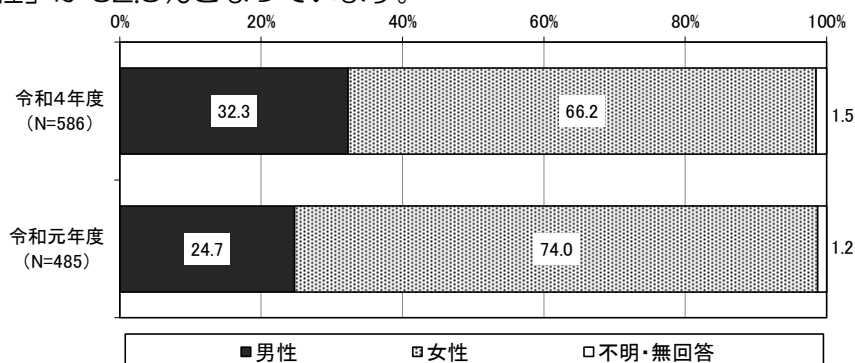
前問(2)で『介護がある』と答えた方に主な介護者はどなたかについて尋ねたところ、「子」が46.9%と最も高く、次いで「配偶者」が33.3%、「子の配偶者」が11.4%となっています。



(4) 主な介護者の性別

【SA】

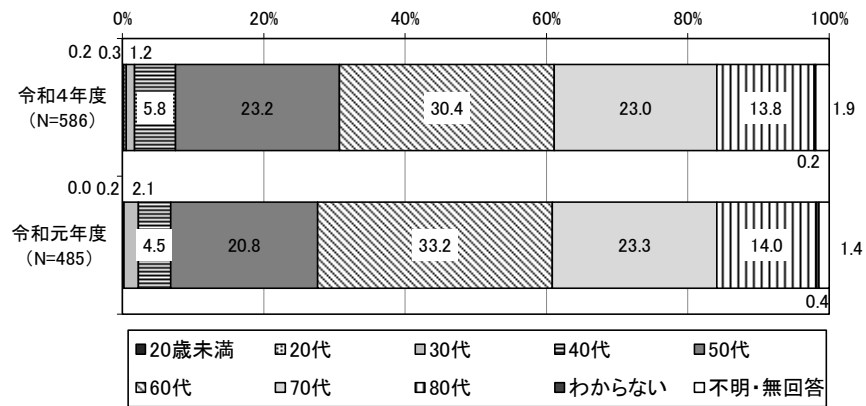
前問(2)で『介護がある』と答えた方に主な介護者の性別について尋ねたところ、「女性」が66.2%、「男性」が32.3%となっています。



(5) 主な介護者の年齢

【SA】

前問（2）で『介護がある』と答えた方に主な介護者の年齢について尋ねたところ、「60代」が30.4%と最も高く、次いで「50代」が23.2%、「70代」が23.0%となっています。

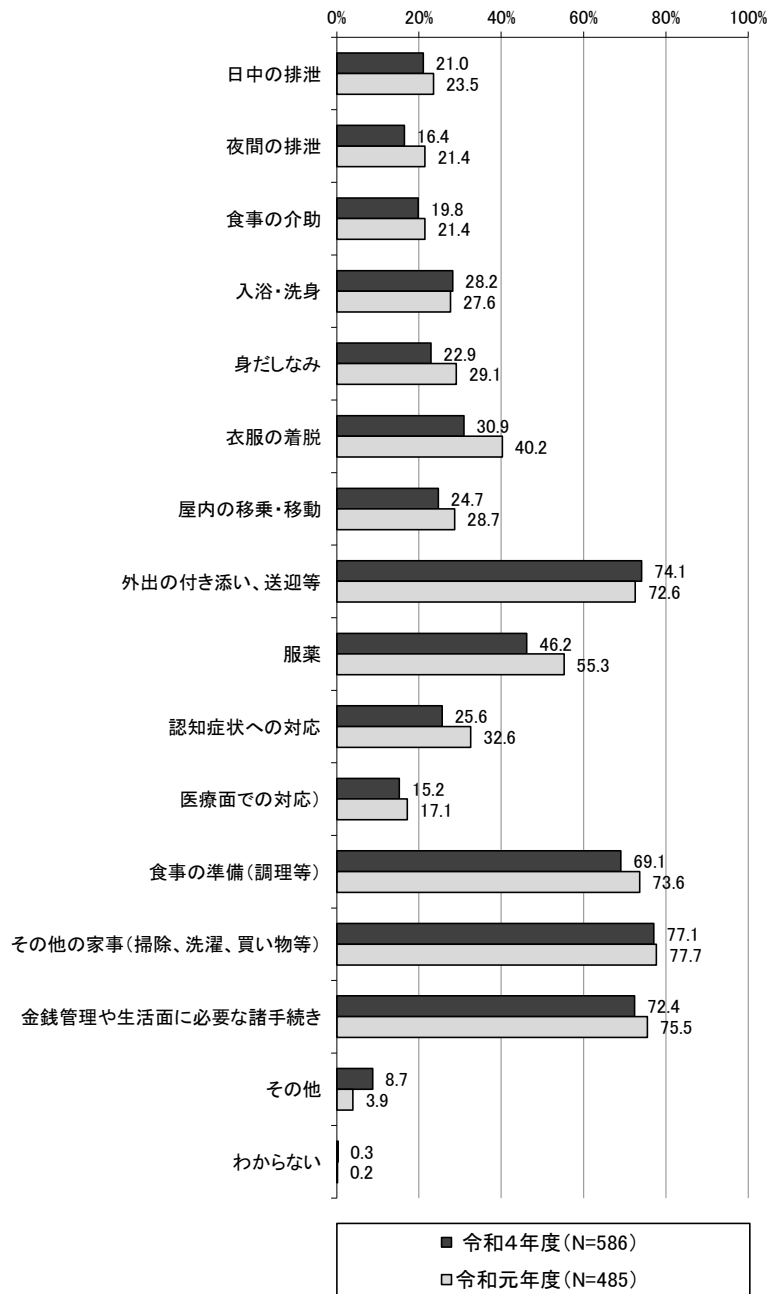


3. 在宅介護の実態について

(6) 現在、主な介護者が行っている介護

【MA】

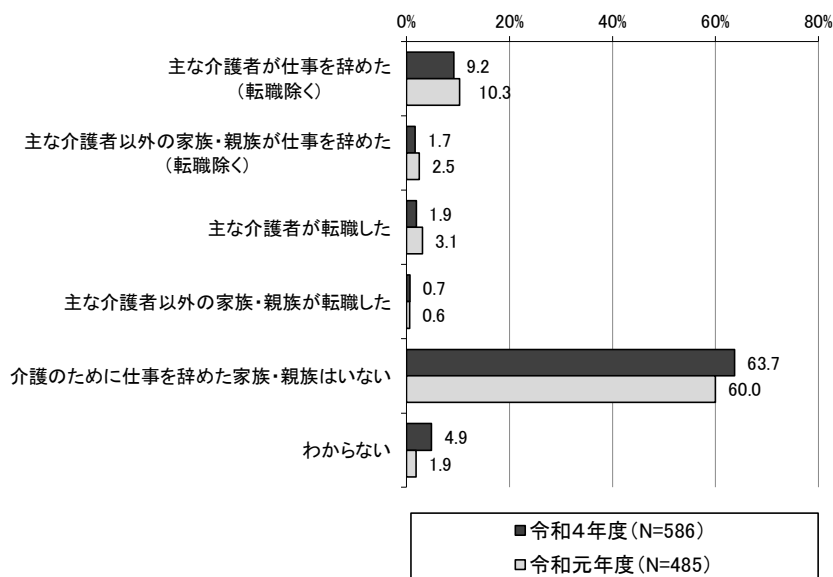
現在、主な介護者が行っている介護については「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が77.1%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が74.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が72.4%となっています。



(7) 介護のために過去1年の間に仕事を辞めた方はいるか

【MA】

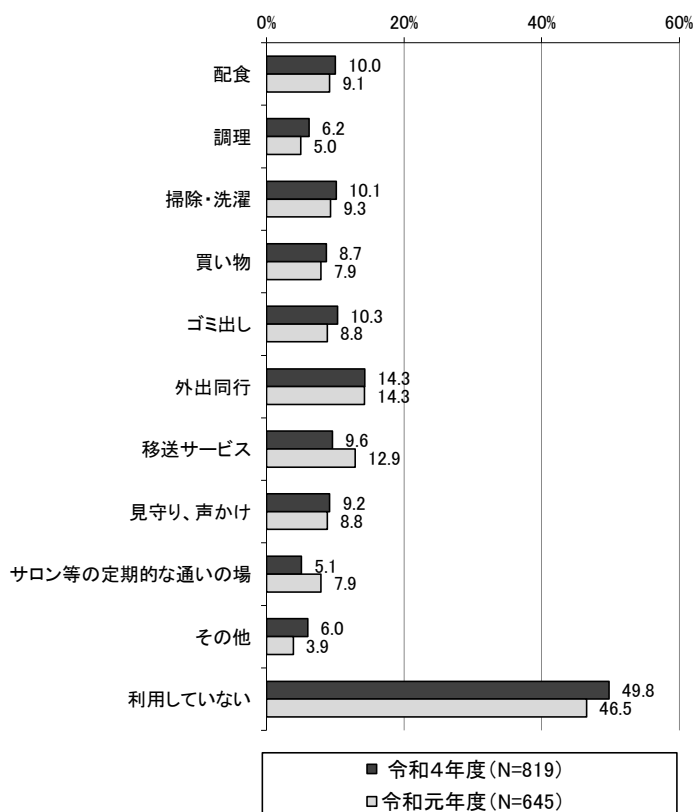
ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいるかについては「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が63.7%と最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が9.2%となっています。



(8) 現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービス

【MA】

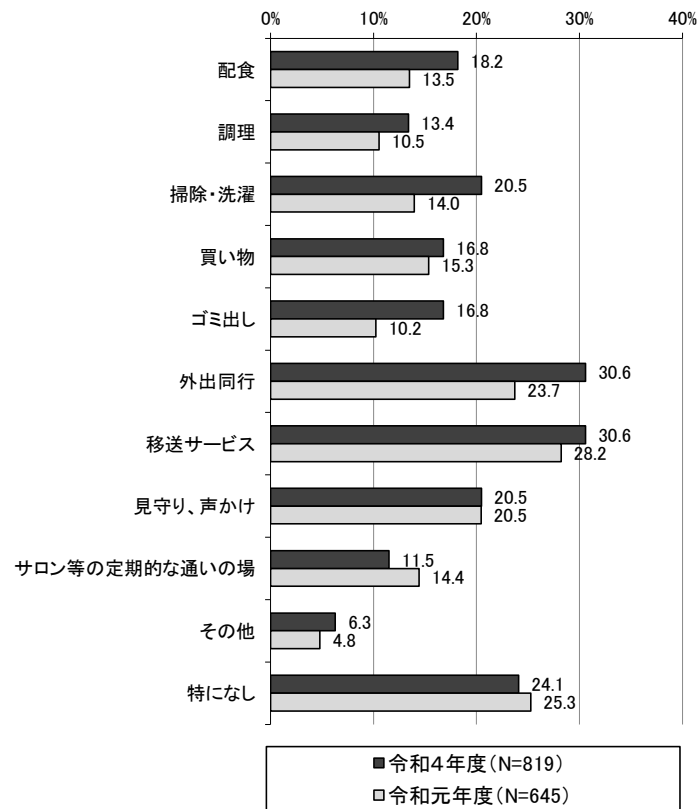
現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについては「利用していない」が49.8%と最も高く、次いで「外出同行」が14.3%、「ゴミ出し」が10.3%となっています。



(9) 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

【MA】

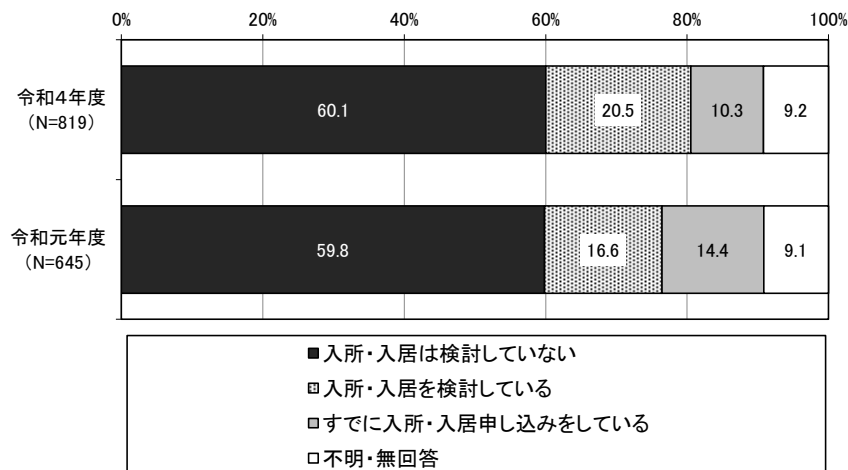
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては「外出同行」「移送サービス」が30.6%と最も高く、次いで「特になし」が24.1%、「掃除・洗濯」「見守り、声かけ」が20.5%となっています。



(10) 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況

【SA】

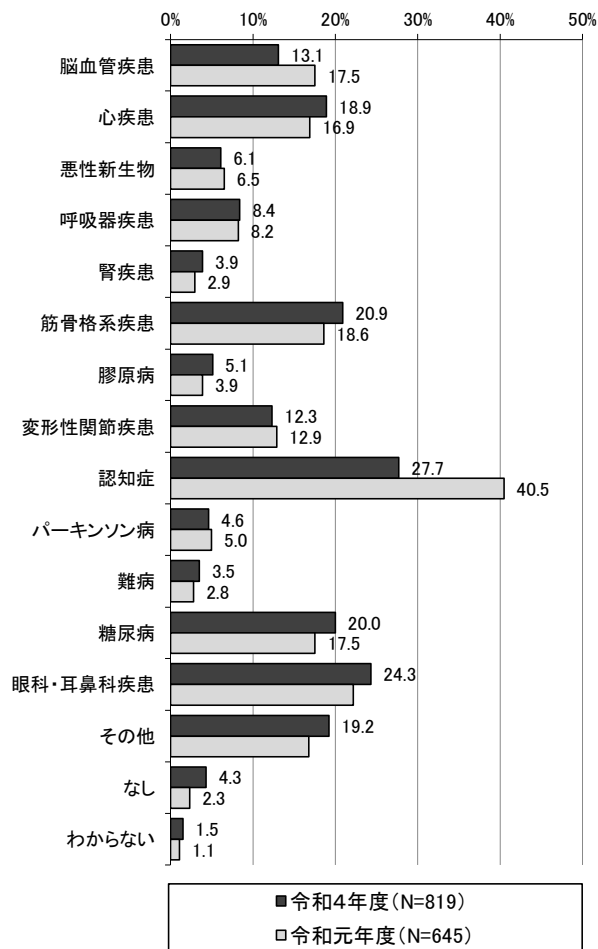
現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については「入所・入居は検討していない」が60.1%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が20.5%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が10.3%となっています。



(11) ご本人(調査対象者)が、現在抱えている傷病

【MA】

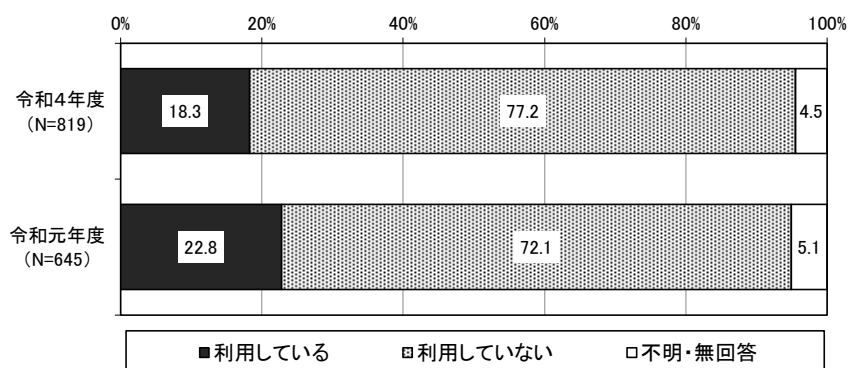
ご本人(調査対象者)が現在抱えている傷病については「認知症」が27.7%と最も高く、次いで「眼科・耳鼻科疾患」が24.3%、「筋骨格系疾患」が20.9%となっています。



(12) ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用しているか

【SA】

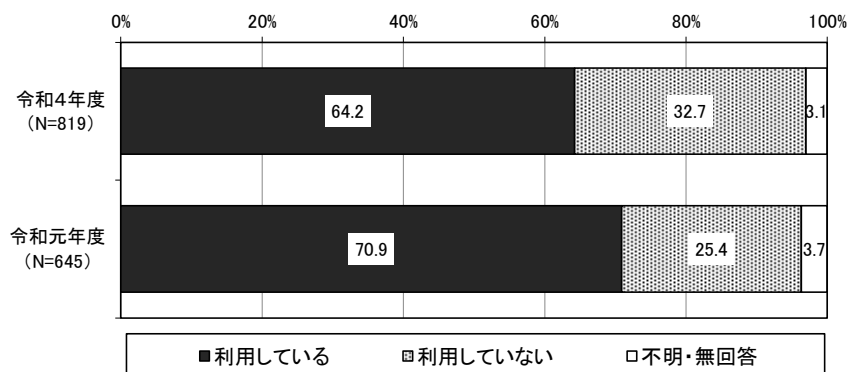
ご本人(調査対象者)は、現在、訪問診療を利用しているかについては「利用している」が18.3%、「利用していない」が77.2%となっています。



(13) 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護サービスを利用しているか

【SA】

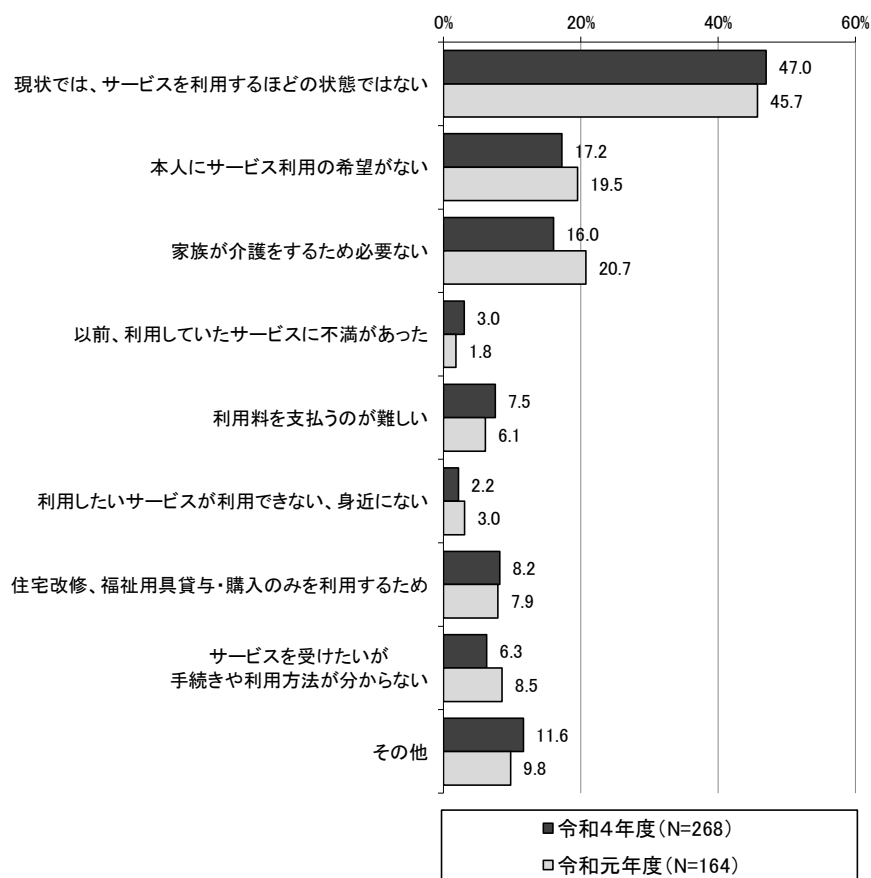
現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護サービスを利用しているかについては「利用している」が64.2%、「利用していない」が32.7%となっています。



(14) 介護サービスを利用していない理由

【MA】

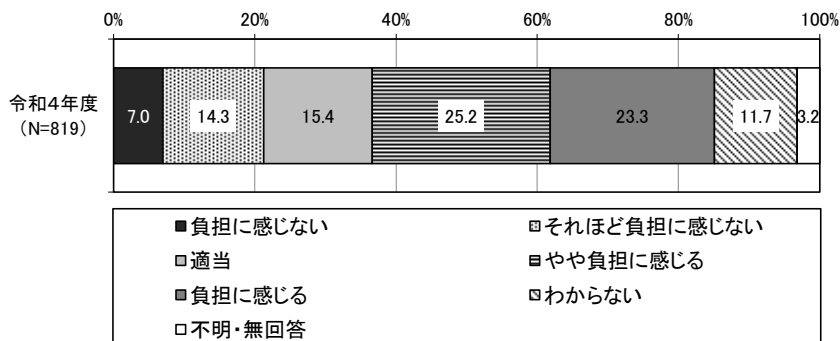
介護サービスを利用していない理由については「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が47.0%と最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が17.2%、「家族が介護をするため必要ない」が16.0%となっています。



(15) 支払っている介護保険料について、どのように感じているか

【SA】

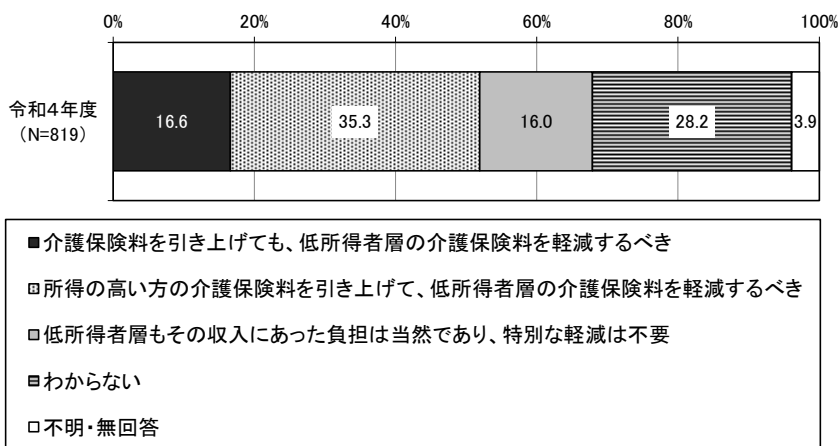
支払っている介護保険料について、どのように感じているかについては「やや負担を感じる」が25.2%、「負担を感じる」が23.3%となっており、合わせた『負担がある』は48.5%となっています。



(16) 介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のどれか

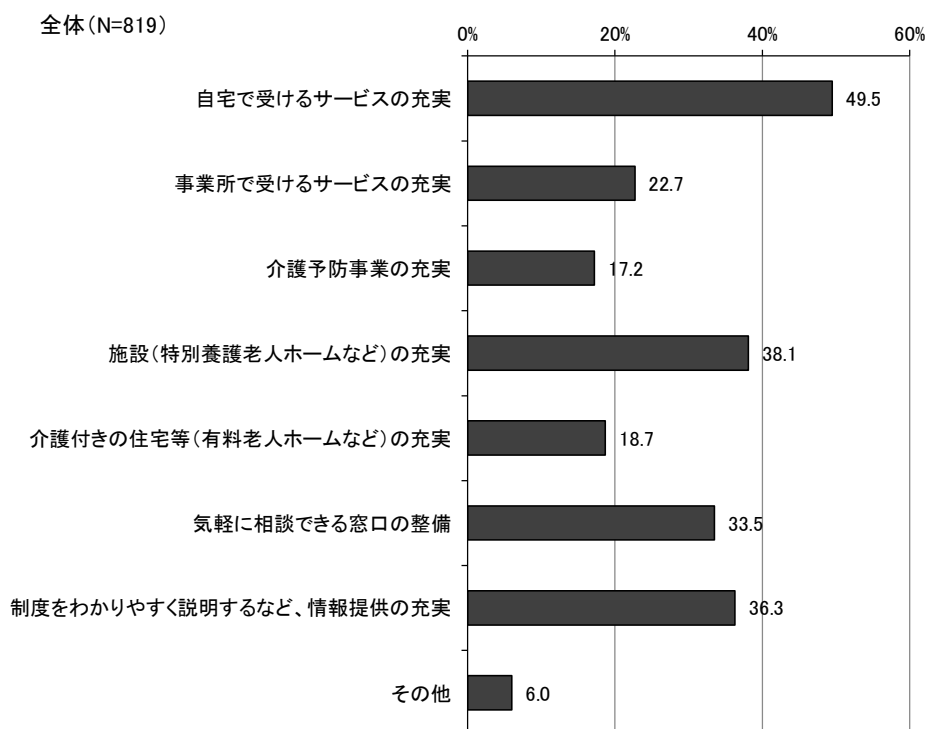
【SA】

介護保険料について、あなたの考えに最も近いものは次のどれかについては「所得の高い方の介護保険料を引き上げて、低所得者層の介護保険料を軽減するべき」が35.3%と最も高く、次いで「わからない」が28.2%、「介護保険料を引き上げても、低所得者層の介護保険料を軽減するべき」が16.6%となっています。



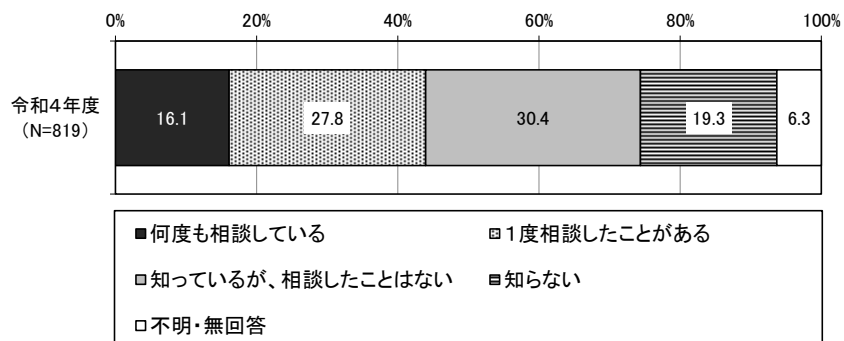
(17) 介護保険制度について、今後どのようなことを充実させることが必要だと思うか 【MA】

湖南省の介護保険制度について、今後どのようなことを充実させることが必要だと思うかについて「自宅で受けるサービスの充実」が49.5%と最も高く、次いで「施設（特別養護老人ホームなど）の充実」が38.1%、「制度をわかりやすく説明するなど、情報提供の充実」が36.3%となっています。



(18) 地域包括支援センターに相談したことがあるか※今回(令和4年度)調査からの設問 【SA】

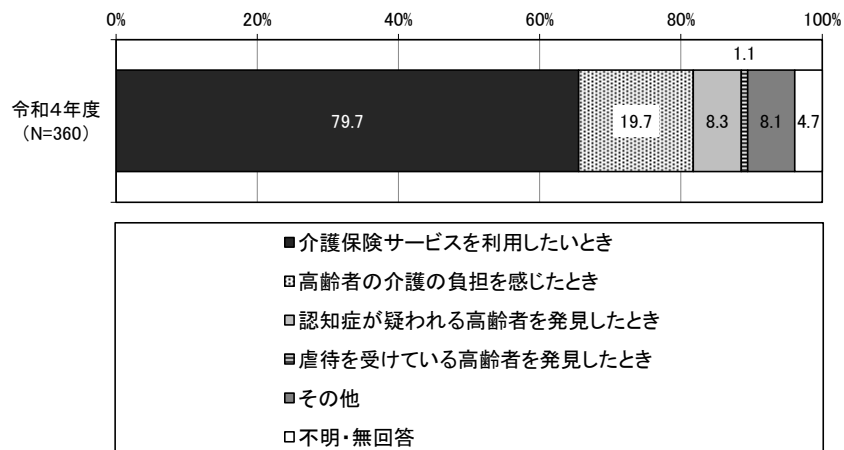
あなたは地域包括支援センターに相談したことがあるかについて「知っているが、相談したことはない」は30.4%と最も高く、次いで「1度相談したことがある」が27.8%、「知らない」では19.3%となっています。



(19) どのようなときに相談したか※今回(令和4年度)調査からの設問

【MA】

前問(18)で「何度も相談している」「1度相談したことがある」と答えた方に、どのようなときに相談したかを尋ねたところ、「介護保険のサービスを利用したいとき」が79.7%と最も高く、次いで「高齢者の介護の負担を感じたとき」が19.7%となっています。

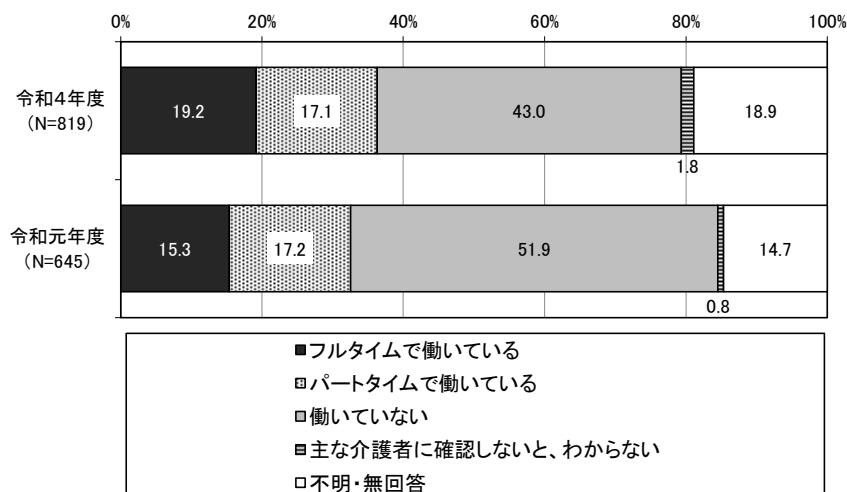


4. 介護者の実態について

(20) 主な介護者の現在の勤務形態

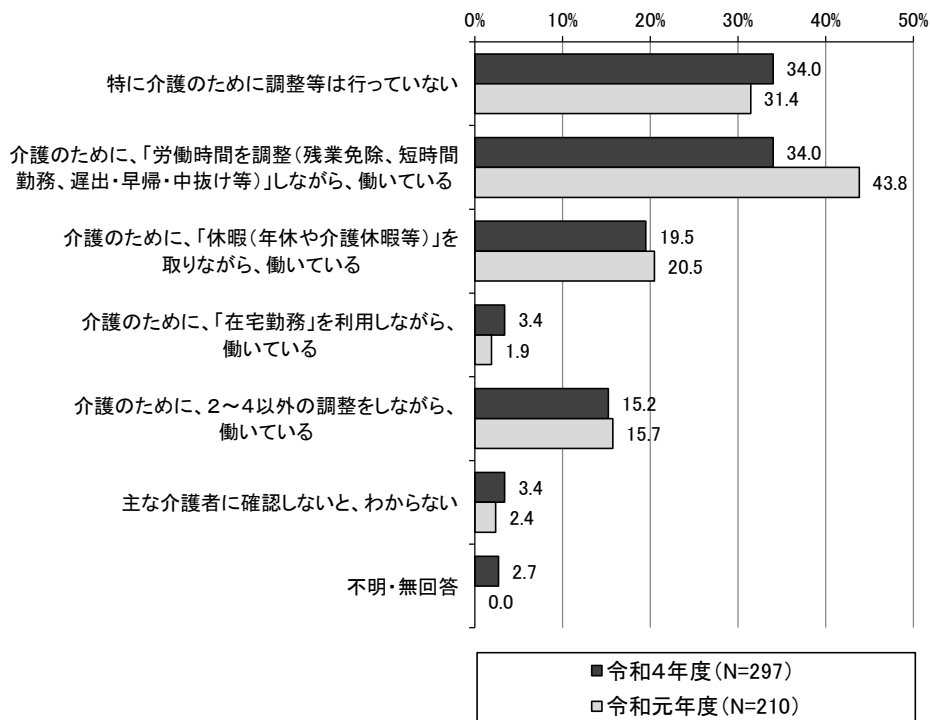
【SA】

主な介護者の現在の勤務形態については「働いていない」が43.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が19.2%、「パートタイムで働いている」が17.1%となっています。



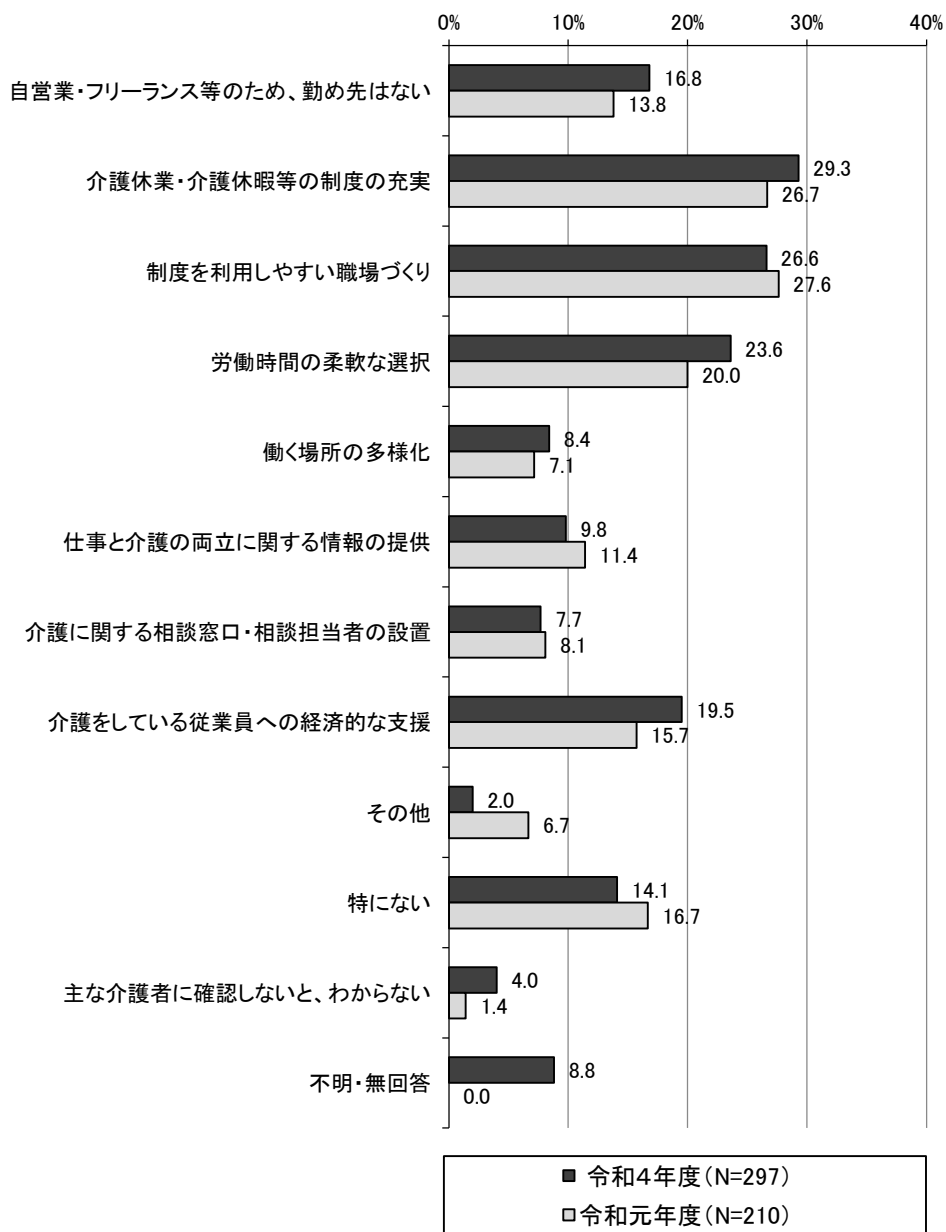
(21) 主な介護者は介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしているか 【MA】

主な介護者は介護するにあたって、何か働き方についての調整等をしているかについては「特に
行っていない」「介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）
しながら、働いている」が34.0%と最も高く、次いで「介護のために、休暇（有休や介護休暇等）
を取りながら、働いている」が19.5%となっています。



(22) 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか 【MA】

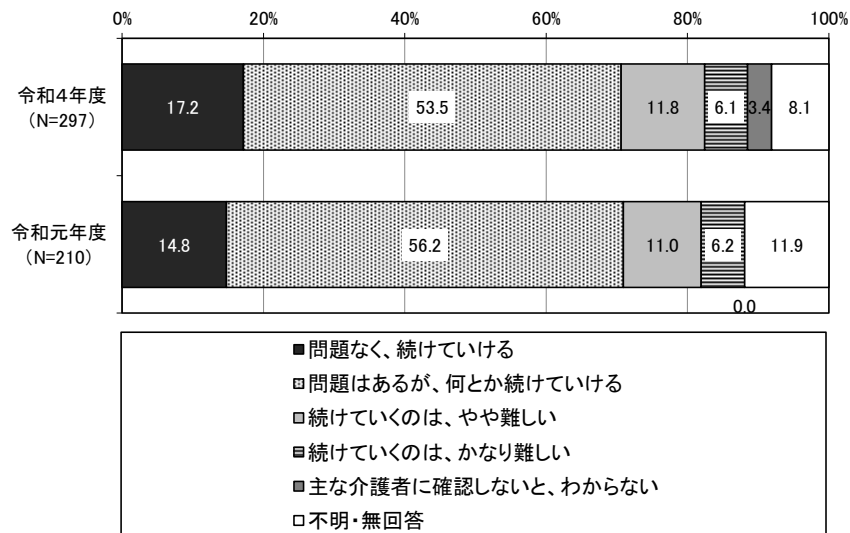
勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかについては「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が29.3%と最も高く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が26.6%、「労働時間の柔軟な選択」が23.6%となっています。



(23) 今後も働きながら介護を続けていけそうか

【SA】

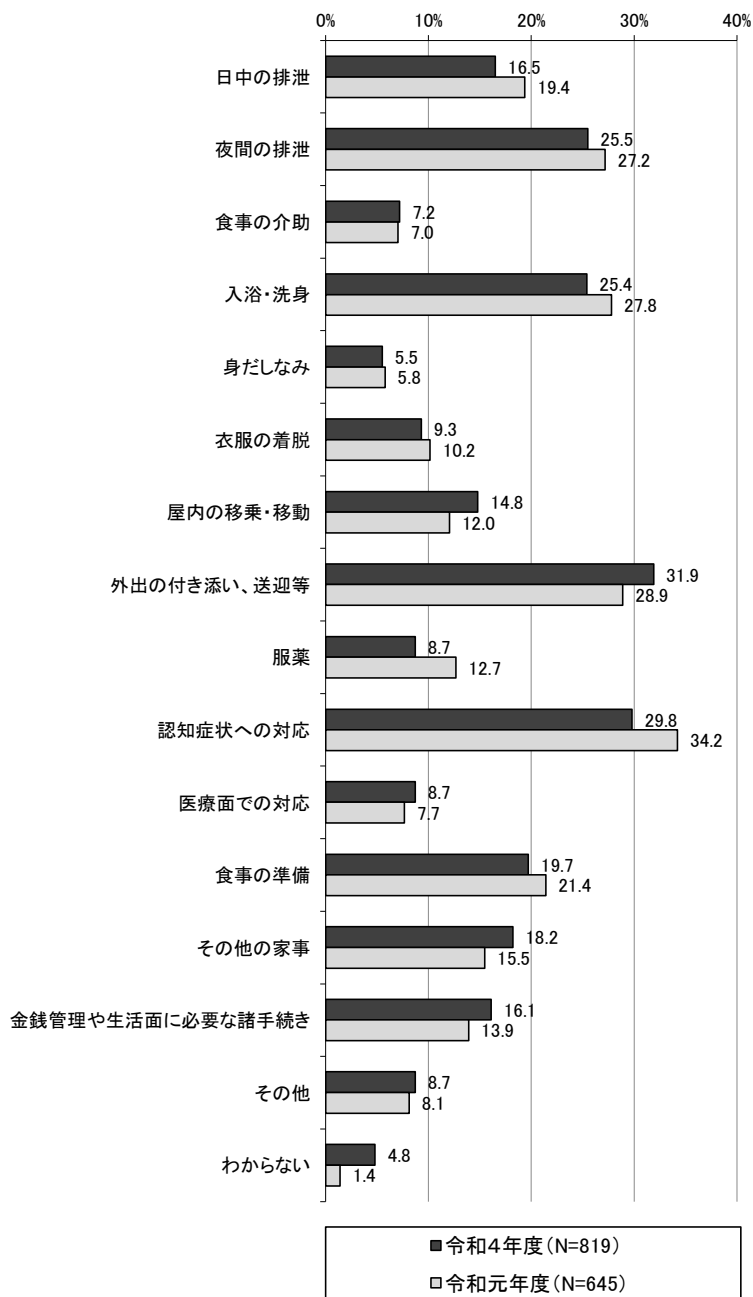
今後も働きながら介護を続けていけそうかについては「問題はあるが、何とか続けていける」が53.5%と最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.2%、「続けていくのは、やや難しい」が11.8%となっています。



Q54. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等

【MA】

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安を感じる介護等については「外出の付き添い、送迎等」が31.9%と最も高く、次いで「認知症状への対応」が29.8%、「夜間の排泄」が25.5%となっています。



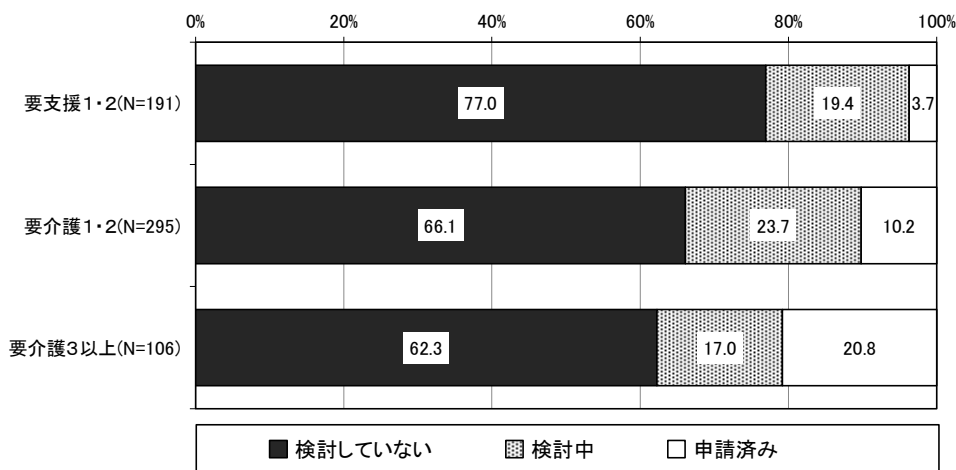
5. 要介護認定データとのクロス集計・分析について

(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

施設等への入所・入居の検討状況

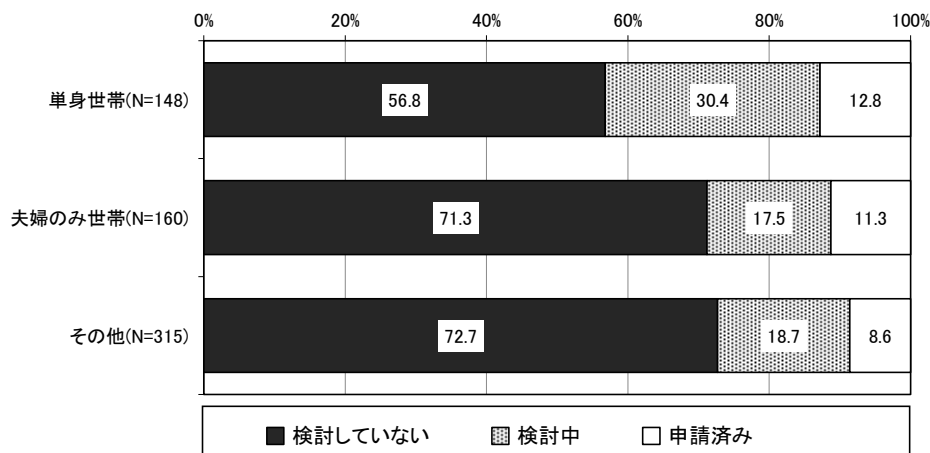
■入所・入居の検討状況×要介護度クロス

施設等への入所・入居の検討状況を要介護度別にみると、要介護度が重度化するほど、「検討中」「申請済み」の割合が高く、その合計は要介護3以上で37.8%となっています。



■入所・入居の検討状況×世帯類型クロス

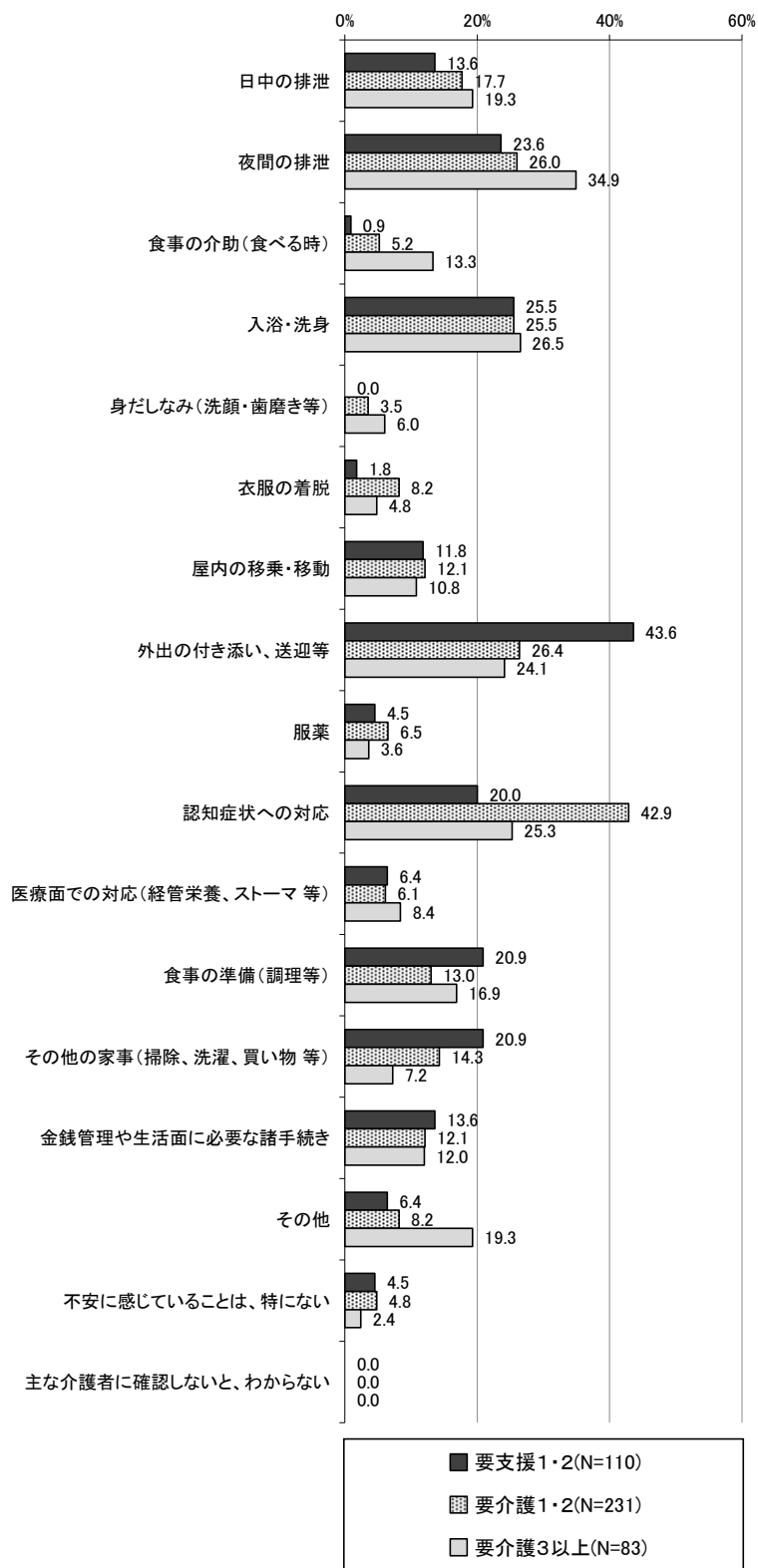
世帯類型別にみると、「検討中」「申請済み」の合計は、単身世帯で43.2%、夫婦のみ世帯で28.8%となっています。



主な介護者が不安に感じる介護等

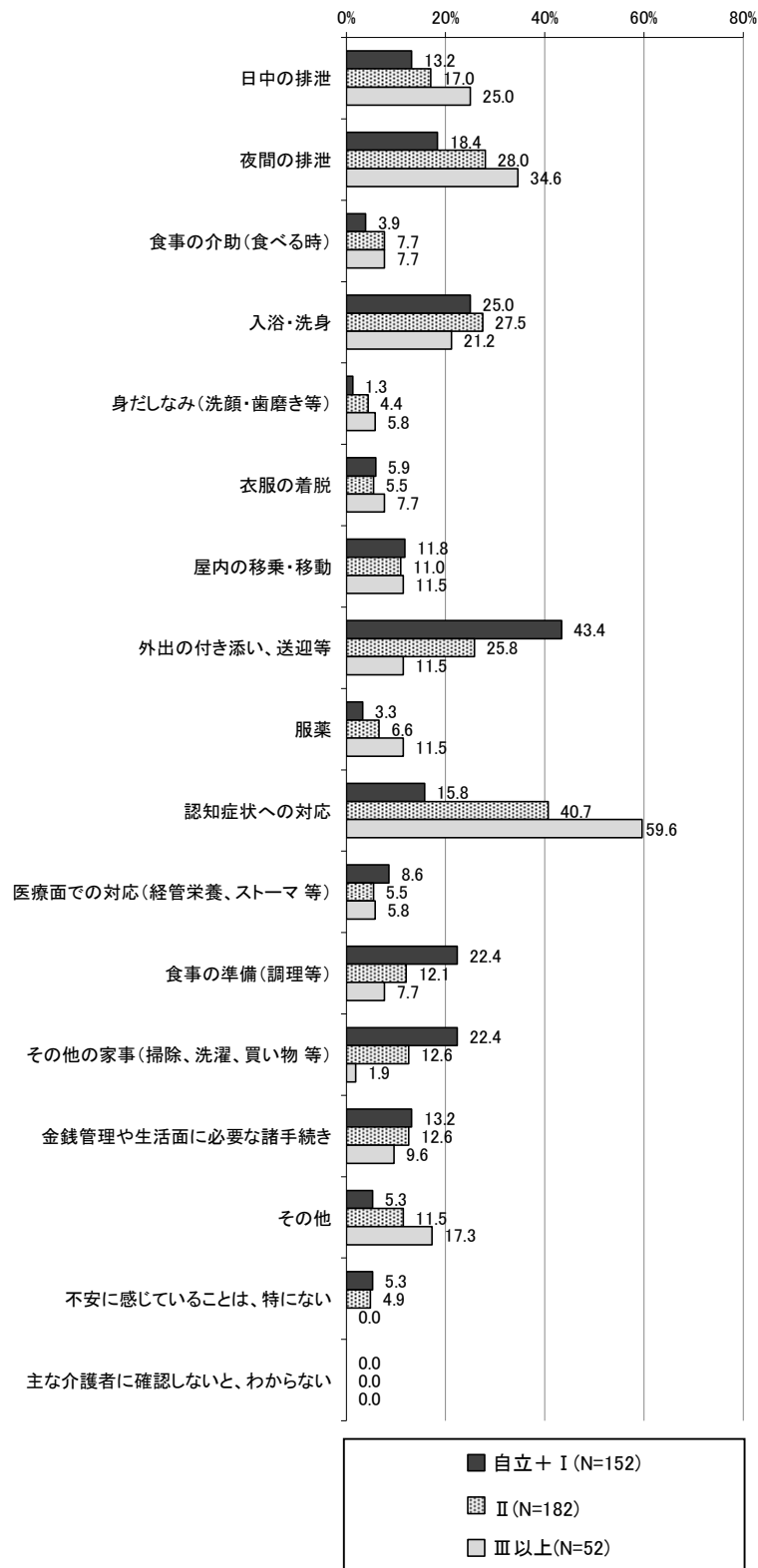
■介護者が不安に感じる介護×要介護度クロス

主な介護者が不安に感じる介護等を要介護度別にみると、要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」が、要介護1・2では「認知症状への対応」が、要介護3以上では「夜間の排泄」がそれぞれ最も高くなっています。



■介護者が不安に感じる介護×認知症自立度クロス

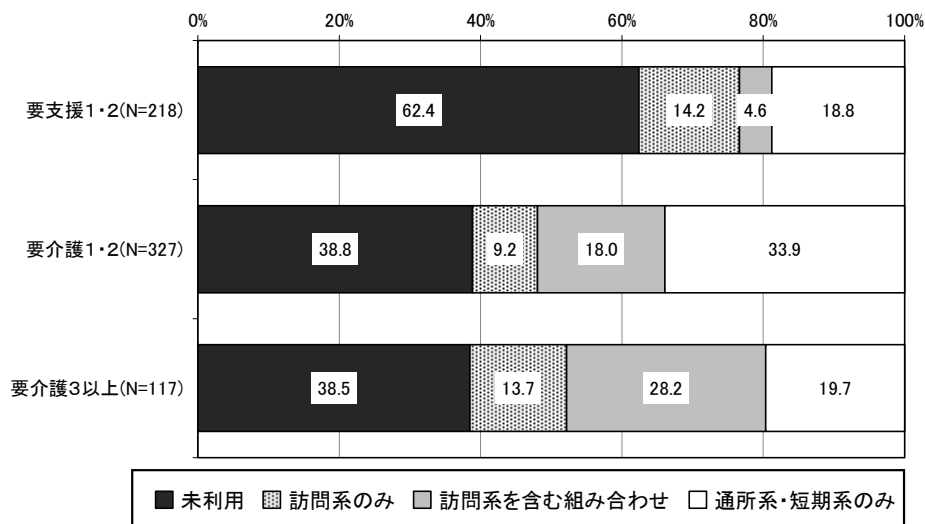
認知症自立度別にみると、Ⅱ・Ⅲ以上では「認知症状への対応」が、自立+Ⅰでは「外出の付き添い、送迎等」がそれぞれ最も高くなっています。



サービスの組み合わせ

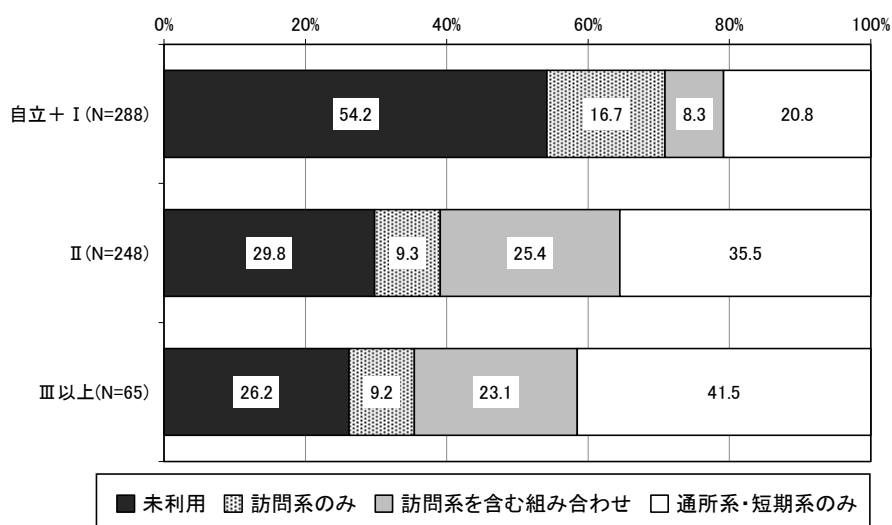
■介護サービスの組み合わせ×要介護度クロス

要介護度別にサービスの組み合わせをみると、要介護1・2では「通所系・短期系のみ」が高く、要介護3以上では「訪問系を含む組み合わせ」が高くなっています。



■介護サービスの組み合わせ×認知症自立度クロス

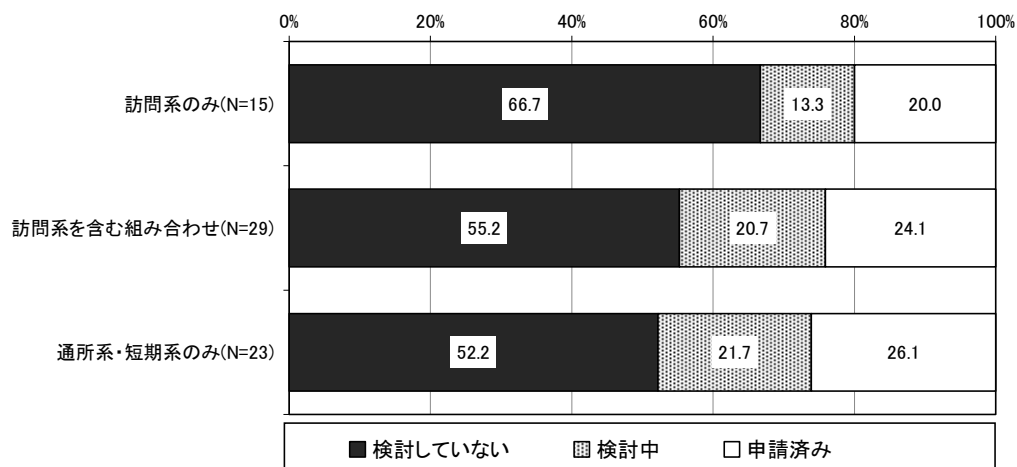
認知症自立度別にサービスの組み合わせをみると、Ⅱ・Ⅲ以上では「通所系・短期系のみ」が高くなっています。



サービスの組み合わせ、施設等への入所・入居の検討状況(要介護3以上)

■入所・入居の検討状況×サービスの組み合わせクロス

要介護3以上の施設等への入所・入居の検討状況をサービスの組み合わせ別にみると、「検討していない」の割合は「訪問系のみ」が最も高くなっています。

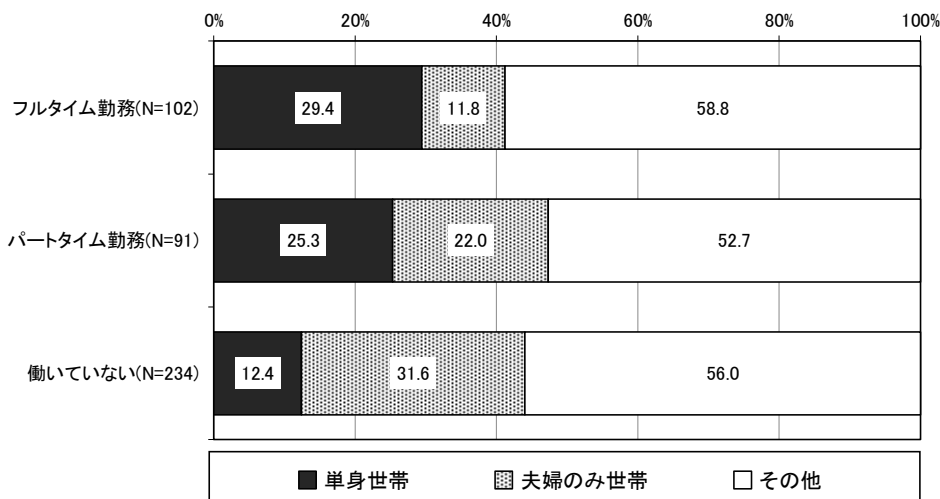


(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

介護者の就労形態別 基本属性

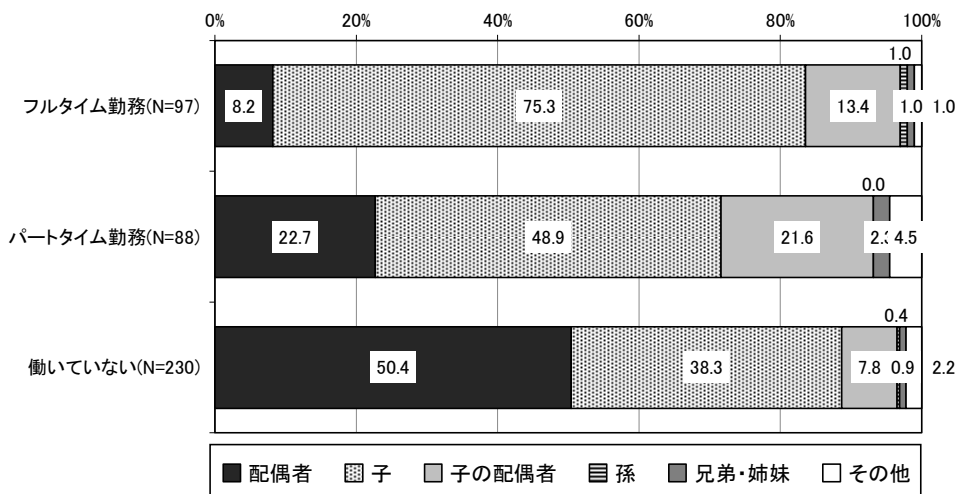
■世帯類型×介護者の就労形態クロス

主な介護者の就労形態別に要介護者の世帯類型をみると、フルタイム勤務の方が「単身世帯」が高く、働いていないでは「夫婦のみ世帯」が高くなっています。



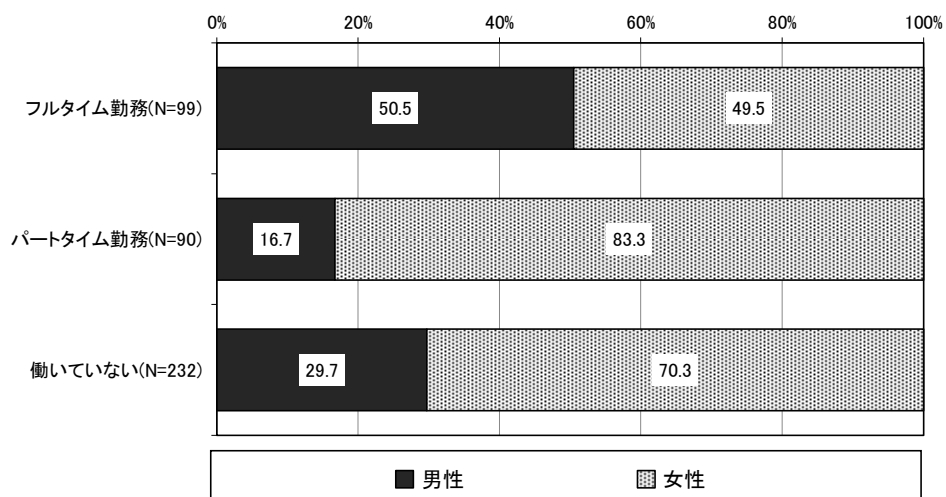
■主な介護者の属性×介護者の就労形態クロス

主な介護者を就労形態別にみると、働いていないでは「配偶者」が高く、フルタイム勤務では「子」が高くなっています。



■主な介護者の性別×介護者の就労形態クロス

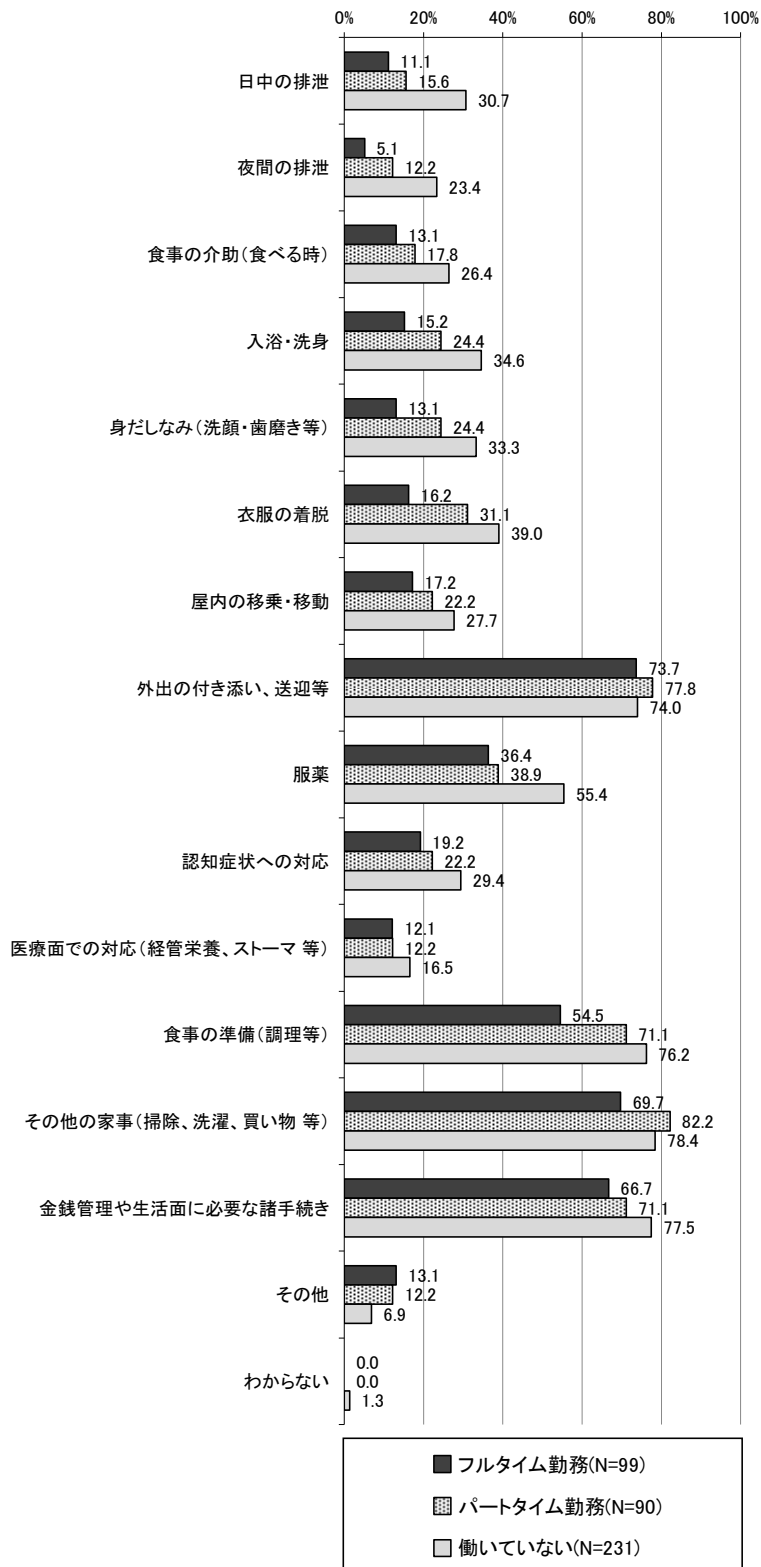
主な介護者を就労形態別にみると、フルタイム勤務では「男性」が高く、パートタイム勤務、働いていないでは「女性」が高くなっています。



介護者の就労状況別 介護の状況

■行っている介護×介護者の就労形態クロス

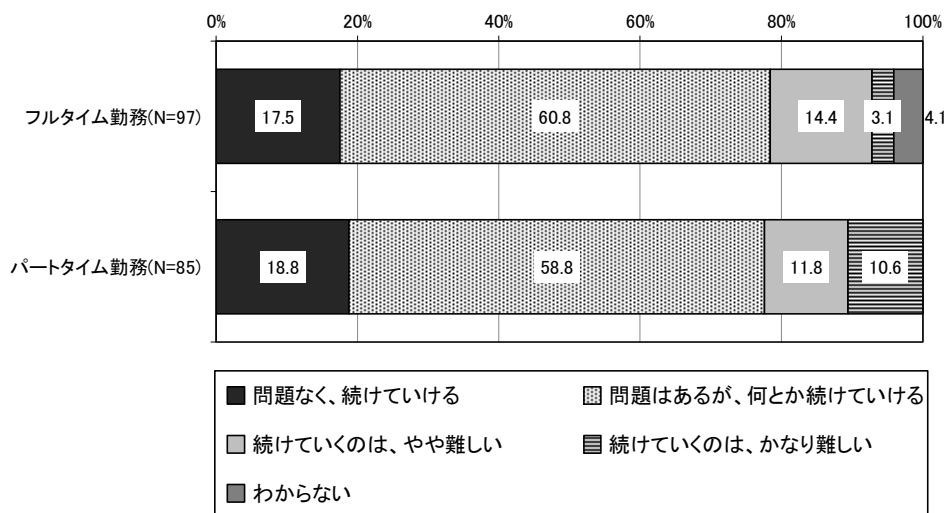
主な介護者の就労形態別に行っている介護をみると、概ね、働いていない、パートタイム、フルタイムの順に介護者の行っている介護は少なくなる傾向がみられます。



就労継続の見込

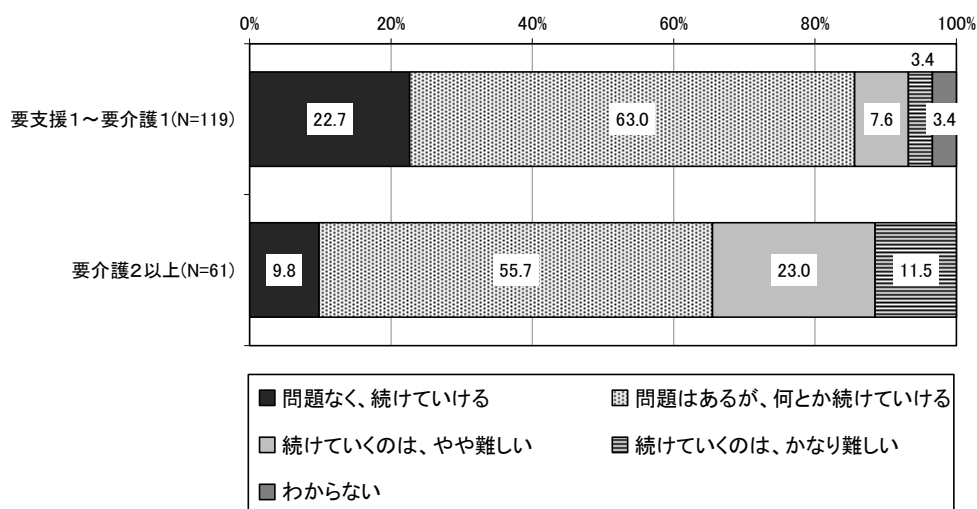
■就労継続の見込み×介護者の就労形態クロス

主な介護者の就労形態別に就労継続の見込をみると、フルタイムの方が「問題なく、続けていける」の割合が低くなっています。



■就労継続の見込み×要介護度クロス

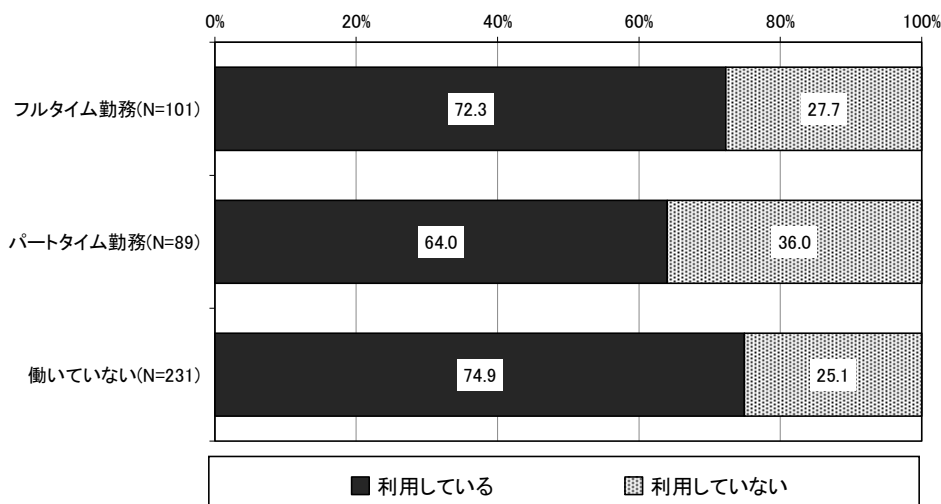
要介護度別に就労継続の見込をみると、要介護2以上では「続けていくのは、かなり難しい」が高くなっています。



介護保険サービスの利用状況

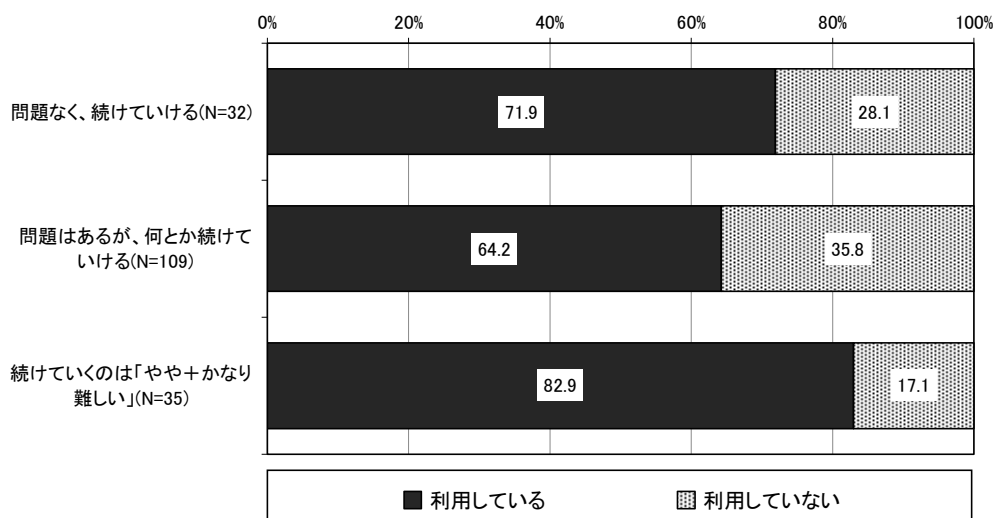
■介護保険サービスの利用状況×介護者の就労形態クロス

介護者の就労形態別に介護保険サービスの利用状況を見ると、就労形態に関わらず「利用している」が高くなっています。



■介護保険サービスの利用状況×就労継続見込みクロス

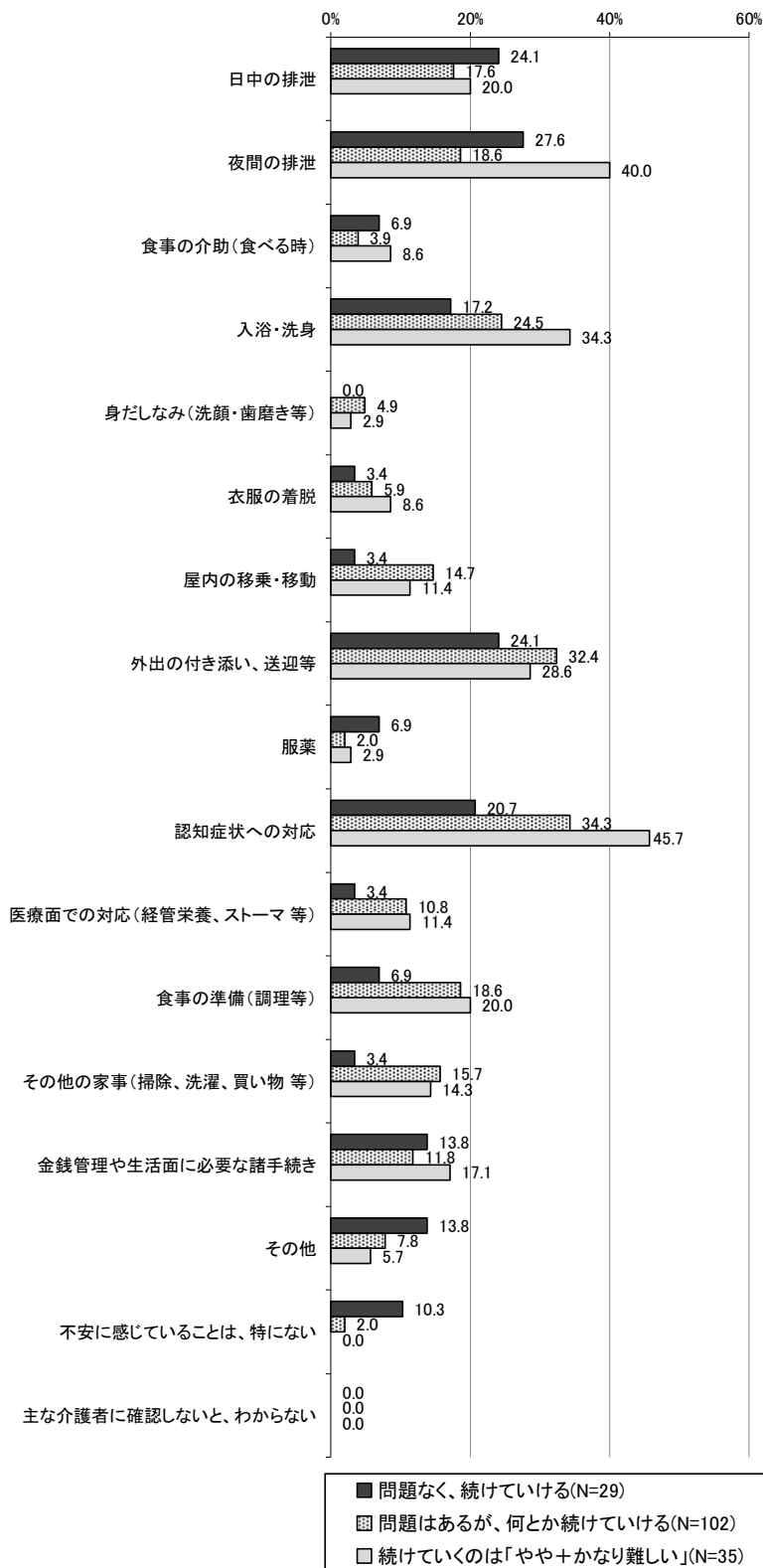
就労継続見込別に介護保険サービスの利用状況を見ると、問題はあるが、何とか続けていけるでは「利用している」の割合が低くなっています。



就労継続見込別 主な介護者が不安に感じる介護等

■不安に感じる介護×就労継続見込みクロス

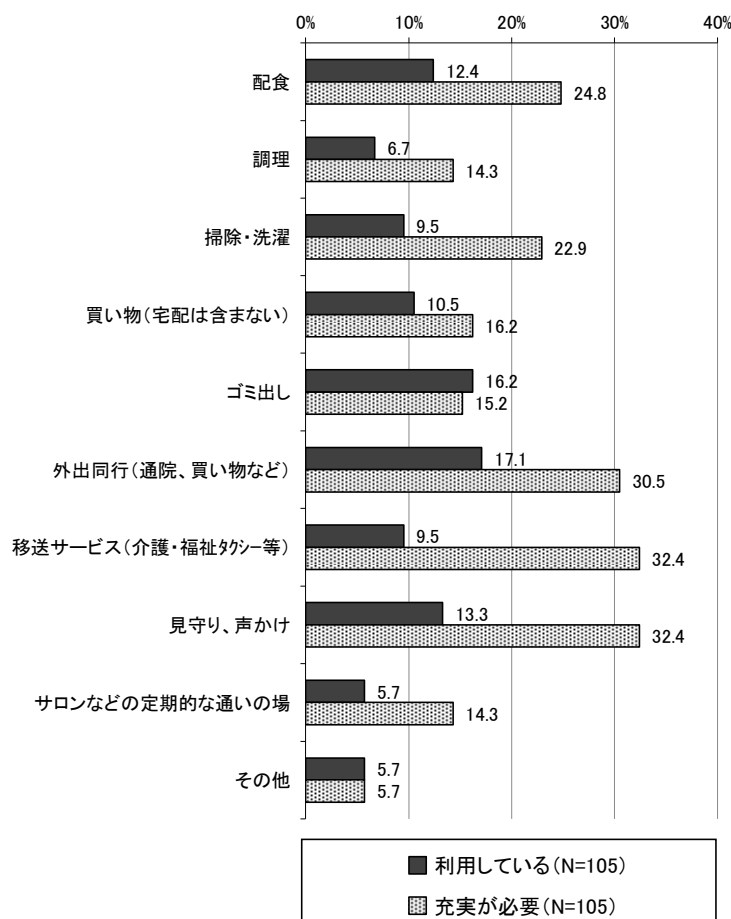
就労継続見込別に主な介護者が不安に感じる介護等をみると、続けていくのは「やや+かなり」難しいでは「認知症状への対応」や「夜間の排泄」が高くなっています。



保険外の支援・サービス

■保険外の支援・サービス×利用状況・充実が必要クロス

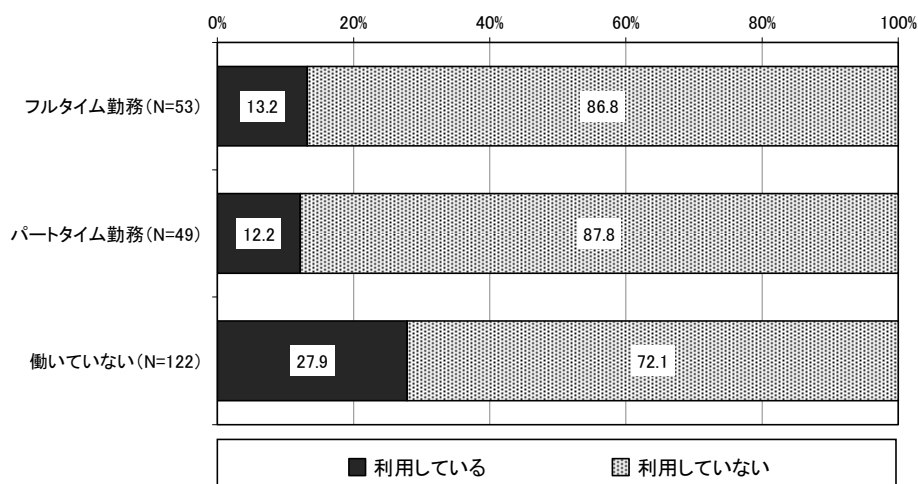
フルタイムで働いている介護者について、現在利用している保険外の支援・サービスと、在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの差をみると、ゴミ出しを除く生活支援サービスで充実が必要と感じている状況がうかがえます。



訪問診療の利用状況

■訪問診療の利用状況×介護者の就労形態クロス

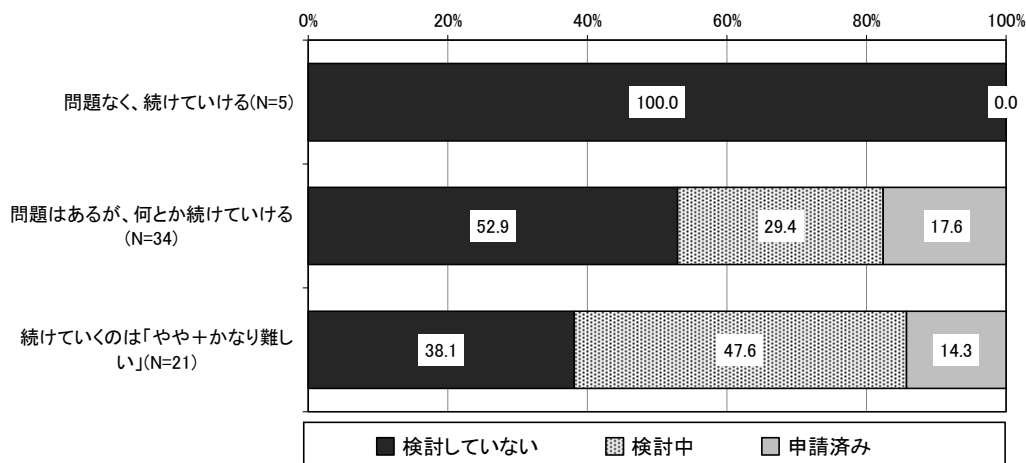
介護者の就労形態別に訪問診療の利用状況をみると、働いていないでは「利用している」が高くなっています。



就労継続見込別 施設への入所・入居の検討状況

■入所・入居の検討状況 × 就労継続見込みクロス

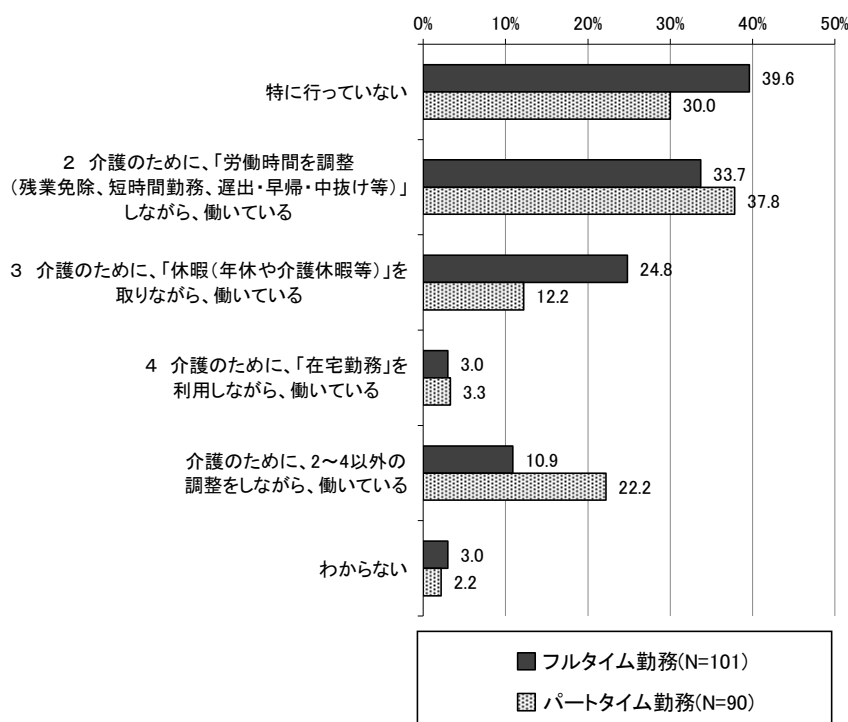
就労継続見込別に施設への入所・入居の検討状況をみると、続けていくのは「やや+かなり難しい」では、「検討中」が高くなっています。



働き方の調整状況

■働き方の調整状況 × 介護者の就労形態クロス

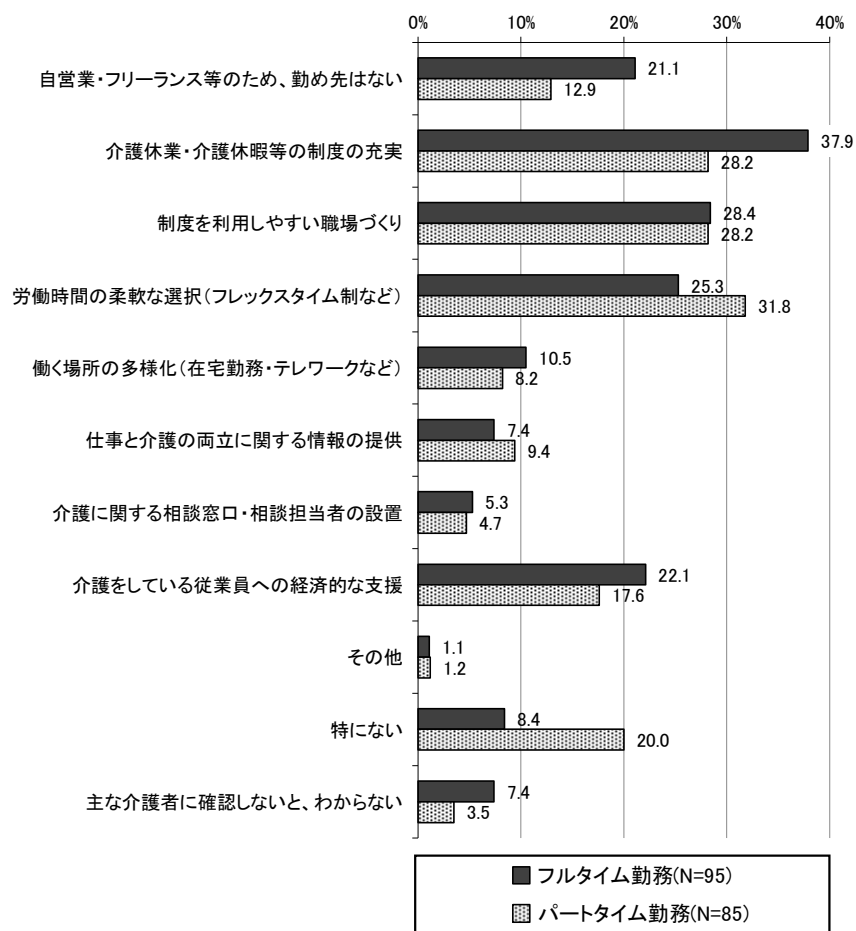
介護者の職場における働き方の調整状況をみると、「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）等）を取りながら、働いている」は、フルタイム勤務ではパートタイムよりも高くなっています。



効果的な勤め先からの支援

■効果的な勤め先からの支援×介護者の就労形態クロス

就労している介護者について効果的な勤め先からの支援をみると、フルタイムでは「介護休業・介護休暇等の制度の充実」や「制度を利用しやすい職場づくり」が高く、パートタイムでは「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が高くなっています。

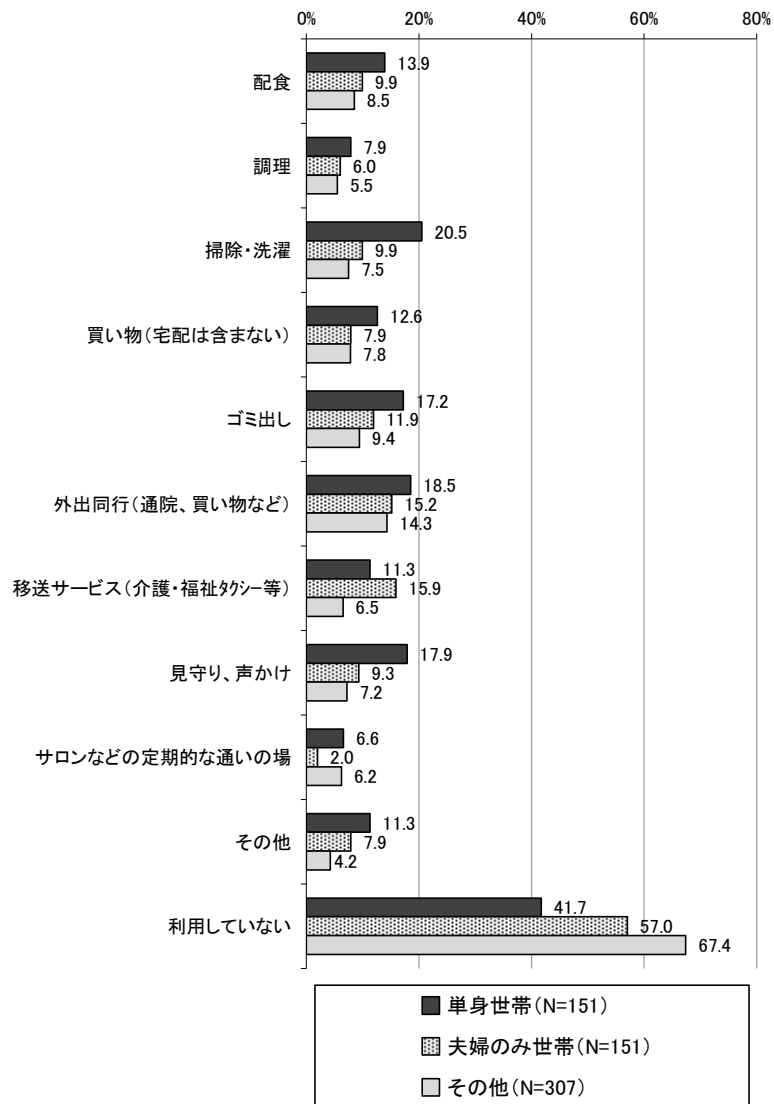


(3) 保険外のサービス・支援を中心とした地域資源の整備の検討

保険外の支援・サービス

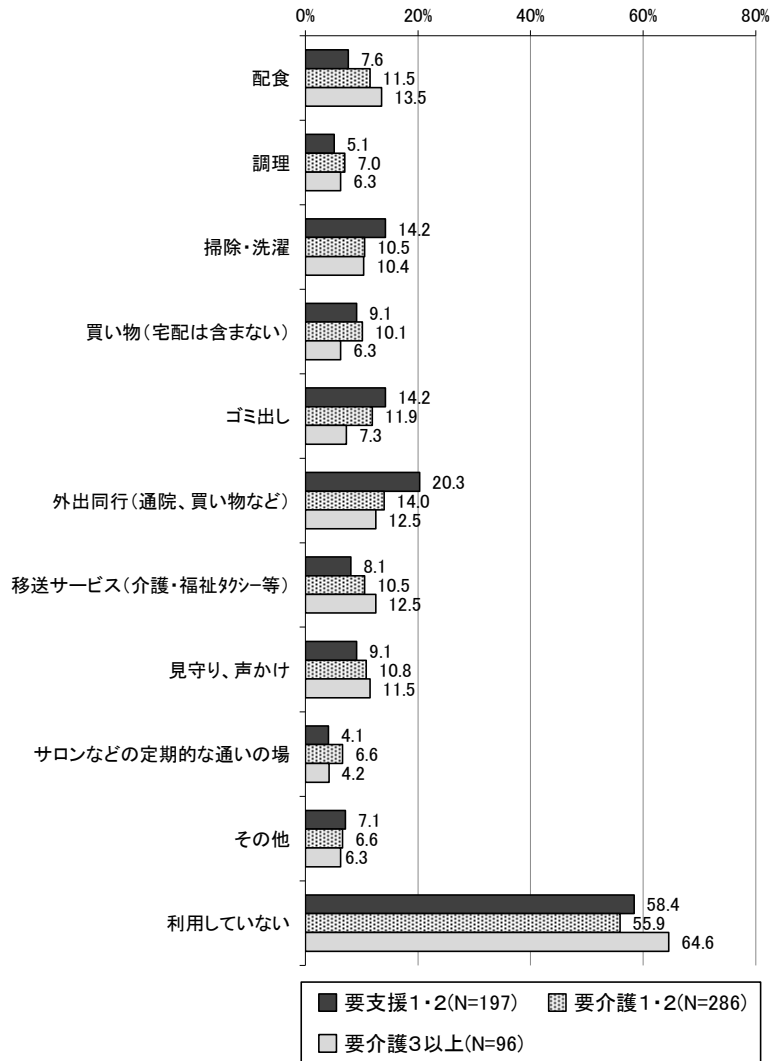
■ 保険外の支援・サービスの利用状況×世帯類型クロス

世帯類型別に保険外の支援・サービスの利用状況をみると、単身世帯では各サービスを利用している割合が比較的高くなっています。



■ 保険外の支援・サービスの利用状況 × 要介護度クロス

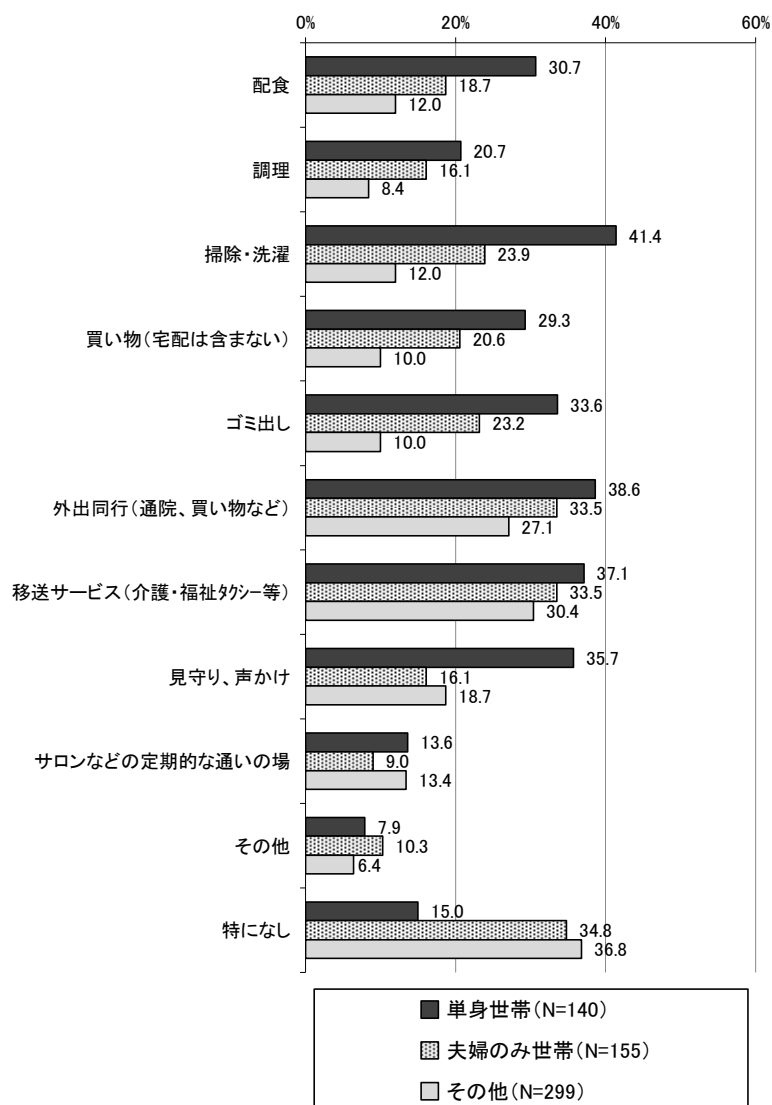
要介護度別に保険外の支援・サービスの利用状況をみると、要介護3以上では「配食」や「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が高くなっています。



在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

■在宅生活の継続に必要な支援・サービス×世帯類型クロス

世帯類型別に在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービスをみると、いずれのサービスでも単身世帯のニーズが高くなっています。

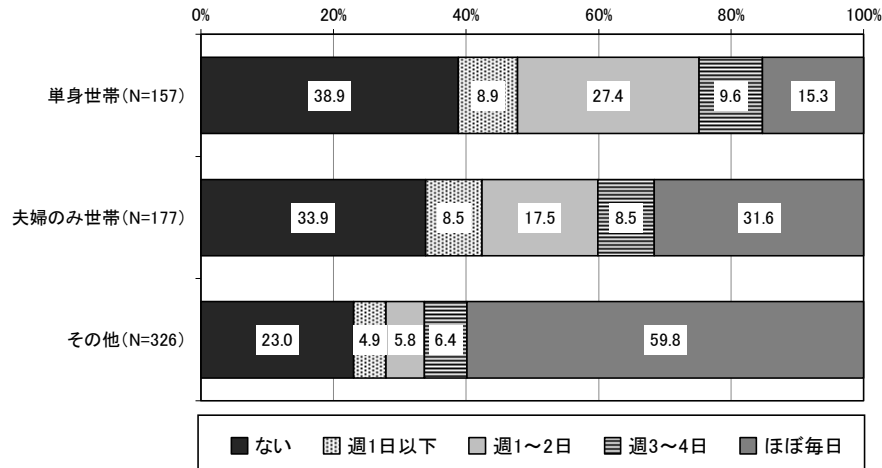


(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

家族等による介護の頻度

■介護の頻度×世帯類型クロス

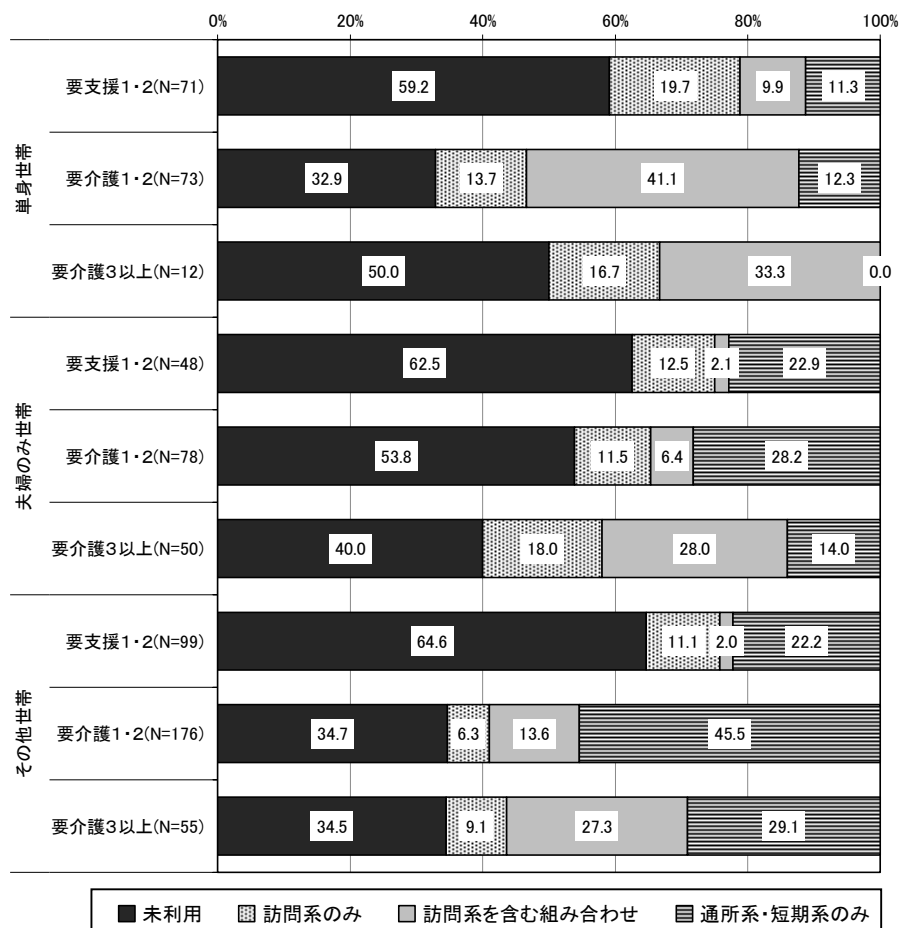
世帯類型別に家族等による介護の頻度をみると、単身世帯では「ない」が最も高く、その他では「ほぼ毎日」が最も高くなっています。



サービス利用の組み合わせ

■サービス利用の組み合わせ×世帯類型・要介護度クロス

世帯類型別・要介護度別にサービス利用の組み合わせをみると、単身世帯では要介護1・2で「訪問系を含む組み合わせ」が最も高く、夫婦のみ世帯では要支援1・2、要介護1・2で「通所系・短期系のみ」が高くなっています。

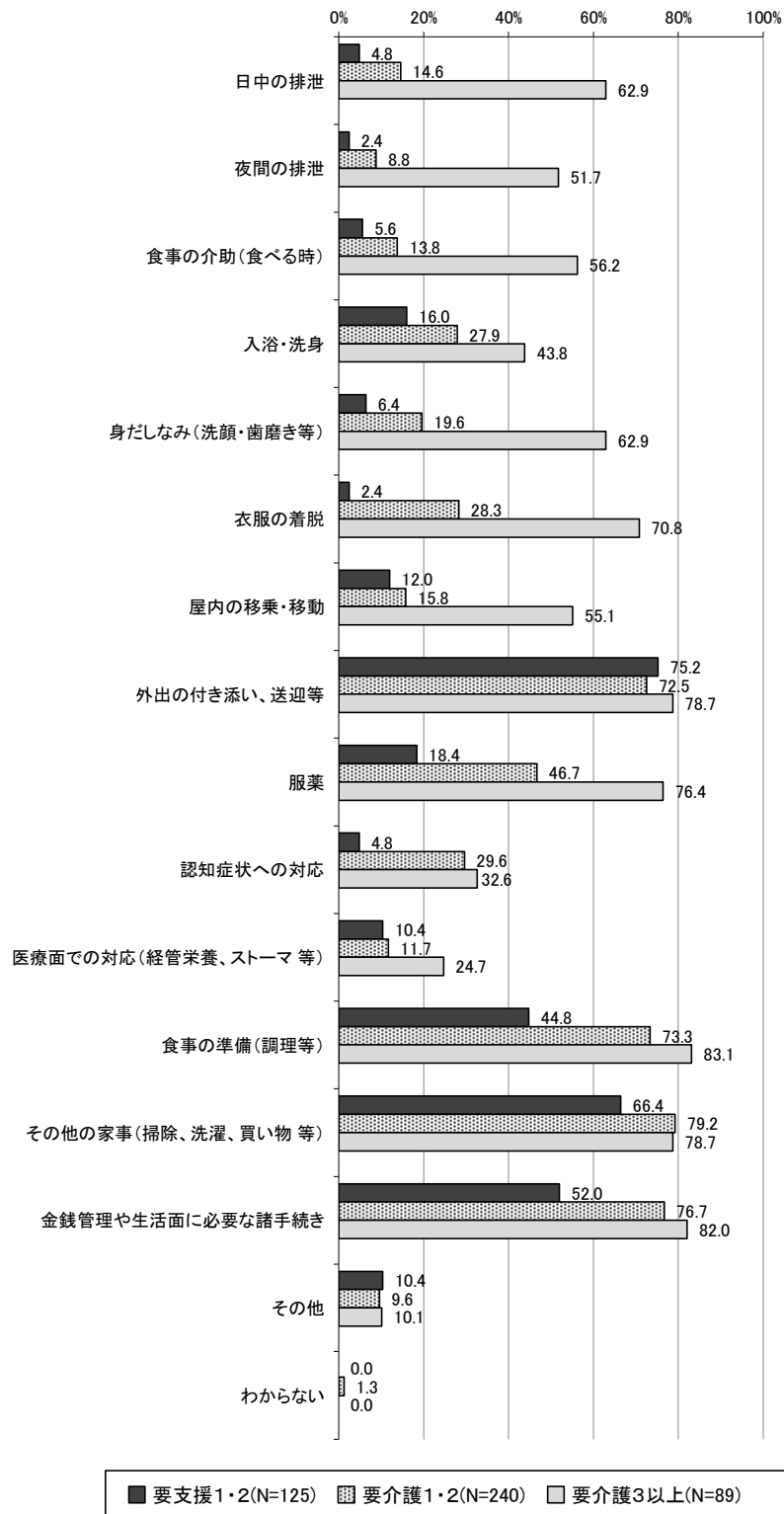


(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

主な介護者が行っている介護

■行っている介護×要介護度クロス

要介護度別に主な介護者等が行っている介護をみると、ほとんどの項目で要介護度が高いほど高くなっています。



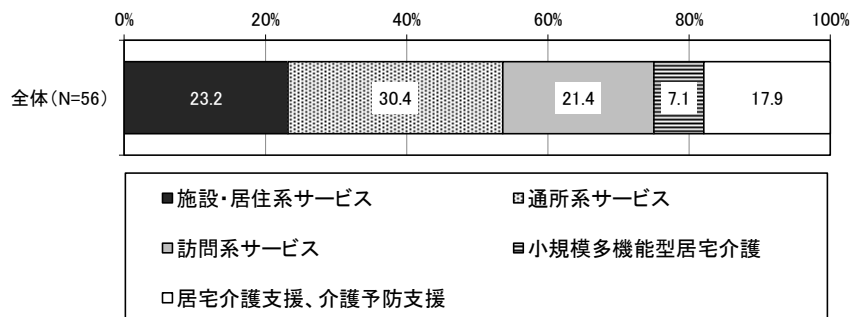
III 事業所調査

1. 事業所票

(1) 事業所のサービス種別

【SA】

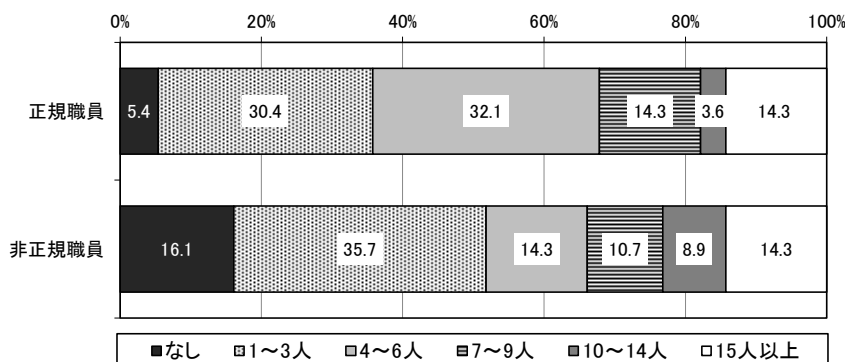
事業所のサービス種別については「通所系サービス」が30.4%と最も高く、次いで「施設・居住系サービス」が23.2%、「訪問系サービス」が21.4%となっています。



(2) 介護職員の総数

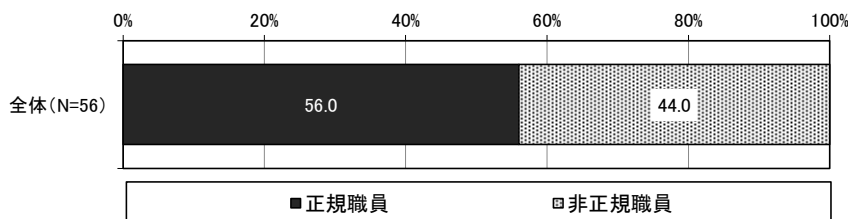
【SA】

介護職員の総数については正規職員では「4～6人」が32.1%と最も高く、次いで「1～3人」が30.4%となっています。非正規職員では「1～3人」が35.7%と最も高く、次いで「なし」が16.1%となっています。



■正規職員・非正規職員の比率

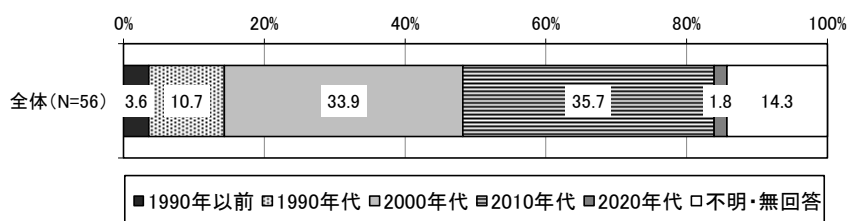
回答した事業所の介護職員を合算すると、内訳は「正規職員」が56.0%、「非正規職員」が44.0%となっています。



(3) 事業所の開設時期

【SA】

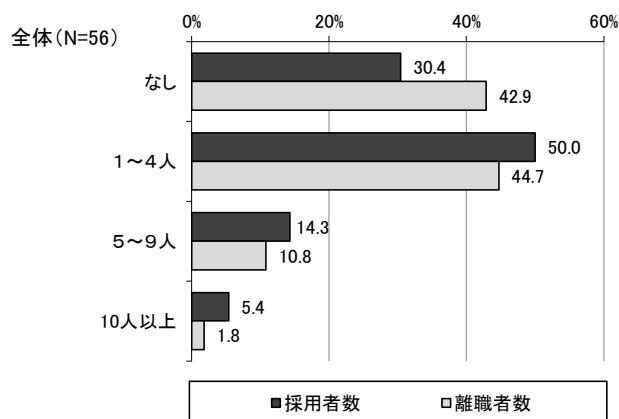
事業所の開設時期については「2010年代」が35.7%と最も高く、次いで「2000年代」が33.9%、「1990年代」が10.7%となっています。



(4) 過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数

【SA】

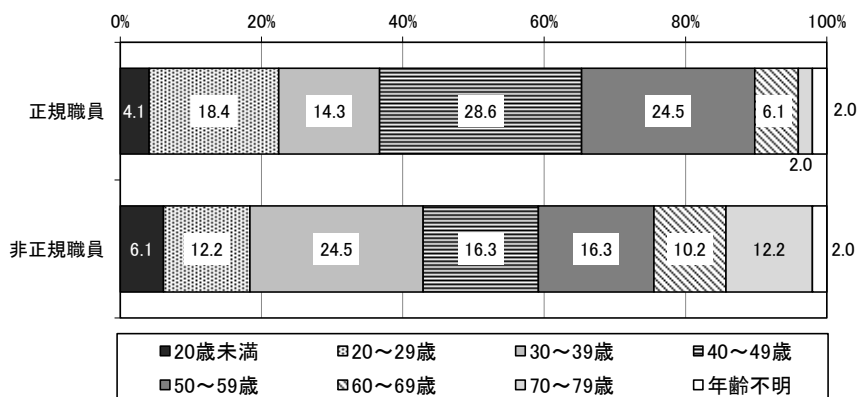
過去1年間の介護職員の採用者数と離職者数については採用者数では「1～4人」が50.0%と最も高く、次いで「なし」が30.4%となっています。離職者数では「なし」が42.9%と最も高く、次いで「1～4人」が44.7%となっています。



(5)-① 年齢別の採用者数

【NA】

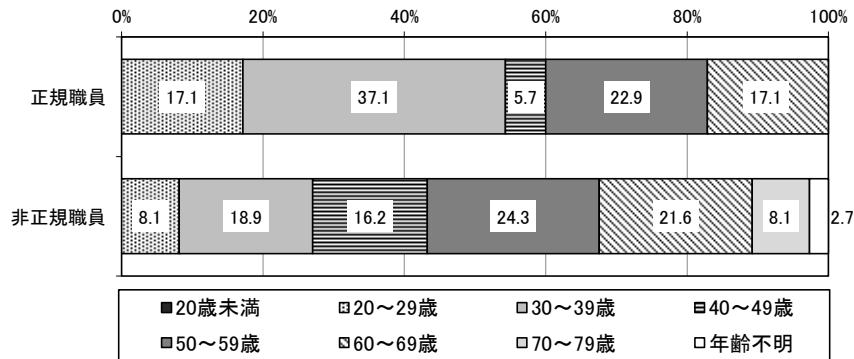
年齢別の採用者数については正規職員では「40～49歳」が28.6%と最も高く、次いで「50～59歳」が24.5%となっています。非正規職員では「30～39歳」が24.5%と最も高く、次いで「40～49歳」「50～59歳」が16.3%となっています。



(5)-② 年齢別の離職者数

【NA】

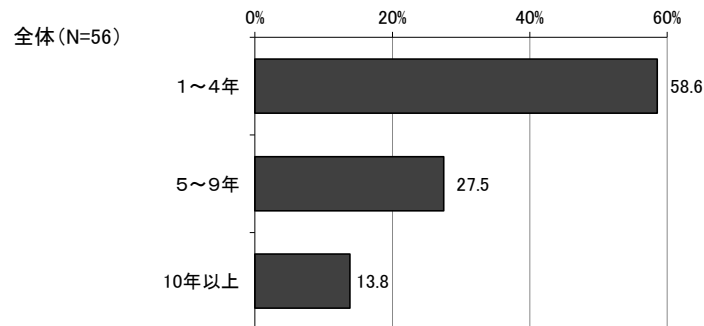
年齢別の離職者数については正規職員では「30～39歳」が37.1%と最も高く、次いで「50～59歳」が22.9%となっています。非正規職員では「50～59歳」が24.3%と最も高く、次いで「60～69歳」が21.6%となっています。



(6) 離職者の平均勤続年数

【SA】

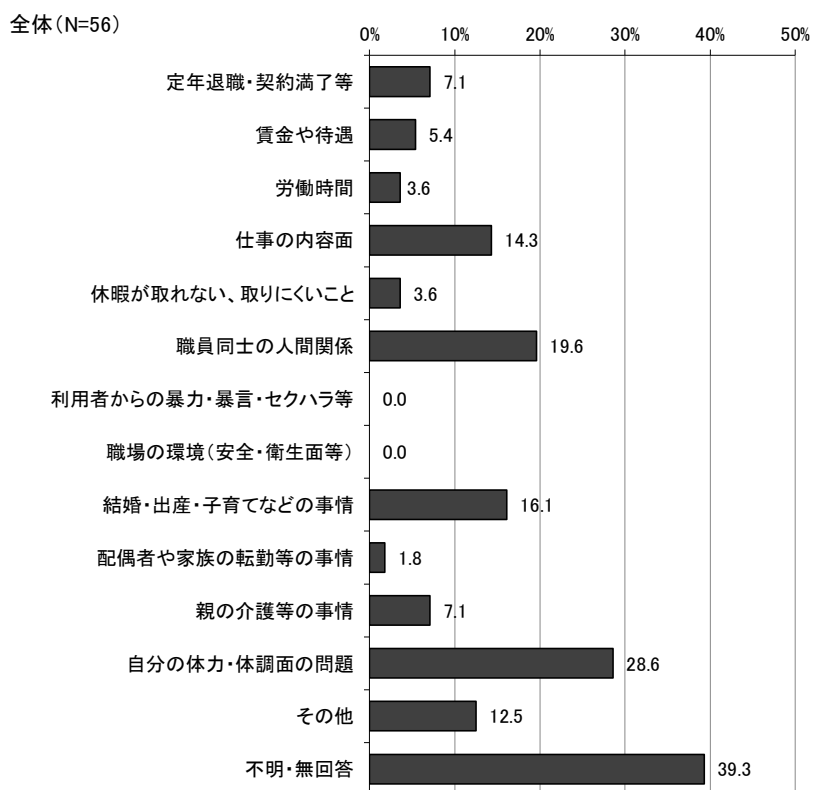
離職者の平均勤続年数については「1～4年」が58.6%と最も高く、次いで「5～9年」が27.5%となっています。



(7) 主な離職理由

【MA】

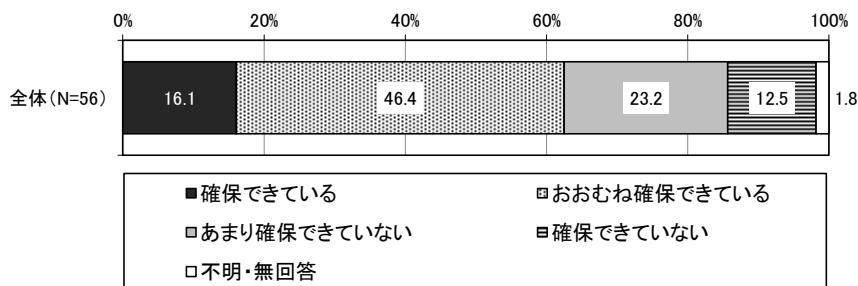
主な離職理由については「自分の体力・体調面の問題」が28.6%と最も高く、次いで「職員同士の人間関係」が19.5%、「結婚・出産・子育てなどの事情」が16.1%となっています。



(8) この1年間、事業所における介護人材の確保はどのような状況か

【SA】

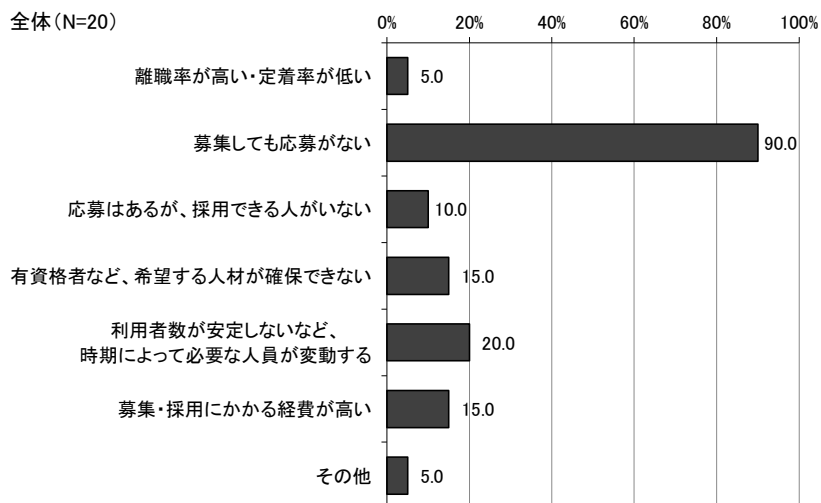
事業所における介護人材の確保の状況については「おおむね確保できている」が46.4%と最も高く、次いで「あまり確保できていない」が23.2%、「確保できている」が16.1%となっています。



(9) 介護人材が不足している主な理由

【MA】

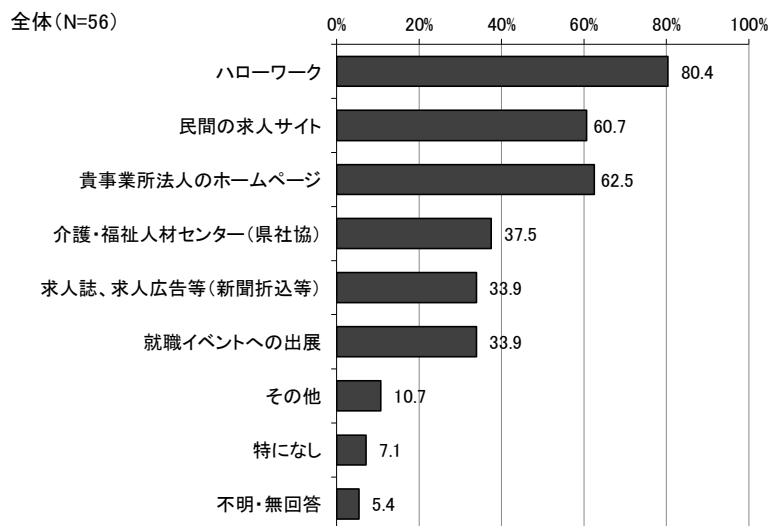
前問(8)で、「あまり確保できていない」「確保できていない」と回答した事業所に介護人材が不足している主な理由について尋ねたところ、「募集しても応募がない」が90.0%と最も高く、次いで「利用者数が安定しないなど、時期によって必要な人員が変動する」が20.0%となっています。



(10) 介護職員の求人を利用してしているもの(直近1年以内に利用)

【MA】

介護職員の求人を利用してしているものについては「ハローワーク」が80.4%と最も高く、次いで「貴事業所法人のホームページ」が62.5%、「民間の求人サイト」が60.7%となっています。

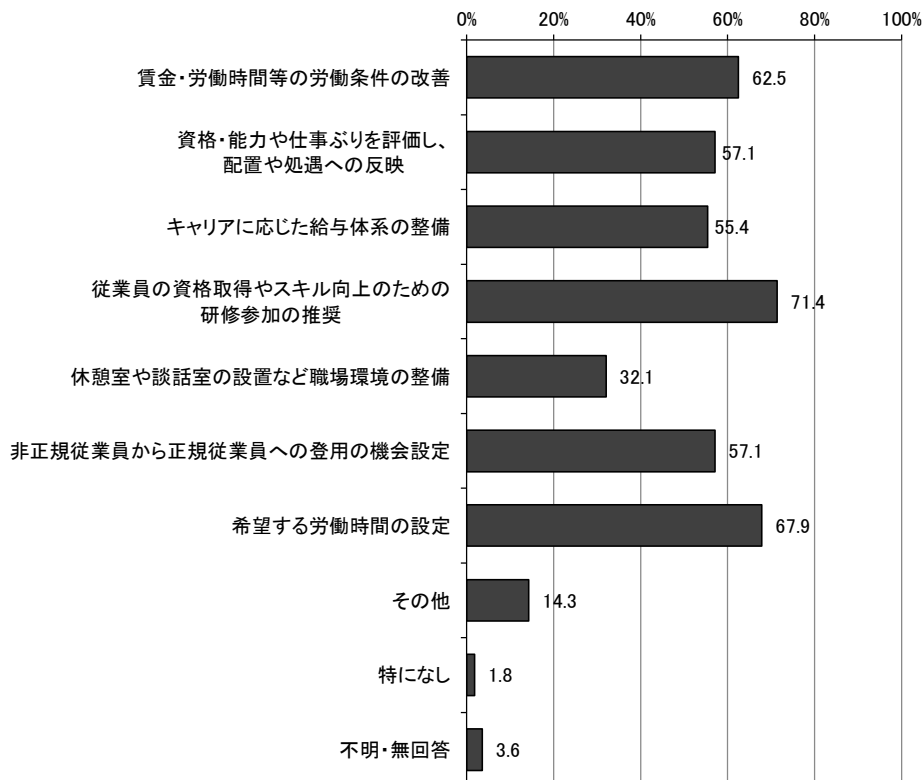


(11) 人材を定着させるために取り組んでいることは何か

【MA】

人材を定着させるために取り組んでいることについては「従業員の資格取得やスキル向上のための研修参加の推奨」が71.5%と最も高く、次いで「希望する労働時間の設定」が67.9%、「賃金・労働時間等の労働条件の改善」が62.5%となっています。

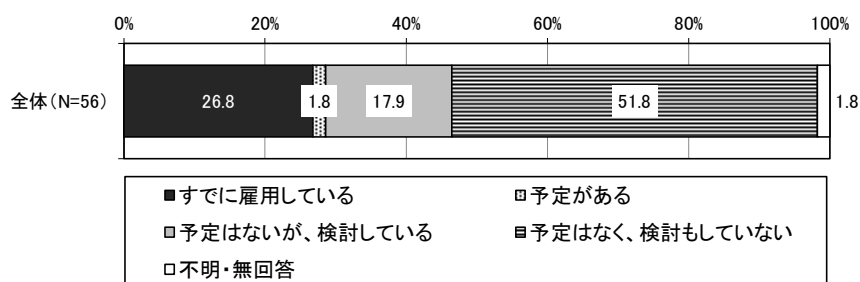
全体(N=56)



(12) 外国人従業員を雇う予定はあるか

【SA】

外国人従業員を雇う予定はあるかについては、「予定はなく、検討もしていない」が51.8%と最も高く、次いで「すでに雇用している」が26.8%、「予定はないが検討している」が17.9%となっています。



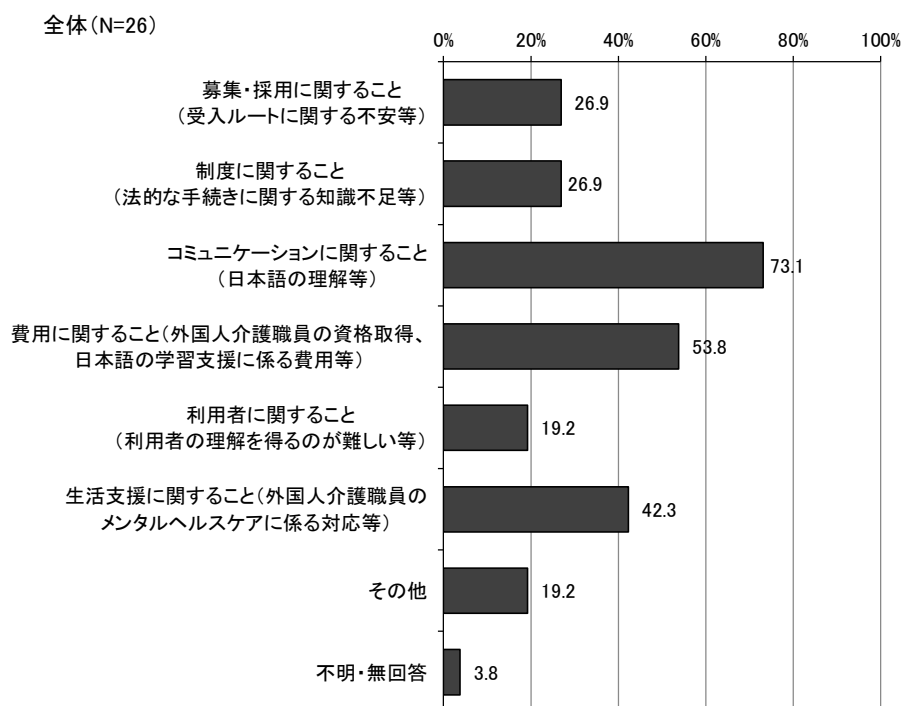
(13) 外国人従業員を雇用するにあたって、特に苦慮した点は何か

【自由記述】

■言語、コミュニケーション、文化の違いに関すること
文化、マナーの違い
文化の違いもあり細かなニュアンスが伝わりにくい
コミュニケーションで行き違いがないよう努めている
情報共有に行き違いがないように努めている
■その他
手続きが面倒
費用が掛かる

(14) 外国人従業員の雇用の際、特に問題となった点もしくは懸念している点は何か 【MA】

外国人従業員の雇用の際、特に問題となった点もしくは懸念している点については「コミュニケーションに関すること（日本語の理解等）」が73.1%と最も高く、次いで「費用に関すること（外国人介護職員の資格取得、日本語の学習支援に係る費用等）」が53.8%、「生活支援に関すること（外国人介護職員のメンタルヘルスケアに係る対応等）」が42.3%となっています。



(15) 外国人従業員の雇用を検討していない理由。

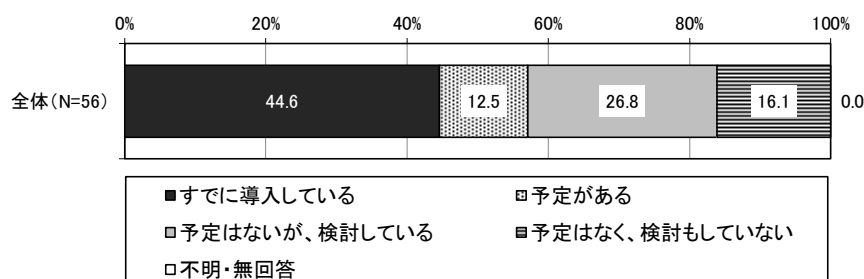
【自由記述】

■コミュニケーションの問題
相談業務があり、コミュニケーションが十分に取れることが必要だから
訪問介護のため、利用者とのコミュニケーションが難しい
日本語の理解力、読み書き、文章力が必要
コミュニケーション力
在宅訪問のためコミュニケーションや利用者への理解のハードルが高く、検討していない。
日本人の対応業務のため
相談援助支援への力量
■会社の方針等
他の事業所で雇用している
訪問サービスでは制度的に難しい
法人内で雇用しているが、ヘルパーステーションでは難しい
法人として採用予定がない
■人材が確保できている
日本人職員で充足している
■資格の問題
看護師免許の取得が困難
専門職のため
■その他
小規模事業所では住居提供や日本語指導などの負担が多く、採用できない。
以前、応募があり勤務時間や業務内容のすり合わせをしたが、病院の看護助手の賃金の方が高いと言われ辞退された
以前の応募のやり取りで苦慮したため、進んで雇用しようとは思えない。

(16) ICTやAI・ロボットなどを導入する予定はあるか

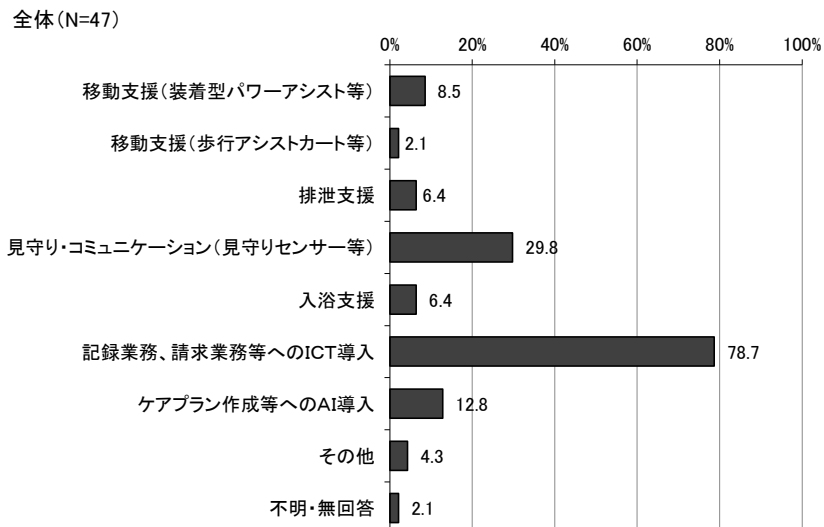
【SA】

ICT・AI・ロボットなどを導入する予定について「すでに導入している」が44.6%と最も高く、次い「予定はないが、検討している」が26.8%、「予定はなく、検討もしていない」が16.1%となっています。



(17) すでに導入している、もしくは導入したICTやAI、ロボットは何か 【MA】

すでに導入している、もしくは導入したICTやAI、ロボットについては「記録業務、請求業務等へのICT導入」が78.7%と最も高く、次いで「見守り・コミュニケーション（見守りセンサー等）」が29.8%、「ケアプラン作成等へのAI導入」が12.8%となっています。



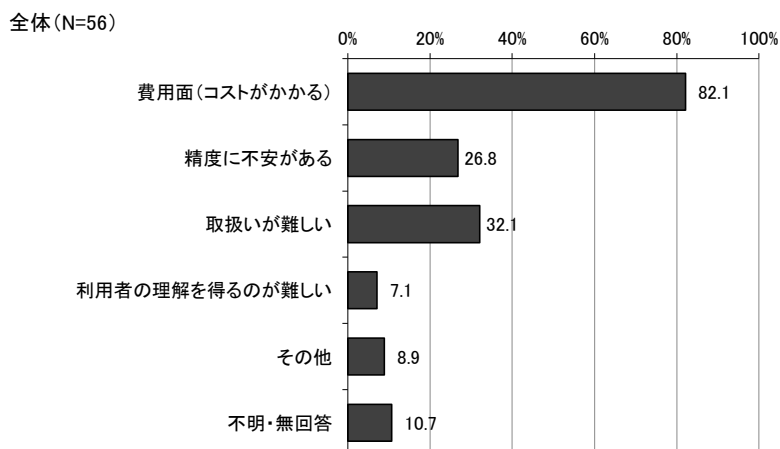
(18) ICT や AI、ロボットの導入を検討していない理由

【自由記述】

■情報等の不足
情報が少ない
知識と見識不足
■コスト面の問題
導入コストへの懸念
■必要性の問題
ケアプラン等作成システムが既にある。
今、必要ではない

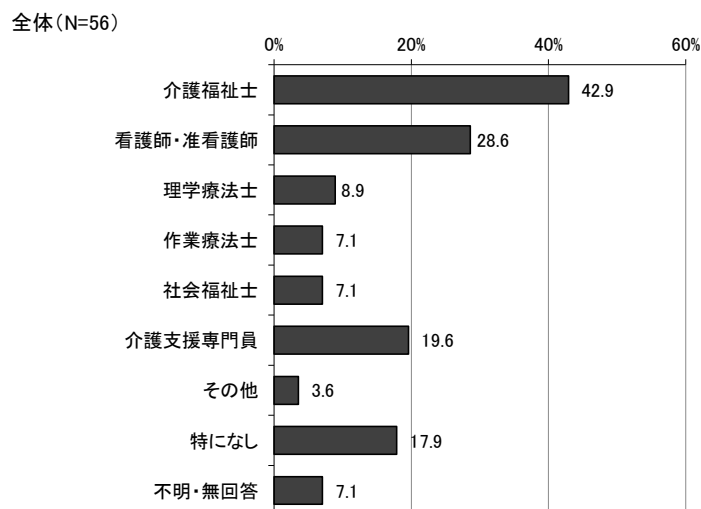
(19) ICTなどの導入の際、特に問題となった点もしくは懸念している点は何か【MA】

ICTやAI、ロボットの導入の際、特に問題となった点もしくは懸念している点については「費用面（コストがかかる）」が82.1%と最も高く、次いで「取扱いが難しい」が32.1%、「精度に不安がある」が26.8%となっています。



(20) 事業所で不足している専門職種がある場合、その専門職種は何か【MA】

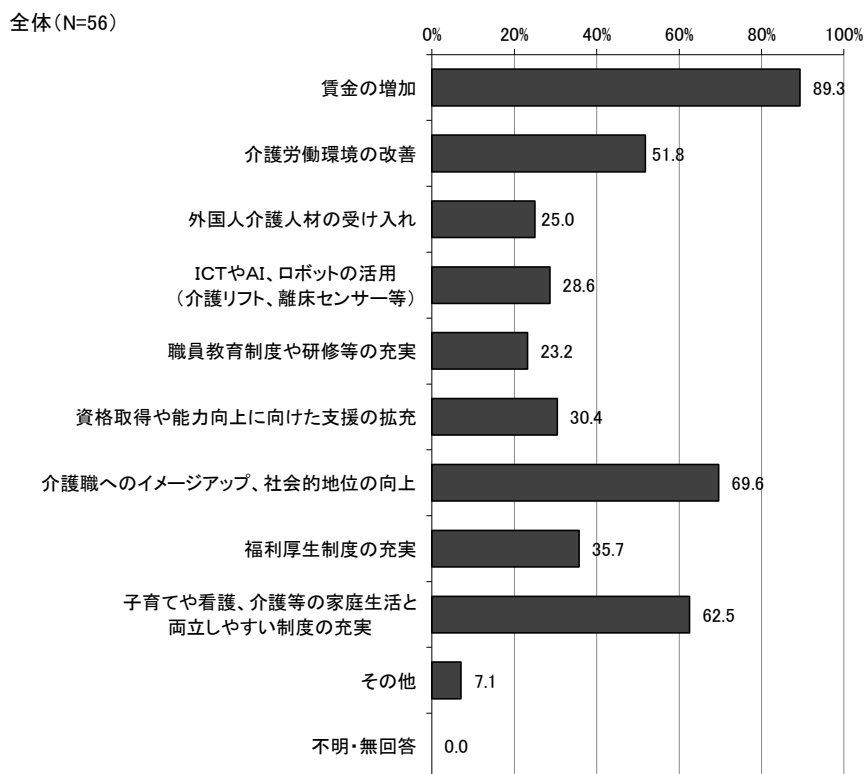
事業所で不足している専門職種がある場合、その専門職種については「介護福祉士」が42.9%と最も高く、次いで「看護師・准看護師」が28.6%、「介護支援専門員」が19.6%となっています。



(21) 今後、介護人材の不足を解消するための取組は何が必要か

【MA】

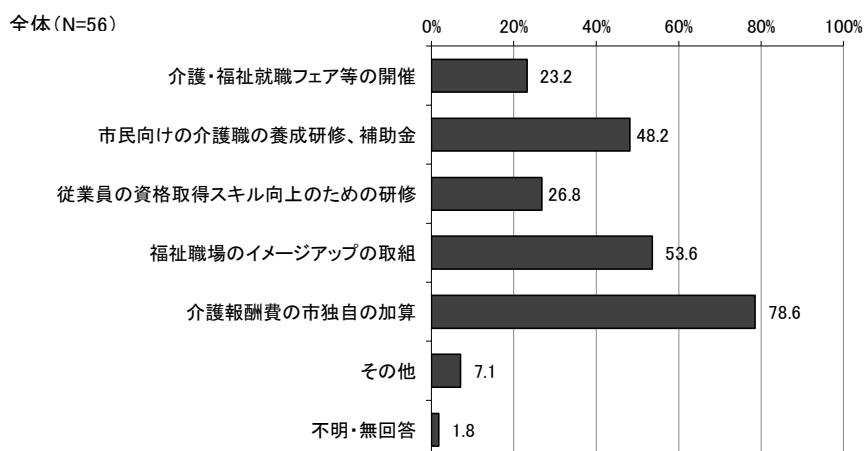
今後、介護人材の不足を解消するための取組は何が必要かについては「賃金の増加」が89.3%と最も高く、次いで「介護職へのイメージアップ、社会的地位の向上」が69.6%、「子育てや看護、介護等の家庭生活と両立しやすい制度の充実」が62.5%となっています。



(22) 介護人材の確保に向けて、市のどのような取組を望むか

【MA】

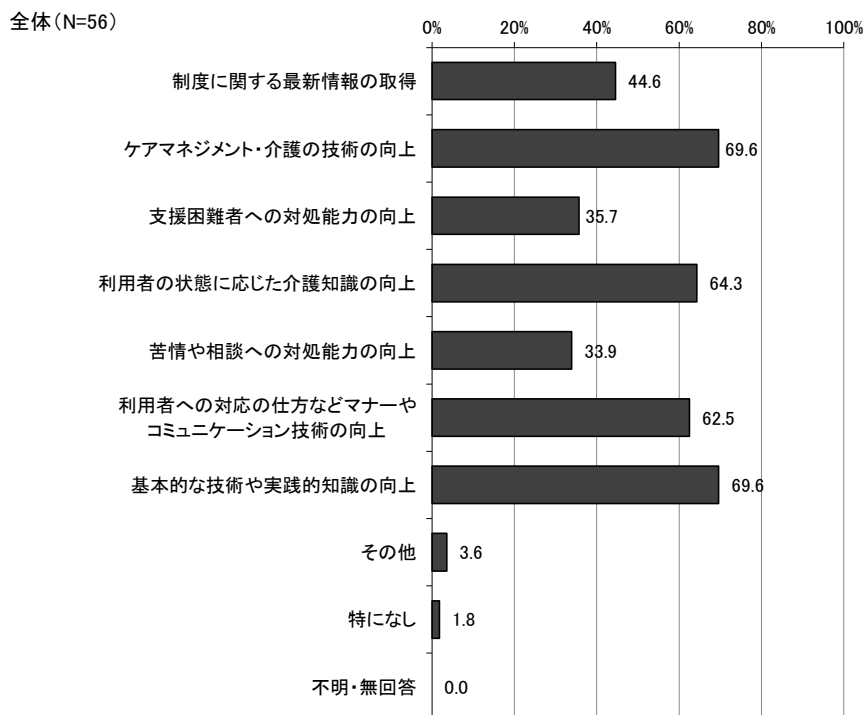
介護人材の確保に向けて、市のどのような取組を望むかについては「介護報酬費の市独自の加算」が78.6%、「福祉職場のイメージアップの取組」が53.6%、「市民向けの介護職の養成研修、補助金」が48.2%となっています。



(23) サービスや職員の質の向上に向けて特に取り組んでいることはあるか

【MA】

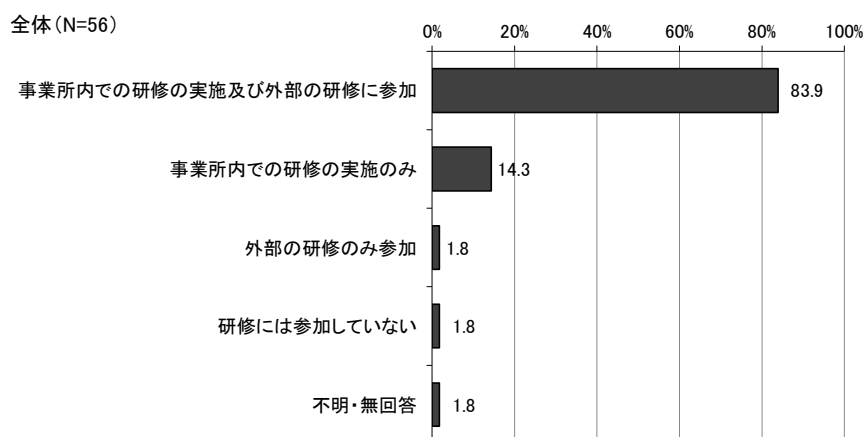
サービスや職員の質の向上に向けて特に取り組んでいることについては「ケアマネジメント・介護の技術の向上」「基本的な技術や実践的知識の向上」が69.6%と最も高く、次いで「利用者の状態に応じた介護知識の向上」が64.3%となっています。



(24) 職員はサービスの質の向上に向けた研修に参加しているか

【MA】

職員はサービスの質の向上に向けた研修に参加しているかについては「事業所内での研修の実施及び外部の研修に参加」が83.9%と最も高く、次いで「事業所内での研修の実施のみ」が14.3%となっています。



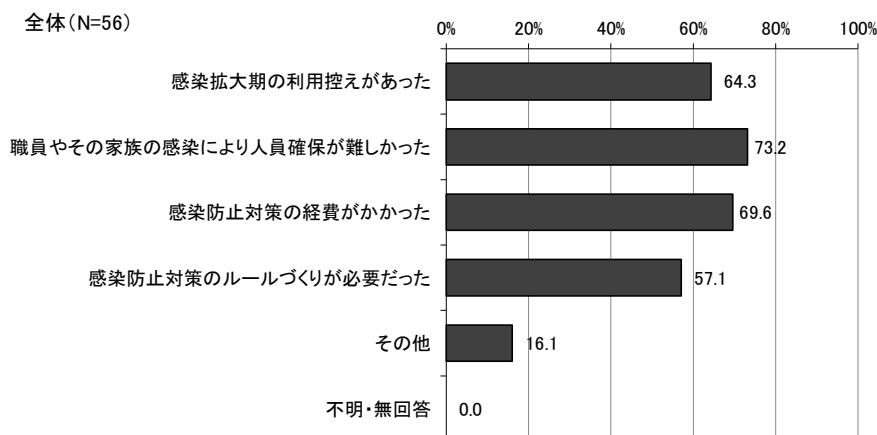
(25) サービスの質の向上を図るために必要な研修**【自由記述】**

■ビジネスマナー、コミュニケーション能力向上のための研修
介護技術の向上だけでなく、利用者の個性の理解と受け入れができる人材養成には、コミュニケーションが不可欠。その上で敬う気持ちを忘れず、介護保険制度や社会保険制度、税金など幅広い知識を持ち利用者を良い方向へと導いてこそサービスの質の向上となる
コミュニケーションの取り方、マナー、接遇
新任が基礎(マナー含む)からスキルアップが図れる連続した研修などがあればよい。
リーダー職員の育成に繋がる研修
利用者が持っている力を引き出すための知識や技術の習得、コミュニケーションの図り方
ビジネスマナー(言葉遣いや身だしなみ)
サービス業全般についての知識や対応の評価についての基礎知識
■事務能力等向上のための研修
事務的な作業の効率化を図る
苦情対応に関する研修
■介護・医療に関する能力や知識向上のための研修
レクリエーション
介護保険等の制度
基本的な介護技術の向上
医療知識の理解
対人援助
障害の制度
国内で最先端の技術や知見、取り組みの紹介
利用者側のニーズの周知
高齢者に多く見られる病気の知識を得る
介護保険法最新情報の取得以外に、多制度の理解のための研修
難病の多職種連携に関する研修
利用者個別災害計画の研修
介護支援専門員としての看取りの研修
基本的な介護、医療の視点を養えるための研修
基本となるベースの研修が大事。基本的な介護、医療の視点を養えるための研修
■認知症対応に関する能力や知識向上のための研修
認知症への理解
居宅でも増えている認知症者への対応スキル向上のための研修(例:バリデーションについての研修)
■その他
外部研修で得た知識を事業所内部研修で活かすこと
多職種との顔がわかる関係
リスクマネジメントに関する研修は、現状を振り返る機会になり業務改善に繋がり効果があると考えている
外国人の採用が進んでいる状況から、外国人に特化した研修
アーカイブ配信にて自由時間で参加できる体制が整っていると参加しやすい
個々の希望や要望をアセスメントする能力
労働者の精神安定が図れるような研修

(26) コロナ流行により事業所運営にどのような影響があったか

【MA】

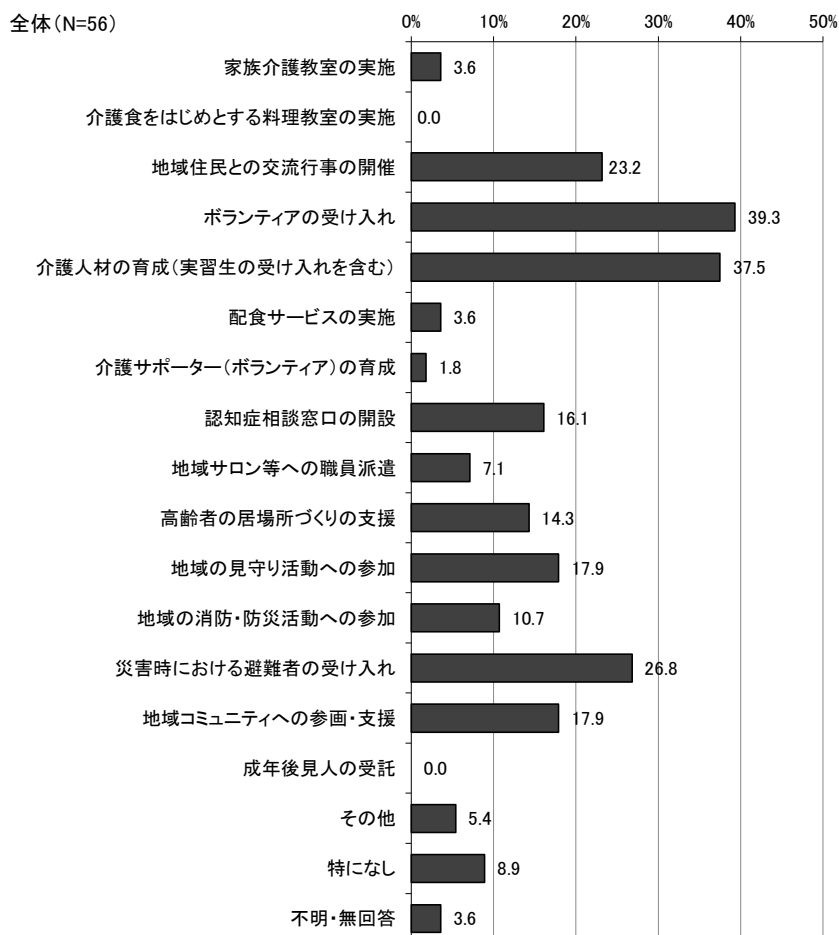
コロナ流行により事業所運営にどのような影響があったかについては「職員やその家族の感染により人員確保が難しかった」が73.2%と最も高く、次いで「感染防止対策の経費がかかった」が69.6%、「感染拡大期の利用控えがあった」が64.3%となっています。



(27) 地域活動の一環として取り組んでいることはあるか

【MA】

地域活動の一環として取り組んでいることについては「ボランティアの受け入れ」が39.3%と最も高く、次いで「介護人材の育成(実習生の受け入れを含む)」が37.5%、「災害時における避難者の受け入れ」が26.8%となっています。

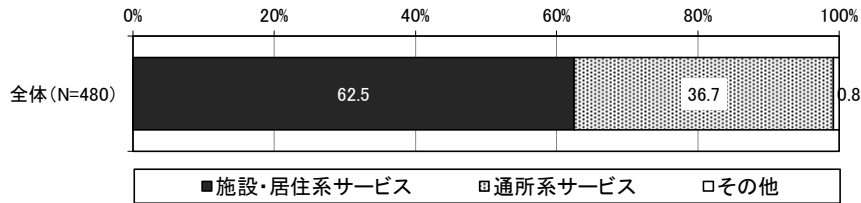


2. 職員票

(1) 事業所のサービス種別

【SA】

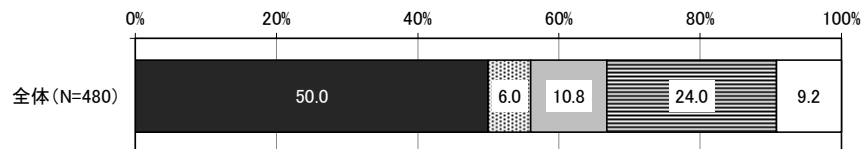
事業所のサービス種別については「施設・居住系サービス」が62.5%と最も高く、次いで「通所系サービス」が36.7%、「その他」が0.8%となっています。



(2) 資格の取得、研修の修了の状況

【SA】

資格の取得、研修の修了の状況については「介護福祉士」が50.0%と最も高く、次いで「いずれも該当しない」が24.0%、「介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級」が10.8%となっています。



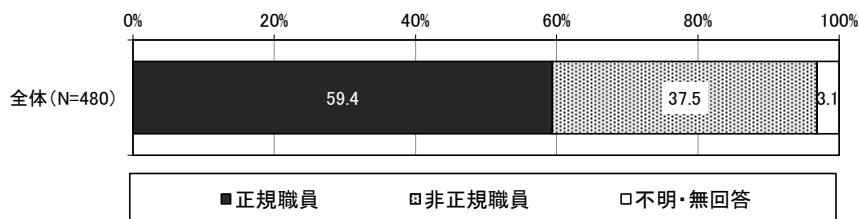
- 介護福祉士
- 介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級
- 介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級
- 上記のいずれも該当しない
- 不明・無回答

上段:度数 下段:%	(2) 資格の取得、研修の修了の状況					
	合計	介護福祉士	介護職員実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級	介護職員初任者研修修了、または(旧)ヘルパー2級	上記のいずれも該当しない	不明・無回答
全体	480 100.0	240 50.0	29 6.0	52 10.8	115 24.0	44 9.2
施設・居住系サービス	300 100.0	138 46.0	22 7.3	27 9.0	70 23.3	43 14.3
通所系サービス	176 100.0	98 55.7	7 4.0	25 14.2	45 25.6	1 0.6
20歳未満	20 100.0	0 0.0	0 0.0	1 5.0	4 20.0	15 75.0
20歳代	101 100.0	30 29.7	9 8.9	6 5.9	29 28.7	27 26.7
30歳代	85 100.0	48 56.5	4 4.7	11 12.9	22 25.9	0 0.0
40歳代	127 100.0	80 63.0	5 3.9	10 7.9	32 25.2	0 0.0
50歳代	65 100.0	40 61.5	8 12.3	5 7.7	11 16.9	1 1.5
60歳代	57 100.0	33 57.9	3 5.3	12 21.1	9 15.8	0 0.0
70歳代以上	23 100.0	8 34.8	0 0.0	7 30.4	8 34.8	0 0.0

(3) 雇用形態

【SA】

雇用形態については「正規職員」が59.4%、「非正規職員」が37.5%となっています。

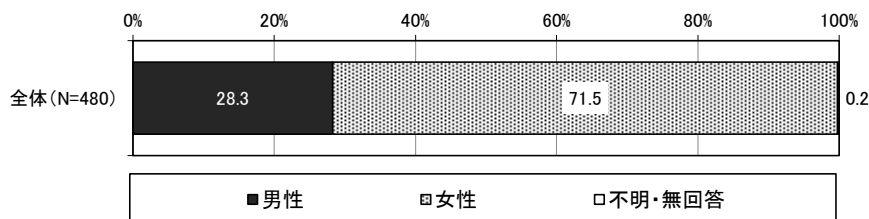


上段:度数 下段:%	(3) 雇用形態			
	合計	正規職員	非正規職員	不明・無回答
全体	480 100.0	285 59.4	180 37.5	15 3.1
施設・居住系サービス	300 100.0	189 63.0	96 32.0	15 5.0
通所系サービス	176 100.0	94 53.4	82 46.6	0 0.0

(4) 性別

【SA】

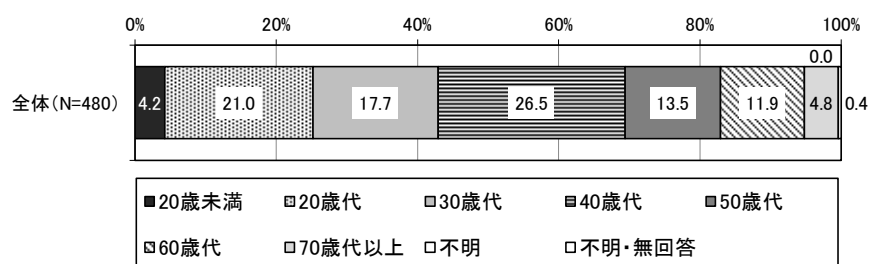
性別については「男性」が28.3%、「女性」が71.5%となっています。



(5) 年齢

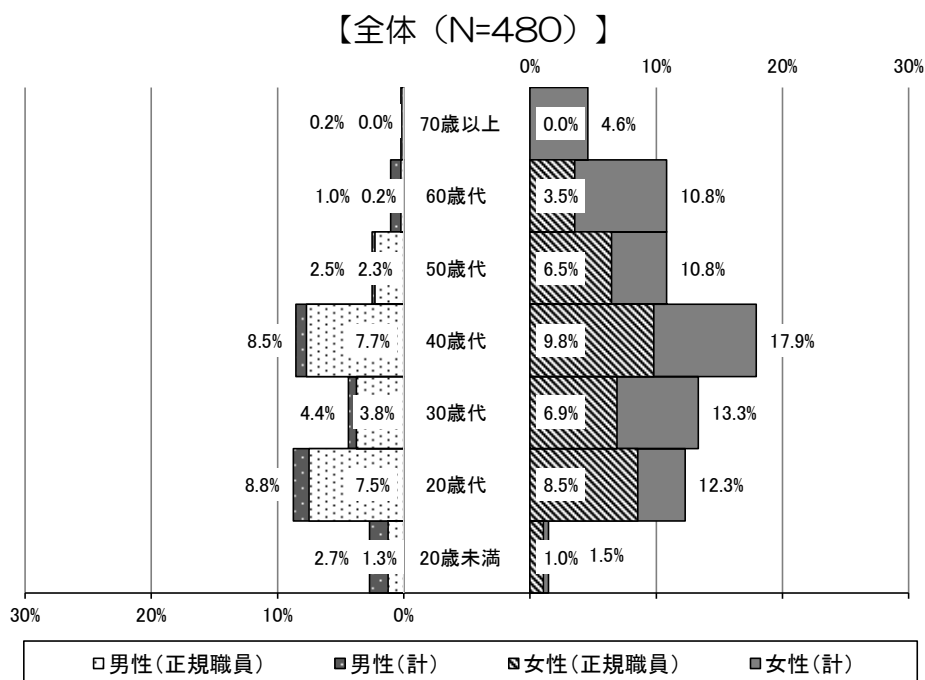
【SA】

年齢については「40歳代」が26.5%と最も高く、次いで「20歳代」が21.0%、「30歳代」が17.7%となっています。

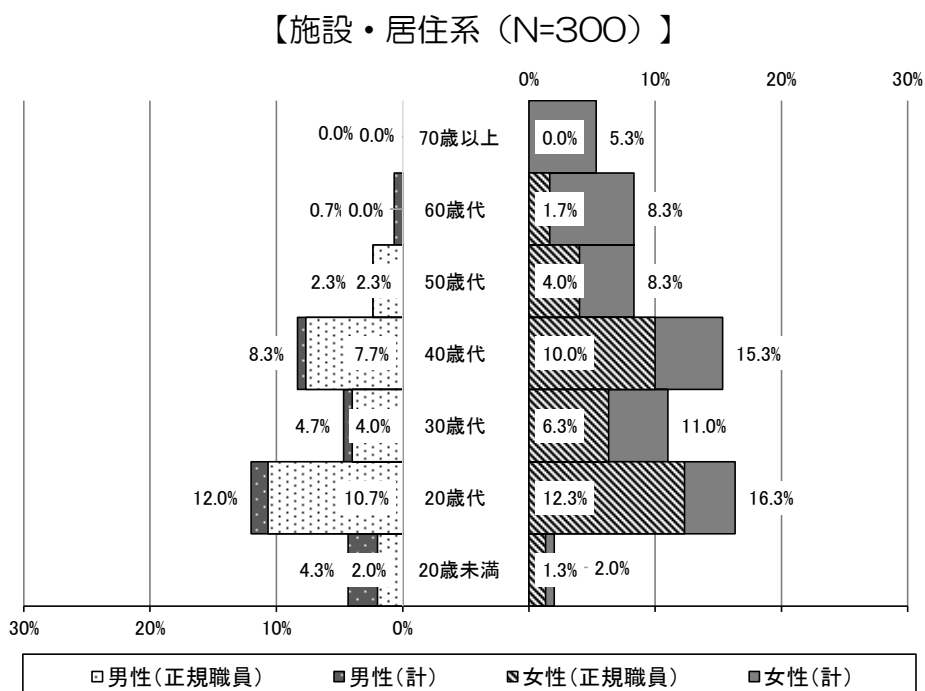


従業員の状況のまとめ

全体の従業員数に占める性別・年齢別の雇用形態の構成比をサービス系統別にみると、【全体】では男性より女性の従業員数の割合が高くなっています。一方で男性の大半が正規職員であるのに対し、女性は正規職員と非正規職員が約半数という構成になっています。

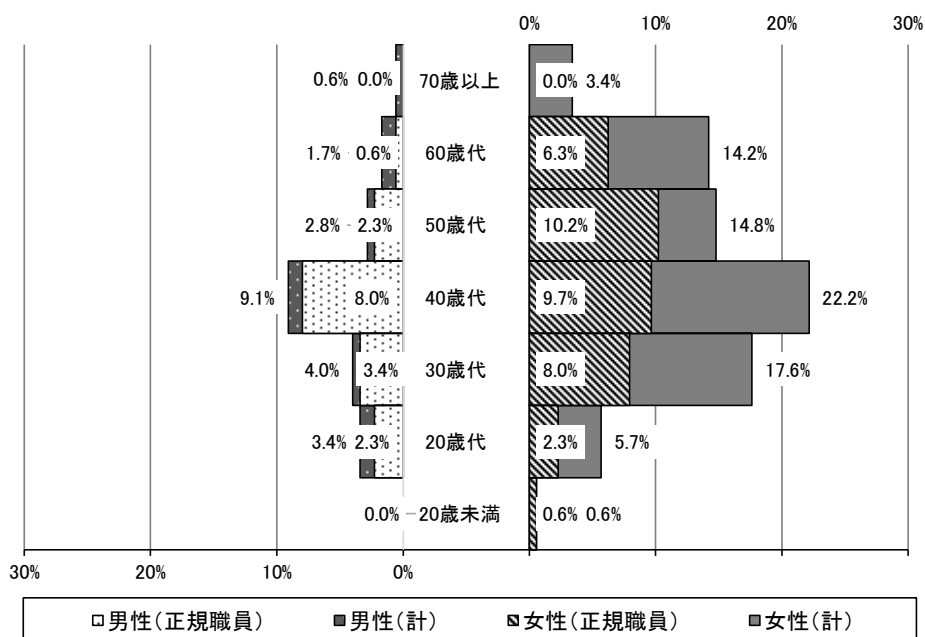


【施設・居住系】は【全体】と概ね同様の構成になっていますが、20歳代の従業者数の割合が最も高くなっています。



【通所系】は女性の従業者数が男性の数倍となっており、50歳代では半数以上が非正規職員となっています。

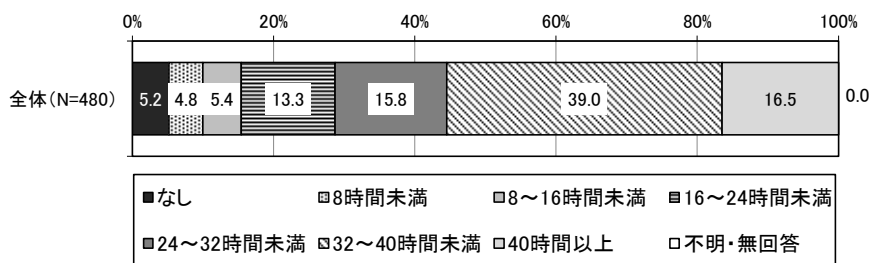
【通所系 (N=176)】



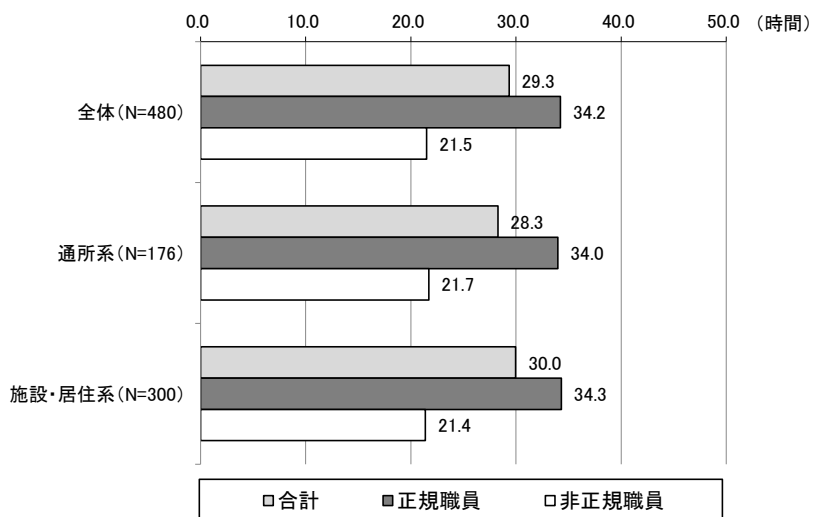
(6) 過去1週間の勤務時間

【SA】

過去1週間の勤務時間については、「32～40時間未満」が39.0%と最も高く、次いで「24～32時間未満」が15.8%、「40時間以上」が16.5%となっています。



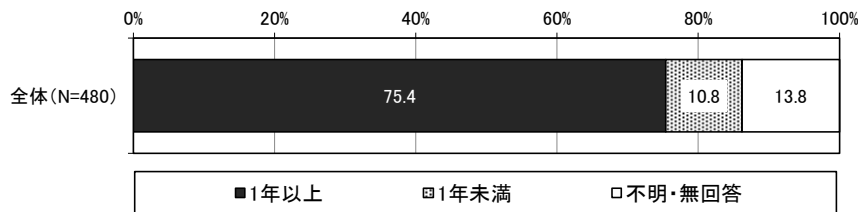
■ サービス体系、正規・非正規別平均勤務時間



(7) 現在の施設等での勤務年数

【SA】

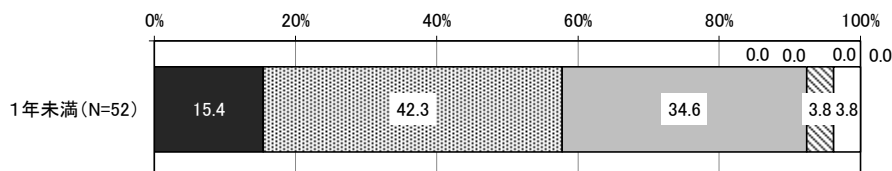
現在の施設等での勤務年数については、「1年以上」が75.4%、「1年未満」が10.8%となっています。



(8) 現在の施設等に勤務する直前の職場

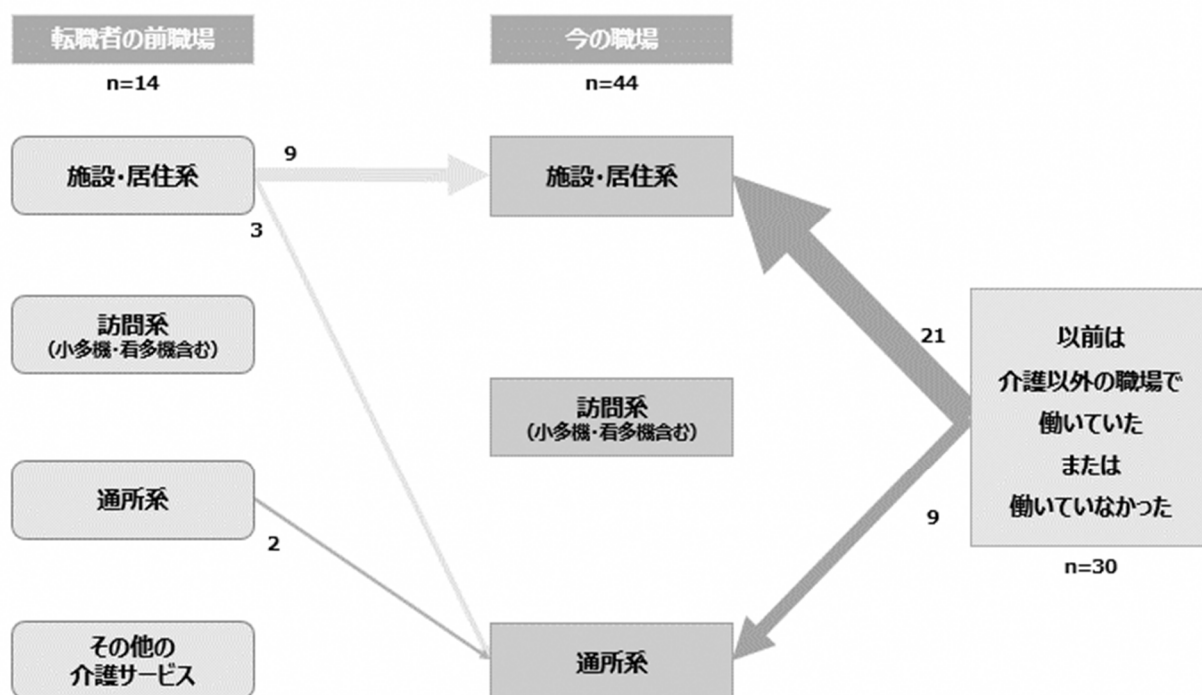
【SA】

前問(7)で「1年未満」と回答した方に、現在の施設等に勤務する直前の職場について尋ねたところ、「介護以外の職場」が42.3%と最も高く、次いで「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」が34.6%、「現在の職場が初めての勤務先」が15.4%となっています。



- 現在の職場が初めての勤務先
- ▨介護以外の職場
- ▨特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設
- ▨訪問介護・入浴、夜間対応型
- ▨小多機、看多機、定期巡回サービス
- ▨通所介護、通所リハ、認知症デイ
- ▨住宅型有料、サ高住(特定施設以外)
- ▨その他の介護サービス
- ▨不明・無回答

過去1年間の介護職員の職場の変化については同業種間では「施設・居住系」から「施設・居住系」への転職が最も高く、異業種もしくは新規就業では「施設・居住系」への就職が最も高くなっています。

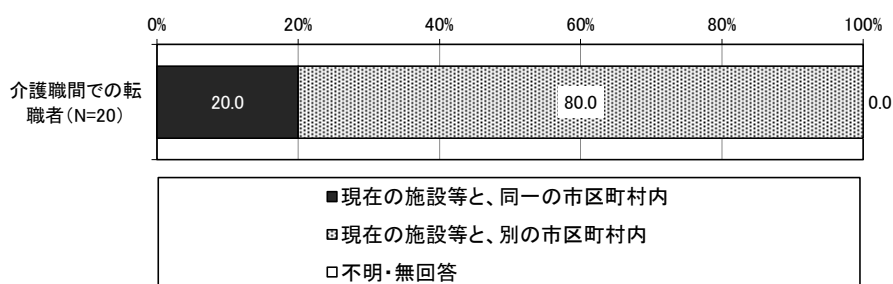


(注) 上記の分類が可能となる全ての設問に回答のあった方のみを集計対象としています。

(9)-① 直前の職場

【SA】

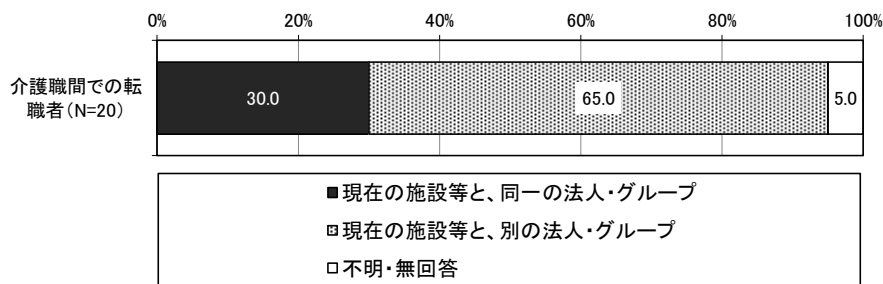
前問(8)で「現在の職場が初めての勤務先」「介護以外の職場」を除いた選択肢に回答した介護職間での転職者に直前の職場について尋ねたところ、「現在の施設等と、別の市区町村内」が80.0%、「現在の施設等と、同一の市区町村内」が20.0%となっています。



(9)-② 直前の法人

【SA】

直前の法人については、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が65.0%、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が30.0%となっています。



地域での活動について×幸福度

会、グループへの参加状況と幸福度をクロス集計し、『参加している』（「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」、「月1～3回」、「年に数回」の合計、『参加していない』で平均点を算出すると、『参加している』ではすべての会・グループで7点以上となっており、『参加していない』よりも点数が高くなっています。

また、「ボランティアのグループ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」などの自主的・主体的に参加していると思われる活動の方が、『参加している』の点数が高くなっています。

	参加している	参加していない
① ボランティアのグループ	7.46	6.78
② スポーツ関係のグループやクラブ	7.33	6.77
③ 趣味関係のグループ	7.52	6.70
④ 学習・教養サークル	7.59	6.83
⑤ 地域のサロン・いきいき百歳体操など介護予防のための通いの場	7.42	6.86
⑥ 老人クラブ	7.14	6.89
⑦ 町内会・自治会	7.15	6.70
⑧ 収入のある仕事	7.13	6.86